

2. ハードウェア構成図 外付けオプション編

2. 1 ディスプレイ装置

ラックキャビネット(16U)搭載の各モデルラックタイプ

・表記の価格は、希望小売価格です。

※ ラックマウント構成の場合は、3章のラックキャビネット編をご参照下さい。

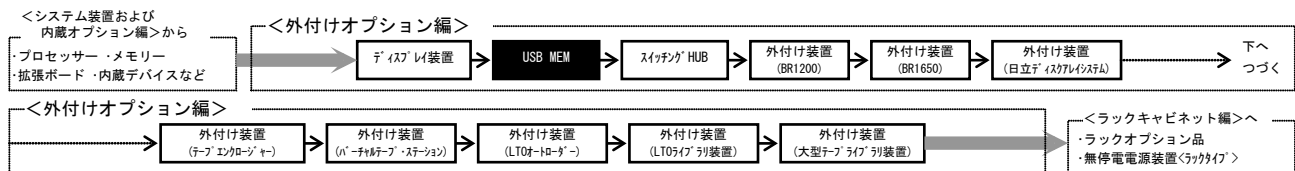
3

ディスプレイインターフェイス



液晶ディスプレイ装置

〔17型TFTカラー、640x480ドット～1280x1024ドット、VGAケーブル長1.5m〕
(G0-DT7173U) ¥22,000(税別)



2. 2 USBメモリー

・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応型]
RS220 AN[長期保守対応型]

USBメモリー

USBインターフェース

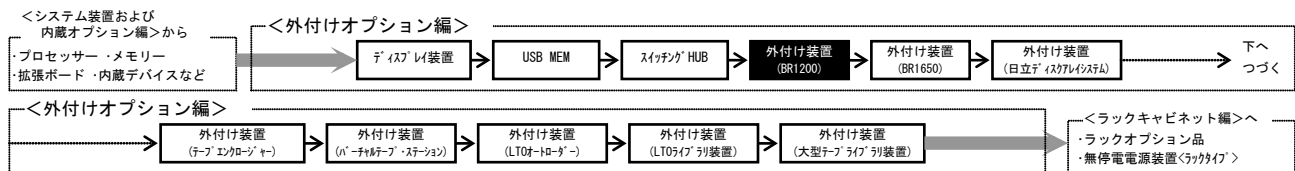
6



USBメモリー
[USB3.0, 8GB]
(GQ-FK808G) ¥12,000(税別)

＜USBメモリーに関する注意事項＞

1. USBメモリー購入の推奨
 - ・OSのインストール取得や各種ドライバ、OSのサービスパック等のインストール時に必要となりますので、1台に最低1個の本USBメモリーの購入を推奨します。
 - ・HA8000においては、他社製USBメモリーの動作は保証致しません。
2. USBメモリー取り外しについて
 - ・USBメモリーにデータアクセスしている状態でシステム装置の電源を切ったり、本製品をシステム装置から取り外したりしないでください。データを消失するおそれがあります。
3. USBメモリーの書き換え可能回数について
 - ・本USBメモリーは、データの書き換えによって消耗します。[データの書き換え可能回数はおよそ3000回です。]
書き換え回数が3000回に達する前にUSBメモリーを交換してください。書き換え可能回数を越えたUSBメモリーを使用すると、データを消失するおそれがあります。データの消失を防ぐために、書き換え回数が達したUSBメモリーは使用しないでください。
また、本USBメモリーは、消耗品となります。
4. USBメモリー取り付け時におけるフロントパネル等の開閉について
 - ・システム装置にUSBメモリーを取り付けた場合、フロントパネルやラックドアなどと干渉する場合がありますので、フロントパネルやラックドアなどの開閉は十分注意してください。
5. その他のUSBメモリー使用上の制限事項は下記の項目となります。
 - (1) USBメモリーにOSをインストールするなど、USBメモリーが破損した場合にシステムが稼動しなくなる様なシステム構築をしないでください。
 - (2) USBメモリーを、USB HUBを介してシステム装置に接続しないでください。
 - (3) USBメモリーをシステム装置に常時接続した運用はしないでください。
 - (4) USBメモリーを介したウイルスの感染拡大防止のため、ウイルス対策ソフトなどにより対策を行ってください。
 - (5) システム装置にOSをインストールする時は、USBメモリーを接続した状態で電源を入れたり再起動したりしないでください。
 - (6) USBメモリーを接続するシステム装置によっては、USBメモリーを接続した状態で電源を入れたり再起動したりすると、システムBIOSのブートデバイス優先順位が変わる場合があります。この場合、USBメモリー内のデータによっては、USBメモリーから起動するおそれがあります。OSが起動してからUSBメモリーを接続するようにしてください。
 - (7) USBメモリーが破損した場合、データの復旧はできません。重要なデータ等の保存やバックアップ用途には使用しないでください。



2. 4 外付け装置

(1) エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1200)

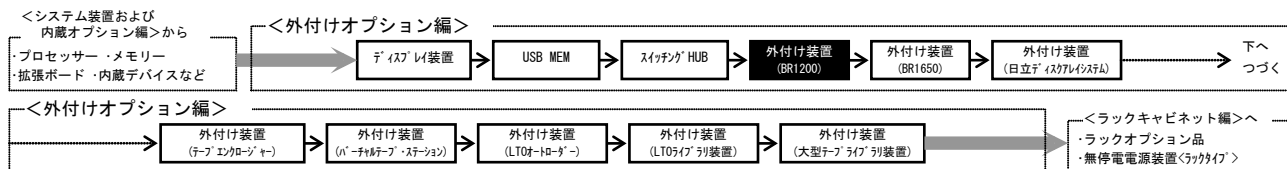
<ラックタイプ>



BR1200 3.5型HDD筐体



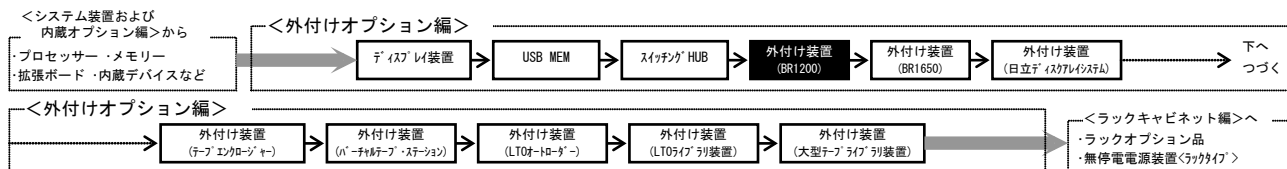
BR1200 2.5型HDD筐体



エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1200) 機器仕様

シリーズ名			エントリークラスディスクアレイ装置 BR 1 2 0 0		
モデル			3.5 型 HDD モデル	2.5 型 HDD モデル	
形名			GQ0BR120-1xxxxxx	GQ0BR120-2xxxxxx	
筐体タイプ			ラックタイプ [2U]		
拡張ストレージベイ		標準ベイ数	12	24	
		最大拡張ベイ数 *1	96		
ディスクアレイ コントローラ 〔基本筐体のみ〕		コントローラ搭載数	シングルコントローラモデル:標準1/最大2(オプション) デュアルコントローラモデル:標準2		
		ホストインタフェース	6Gbps SAS (Serial Attached SCSI) x2 (コントローラあたり)		
		増設ホストインタフェース (オプション) *2	6Gbps SAS x2 (コントローラあたり)		
		増設インタフェース (オプション) *2	10Gbps iSCSI x2 (コントローラあたり) (IP Remote Mirror専用)		
		HDDインタフェース	6Gbps SAS		
		キャッシュ容量 *2	標準: 2GB/最大: 4GB (オプション) (コントローラあたり, ECCサポート)		
		バッテリー(オプション) *2	バッテリーユニット+SDカード		
		サポートRAIDレベル *13	RAID 1, 3, 5, 6, 10		
		ホットプラグ/ホットスワップ	サポート/サポート		
		デュアルコントローラ	サポート		
		LUマッピング	サポート		
		最大LU数	256		
				100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T x2 (RJ-45)	
拡張筐体用インタフェース		6Gbps SAS x1			
ESM(拡張) コントローラ 〔拡張筐体のみ〕		コントローラ搭載数	標準:2		
		ホストインタフェース	6Gbps SAS (Serial Attached SCSI) x2		
		HDDインタフェース	6Gbps SAS		
		デュアルコントローラ	サポート		
		管理用インタフェース	100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T x1 (RJ-45)		
		拡張筐体用インタフェース	6Gbps SAS x1		
ハードディスク *3		HDDタイプ	SAS		
		HDDインタフェース	SAS		
		回転数	7200r/min	10000r/min, 15000r/min	
		最大容量 *4 *5	RAID3	44TB (4TBx12HDD)	27.6TB (1.2TBx24HDD)
			RAID5	44TB (4TBx12HDD)	27.6TB (1.2TBx24HDD)
			RAID6	40TB (4TBx12HDD)	26.4TB (1.2TBx24HDD)
			RAID10	24TB (4TBx12HDD)	14.4TB (1.2TBx24HDD) *11
サポート容量 *6	1TB, 2TB, 3TB, 4TB (7200r/min) *10	HDD:146GB, 300GB, 450GB, 600GB, 900GB, 1.2TB (10000r/min) *10/ 73GB, 146GB (15000r/min)/SSD *9: 200GB			
クラスタ構成			サポート		
外形寸法			449 (W) x540 (D) x86 (H) mm	449 (W) x487 (D) x88 (H) mm	
質量(最大)			約27.0kg	約25.9kg	
接続サーバサポートOS			下記サイトにて確認願います。 http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/storage/br1200/connection.html		
管理PCサポートOS		Windows	※上記接続サーバサポートOSに加え、下記をサポート Windows 8 Pro日本語版 / Windows 8 Enterprise日本語版 / Windows 7 Professional日本語版 (SP1) / Windows 7 Enterprise日本語版 (SP1) / Windows 7 Ultimate日本語版 (SP1)		
		Linux	※上記接続サーバサポートOSに同じ		
消費電力(最大)			412W	330W	
省エネ法に基づく表示 (2011年度規定)		区分	N	N	
		エネルギー消費効率 *7	0.0053W/GB	0.011W/GB	
騒音値			65dB以下 *8		
電源		電圧	AC100V/AC200V, 50Hz/60Hz		
		コンセント形状(電源ケーブル本数)	2極接地極付コンセント(2本)		
		冗長化電源	サポート(標準:ホットプラグ対応)		
管理ツール(障害通報/保守)			SANtricity ES Storage Manager(管理ツール), E-mail 通報, SNMP 通報, Syslog 通報 *12, ASSIST 通報		
ソフトウェア機能		標準添付	Path Failover Driver (マルチパス), Snapshot (管理数:32)		
		オプション	Snapshot 255 (管理数:255), Volume Copy 255 (管理数:255), Turbo Performance, Thin Provisioning IP Remote Mirror, SSD Cache		

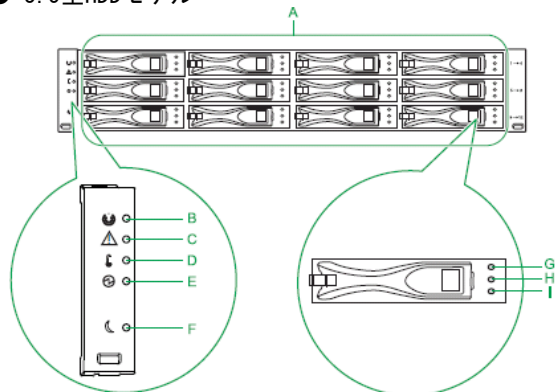
- *1: 基本筐体と拡張筐体の拡張ストレージベイの合計数です。
・3.5型HDDモデルの基本筐体および拡張筐体のみで構成する場合、拡張筐体の最大接続数は7台となります。
・2.5型HDDモデルの基本筐体および拡張筐体のみで構成する場合、拡張筐体の最大接続数は3台となります。
なお、3.5型HDDモデルと2.5型HDDモデルの拡張筐体は混在接続できます。
- *2: デュアルコントローラ構成の場合、コントローラAとコントローラBの構成(拡張ボード、メモリ容量、バッテリー有無)は同一構成としてください。
- *3: ハードディスクの容量表記は、1GB=10⁹バイトとして計算した容量です。
- *4: 1つのディスクアレイを構成するハードディスク台数が増えるほど、ハードディスク故障時に起因するディスクアレイの障害率が高くなります。万一複数のハードディスクが故障してディスクアレイが復旧できない場合、データの消失範囲も大きくなります。ディスクアレイは少ないハードディスク台数で構成するようお勧めします。
- *5: 実際に使用できる論理容量は、物理容量よりも少なくなります。
- *6: 回転数および容量の異なるハードディスクによるディスクアレイ構成はサポートしておりません。また、筐体またがりのディスクアレイ構成はサポートしておりません。Disk Pool構築時は、筐体またがりが可能です。
- *7: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネ法で定める記憶容量で除したものです。
- *8: 専用室への設置をお勧めします。設置環境や設置場所により、騒音が大きいと感じられることがありますので、一般事務室に設置する場合には、環境や場所に十分ご注意の上導入してください。
- *9: ディスクアレイ構成内で、SSD/HDD混在は未サポートです。スベアについてもSSD/HDDを別々に用意し、スベア設定する必要があります。
- *10: エアラインSAS HDD (1TB/2TB/3TB/4TB), SAS HDD (146GB/300GB/450GB/600GB/900GB/1.2TB) については、BR1200のFW: 07.77.09.00以降にてサポートになります。FW: 07.70.30.00、または07.70.35.00をご使用の場合には、FWアップデートが必要になります。詳細は「エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1200) システム構築上の注意事項」を参照ください。
- *11: BR1200拡張筐体をHA8000システム装置のディスクアレイコントローラボード経由接続で構成の場合、RAIDレベル10で構築可能なRAIDのHDD台数は最大16台 (リザーブディスクを除く) となります。(BR1200拡張筐体をBR1200基本筐体と接続した構成の場合は対象外です。)
- *12: 管理PCでサポートしているWindows OS、Linux OSをサポートします。Syslog通報がサポートしているIPアドレス形式は、IPv4アドレス形式のみです。
- *13: RAID1/10では、Volume Groupの容量拡張をサポートしていません。RAID1/10を使用されている場合は、Volume Groupの容量拡張を絶対に実行しないようにしてください。
RAID1/10のVolume Groupを容量拡張中にコントローラリセット、電源OFF/ONをした場合、容量拡張処理が正常に行われないうえ、データ破損を引き起こすおそれがあります。



エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1200) 各部の機能と名称

■ 前面 (基本筐体/拡張筐体)

● 3.5型HDDモデル



A: 拡張ストレージベイ

内蔵ハードディスクを搭載します。

B: ロケーションランプ (白)

BR1200管理ユーティリティ「SANtricity」より、BR1200の位置を確認する操作を行うと点滅します。

C: 警告ランプ (橙)

障害・異常が発生した場合に点灯します。

D: 温度異常ランプ (橙)

BR1200の筐体内の温度異常が発生した場合に点灯します。

E: 電源ランプ (緑)

点灯のしかたによって、BR1200の動作状態を示します。

F: スタンバイランプ (緑)

ロケーションランプと同様に、BR1200管理ユーティリティ「SANtricity」より、BR1200の位置を確認する操作を行うと点滅します。正常動作時は消灯します。

G: HDD 保守ランプ (青)

ハードディスクを拡張ストレージベイから安全に取り外せる状態のときに点灯します。正常動作時は消灯します。

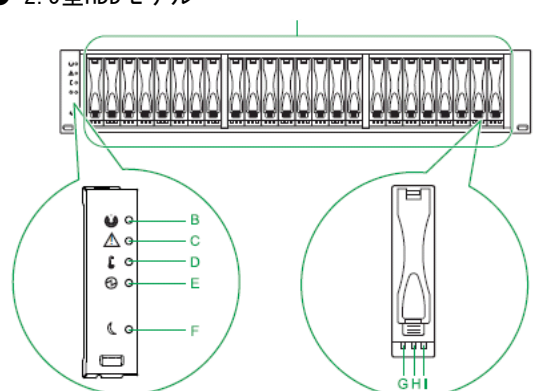
H: HDD 警告ランプ (橙)

ハードディスクに障害が発生した場合に点灯します。

I: HDD 電源ランプ (緑)

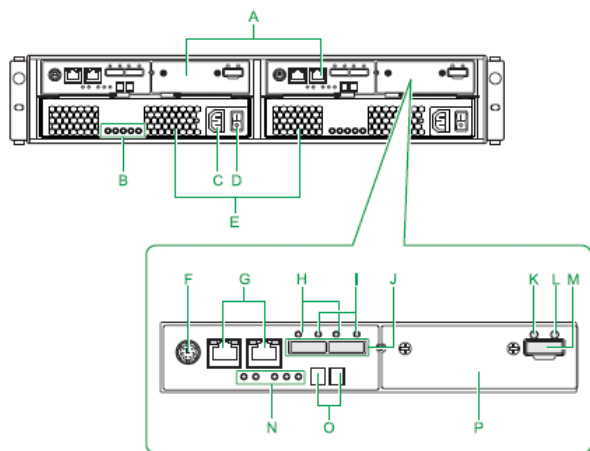
ハードディスクに電源が供給されているときに点灯します。また、ハードディスクにアクセス中に点滅します。

● 2.5型HDDモデル



■ 背面 (基本筐体/拡張筐体)

● 基本筐体 (3.5型HDDモデル/2.5型HDDモデル)



A: コントローラスロットA, B

ディスプレイコントローラを搭載します。左から順にスロットA, Bになります。シングルコントローラ構成はスロットAに、デュアルコントローラ構成はスロットA, Bにディスプレイコントローラが搭載されます。

B: 電源ステータスランプ

各ラックから構成されます。

C: 電源コネクタ

電源ケーブルを接続します。電源-ファンユニットは2台標準搭載されますので、電源ケーブルは2本必要になります。

D: ACスイッチ

BR1200の電源を入れたり切ったりするためのスイッチです。

E: 電源-ファンスロット1, 2

電源-ファンユニットが搭載されます。左から順に電源-ファンユニット1, 2となります。電源-ファンユニットは冗長化のため、2台標準搭載されます。

F: RS232Cコネクタ

保守用です。通常使用時には使用しません。

G: ネットワークインタフェースコネクタ (LANポート) 1, 2

LANケーブルを接続します。BR1200の管理用装置 (サーバ またはクライアント) との接続に使用します。左から順にネットワークインタフェースポート1, 2となります。

H: HOSTリンクエラーランプ (橙)

HOSTポートに接続される、コントローラ上のSASポートの動作を示します。

I: HOSTリンクランプ (緑)

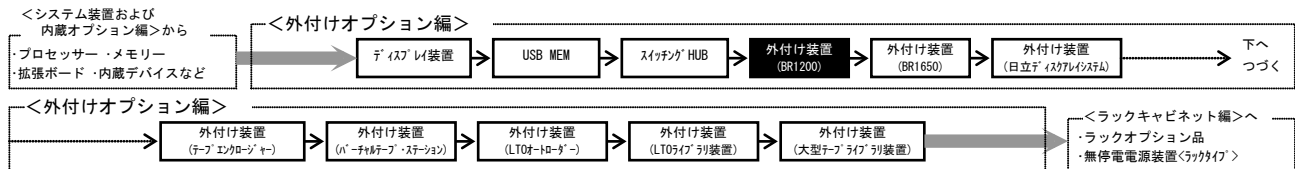
HOSTポートに接続される、コントローラ上のSASポートの動作を示します。

J: HOSTコネクタ (SAS) 1, 2

BR1200をシステム装置のSASポートに接続します。左から順にHOSTコネクタ (SAS) 1, 2となります。ディスプレイコントローラに拡張ポートを搭載することにより、HOSTポートを拡張することができます。

K: ESMエラーランプ (橙)

ESMポートに接続される、拡張筐体のSASポートの動作を示します。



L : ESMリンクランプ (緑)

ESMコネクタに接続される、拡張筐体のSASポートの動作を示します。

M : ESMコネクタ (拡張コネクタ)

拡張筐体の接続時に使用します。ディスプレイコントローラA, BのESMコネクタを、それぞれ拡張筐体のESMコントローラA, BのHOSTコネクタに接続します。

N : ディスクアレイコントローラステータスランプ

各ランプから構成されます

O : 7セグメントディスプレイ

BR1200の筐体IDや、ディスプレイコントローラのエラーコードを表示します。

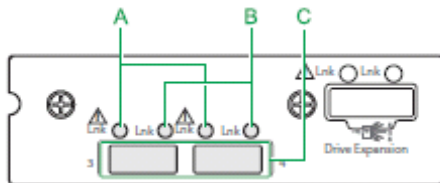
P : 拡張ボードスロット

ディスプレイコントローラに対し、次のいずれかの拡張ボードを増設することができます。
□SAS 2Port拡張ボード (CE7B12)

● 拡張ボード

拡張ボードはディスクアレイコントローラに増設可能なオプションです。
増設することにより、HOSTコネクタを拡張できます。

SAS 2Port拡張ボード (CE7B12)



A : HOSTリンクエラーランプ (橙)

HOSTコネクタに接続される、コントローラ上のSASポートの動作を示します。

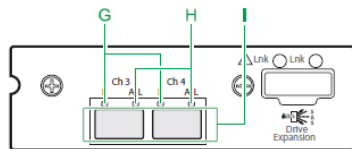
B : HOSTリンクランプ (緑)

HOSTコネクタに接続される、コントローラ上のSASポートの動作を示します。

C : HOSTコネクタ (SAS) 3, 4

ディスプレイコントローラのHOSTコネクタを拡張します。
左から順にHOSTコネクタ (SAS) 3, 4となります。

iSCSI 2Port拡張ボード (CN7B12 / IP Remote Mirror専用)



G : リンクレイトランプ (緑)

H : リンク/ アクティブランプ (緑)

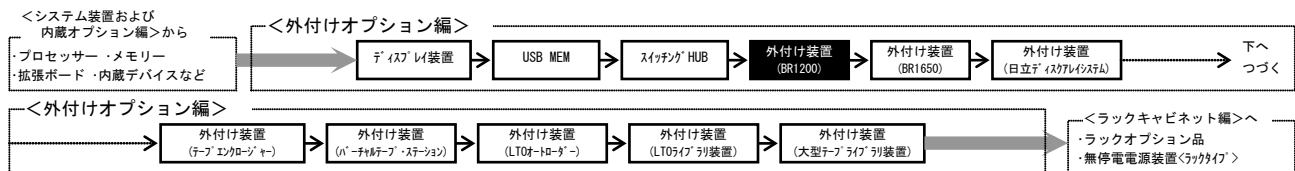
点灯のしかたによって iSCSIコネクタの状態を示します。

I : コネクタ (iSCSI) 3, 4

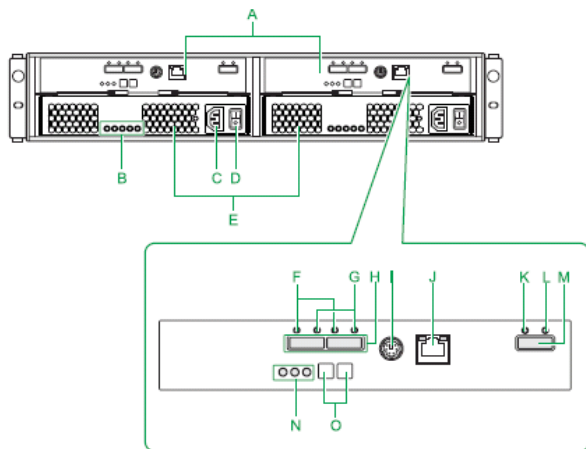
IP Remote Mirror使用時にコピー先のBR1200筐体との接続に使用します。
左から順にコネクタ (iSCSI) 3, 4 となります。
BR1200装置間の接続にはカテゴリ7のLAN ケーブルを使用します。

＜制限事項＞

iSCSI 2port拡張ボードはIP Remote Mirror専用であり、サーバ接続には使用できません。



● 拡張筐体 (3.5型HDDモデル／2.5型HDDモデル)



A : ESMコントローラスロット (拡張コントローラスロット) A, B

ESM (拡張) コントローラが搭載されます。右から順にスロット A, B となります。
標準でスロット A, B ともに ESM コントローラが搭載されます。

B : 電源ステータスランプ

各ラック から構成されます。

C : 電源コネクタ

電源ケーブルを接続します。
電源ファンユニットは2台標準搭載されますので、電源ケーブルは2本必要になります。

D : ACスイッチ

BR1200の電源を入れたり切ったりするためのスイッチです。

E : 電源ファンユニット1, 2

電源ファンユニットが搭載されます。左から順に電源ファンユニット1, 2となります。
電源ファンユニットは冗長化のため、2台標準搭載されます。

F : HOSTリンクエラーランプ (緑)

HOSTコネクタに接続される、コントローラ上のSASポートの動作を示します。

G : HOSTリンクランプ (緑)

HOSTコネクタに接続される、コントローラ上のSASポートの動作を示します。

H : HOSTコネクタ (SAS) 1, 2

BR1200基本筐体と接続します。または、複数の拡張筐体を外部で接続する場合に拡張筐体と接続します。左から順にHOSTコネクタ (SAS) 1, 2となります。

I : RS232Cコネクタ

保守用です。通常使用時には使用しません。

J : ネットワークインタフェースコネクタ (LANコネクタ) 1

使用しません。LANケーブルは接続しないでください。

K : ESMエラーランプ (橙)

ESMコネクタに接続される、拡張筐体のSASポートの動作を示します。

L : ESMリンクランプ (緑)

ESMコネクタに接続される、拡張筐体のSASポートの動作を示します。

M : ESMコネクタ (拡張コネクタ)

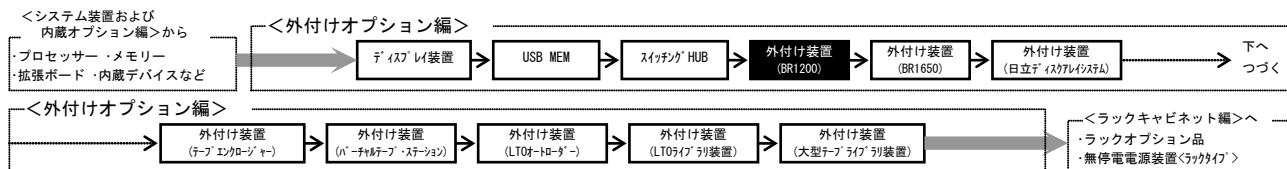
拡張筐体の接続時に使用します。ディスプレイコントローラ A, BのESMコネクタを、それぞれ拡張筐体のESMコントローラ A, BのHOSTコネクタAに接続します。

N : ESMコントローラステータスランプ

各ラック から構成されます

O : 7セグメントディスプレイ

BR1200の筐体IDや、ディスプレイコントローラのエラーコードを表示します。



● VAAI (vStorage API for Array Integration)

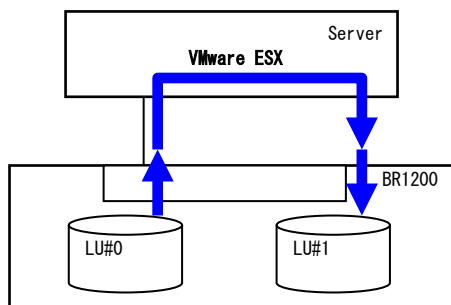
F/W Ver. 07.83よりサポート。2012年6月29日適用開始。

VAAIは、VMware vSphere ESXi 5.xで提供されているストレージAPIで、これを利用すると、従来はサーバ側で実行していた処理を、ストレージ側で実行できるようになります。

(1) Full Copy (Xcopy)

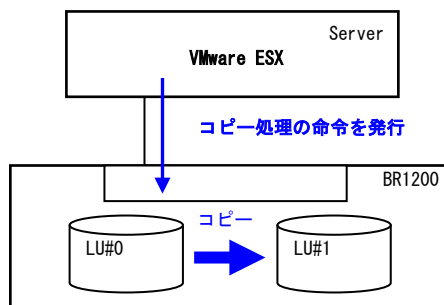
ストレージ側でのコピー。ゲストOSのクローンや移行などでデータをコピーする時に、サーバを経由せずにストレージ側でコピー処理を実行可能にします。

＜VAAI を使用しない場合＞



ゲスト OS の複製処理。データは、いったんサーバを経由してから再度書き込む。

＜VAAI を使用した場合＞

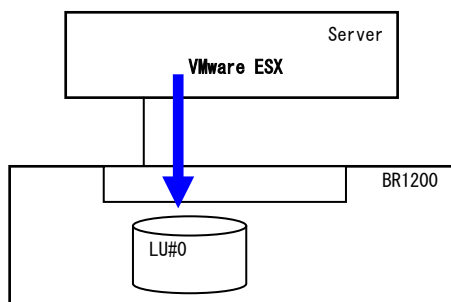


データコピーは、ストレージ装置内で実行。

(2) Block Zeroing (Write Same)

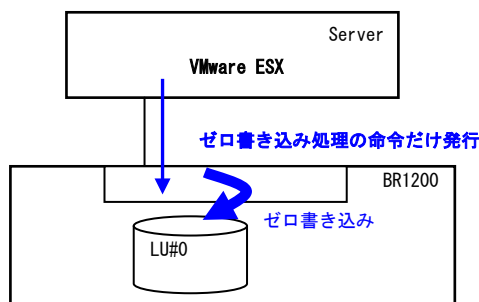
ストレージ側で領域をゼロで埋める。新規のゲストOS作成などでストレージ領域を割り当てる場合に、初期化処理としてストレージ領域をゼロデータで埋める必要があります。この作業も、ストレージ側で行えるので、仮想マシン割り当ての高速化、サーバ負荷軽減が実現します。

＜VAAI を使用しない場合＞



実際にゼロ書き込みを行うことで初期化を行う。

＜VAAI を使用した場合＞

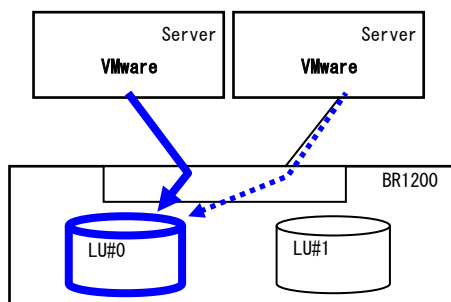


ゼロ書き込みは、ストレージ装置内で実行。

(3) Hardware Assisted Locking (ATS: Atomic Test and Set)

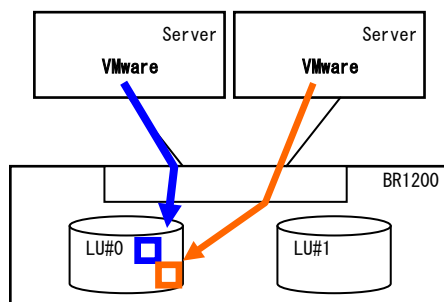
特定のストレージ領域に対する排他制御において、LU単位での制御に代わり、ストレージが保有するブロック単位での制御機能を適用できます。これにより、排他制御でアクセス制限するストレージ領域を極小化し、仮想環境の運用効率が向上します。

＜VAAI を使用しない場合＞

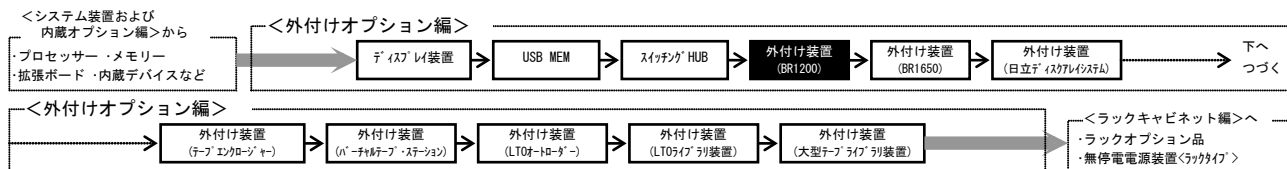


VMFS の排他制御が LU 単位。

＜VAAI を使用した場合＞



ブロック単位で排他制御可。



● ALUA (Asynchronous Logical Unit Access : 非対称論理ユニットアクセス)

F/W Ver. 07.83よりサポート。2012年6月29日適用開始。

SCSI SPC-3準拠のALUA (Asynchronous Logical Unit Access) に対応。

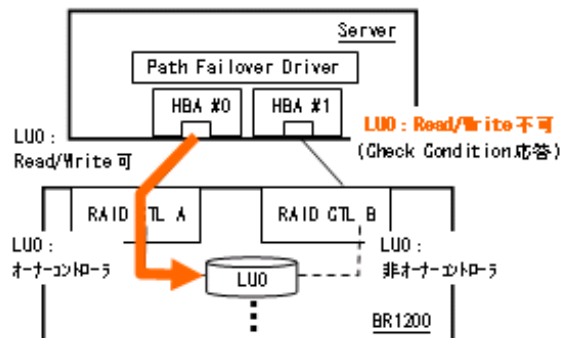
ALUAは、非オーナーコントローラに対するI/O処理を、拒否 (Check Condition応答) することなく、受けることができます。

また、コントローラのI/O処理を、別コントローラにリダイレクトすることができます。

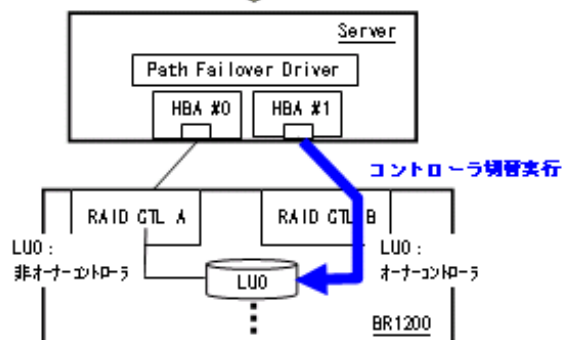
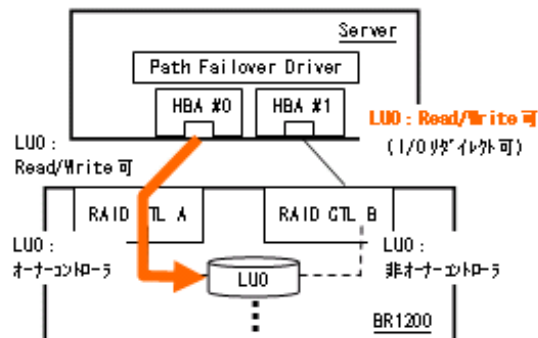
下記の場合にリダイレクトします。

- ・非オーナーのコントローラにI/Oアクセスがあった場合
- ・I/Oアクセス経路 (HBAポート、SASケーブル) に障害が発生した場合 (下記参照)

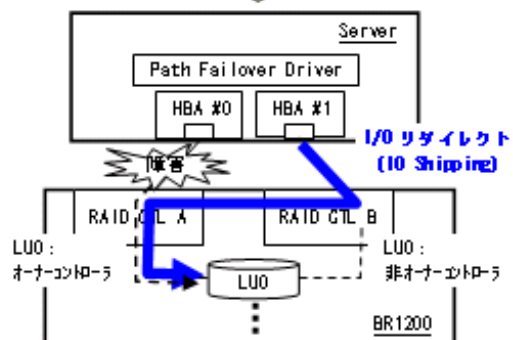
＜ALUA を使用しない設定の場合＞



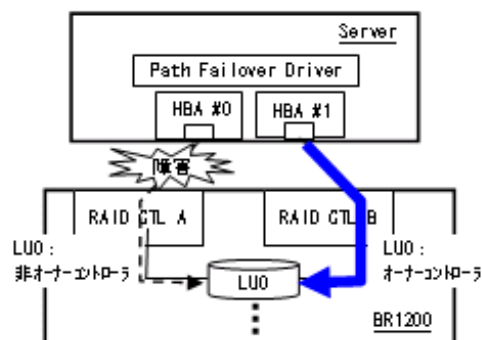
＜ALUA を使用した設定の場合＞



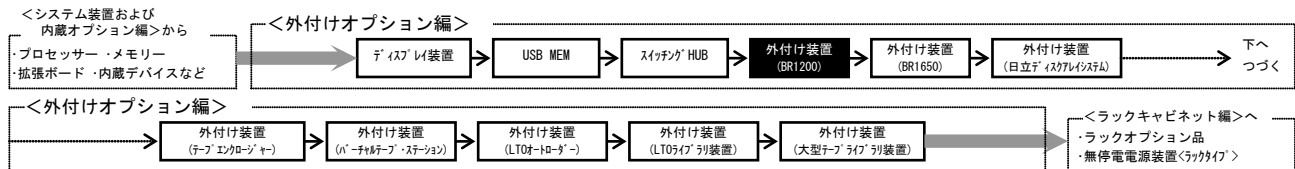
コントローラの切替処理後



I/O リダイレクト処理。
コントローラ切替不要な為、即座なパス切替可。
I/O アクセス停止時間の削減になる。



非オーナーコントローラの処理が、5 分以上となった場合、コントローラの切替実施。



■ ソフトウェア概要

● 標準添付ソフトウェア

(1) Path Failover Driver (マルチバスソフト)

Path Failover Driverは、サーバとBR1200間のアクセスパスを冗長化させ、バス (HBA, SASケーブル, RAIDコントローラ等) 故障時にも装置へのアクセスを継続させるソフトウェアです。バス故障時の自動切替「フェイルオーバー」機能を持ち、運用バスの故障時に待機バス側で運用を継続することができるため、システムの安定性を高めることが可能です。

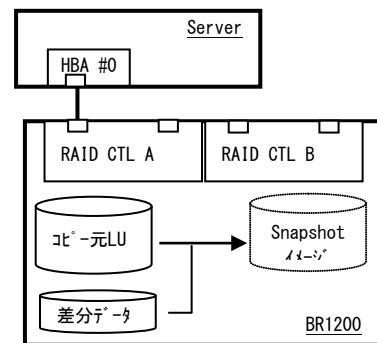
主な機能は下記のとおりです。

項番	機 能	概 要
1	マルチバスの自動構築	Path Failover DriverをインストールしBR1200を接続すると、自動的にバスを認識して、マルチバス構成で接続し、フェールオーバー/ロードバランスなどの機能を実行します。
2	バスのロードバランス	使用可能なActiveバスを使って、ロードバランス (負荷分散) が可能です。BR1200をデュアルコントローラで使用する場合、各RAIDコントローラから2本、計4本のバスで接続可能です。各LUのオーナーのRAIDコントローラに接続された2本のバスがActiveになり、この2本のバスでロードバランスを実行します。
3	バスのフェイルオーバー	使用中のバスのうちいずれかが使用不可能になった場合、他の正常なバスに自動的に切り換えます。これにより、運用の停止が回避可能です。複数のActiveバスのうち、一部のバスが使用不可能になった場合は、残ったActiveバスで処理を続行します。Standbyバスへの切り換えは行いません。Activeバスが全て使用不可能となった場合は、Standbyバスに切り換えて処理を続行します。Standbyバスが複数ある場合は、ロードバランスを実行します。
4	自動バス診断	定期的にバスを診断し、使用不可能なバスを検出した場合はバスを使用停止にします。
5	自動バス復旧	異常を検出して使用停止にしたバスに対して定期的に診断を行い、回復したと判断した場合は、このバスを自動的に復旧させます。

(2) Snapshot 32

Snapshotは、論理ドライブ (コピー元LU) のコピーを、論理的な複製イメージ (Snapshotイメージ) として取得する機能です。Snapshotイメージは、コピー元LUを物理コピーするのではなく、コピー元LUのデータと、別の論理ドライブに保持される差分データから構成されます。そのため、物理コピーよりも迅速に作成でき、LU容量も少なくて済みます。コピー元LUの物理的コピーが存在しないため、コピー元LUが破損した場合にはデータを正常に戻すことはできません。

Snapshot取得数は、装置当たり最大32、LU当たり最大4



● 有償ソフトウェア

(1) Snapshot 255

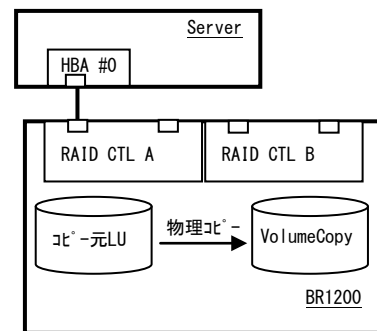
追加ライセンスを購入することにより、標準添付Snapshot 32のSnapshot取得数を増やすことができます。Snapshot取得数は、装置当たり最大255、LU当たり最大8

(2) Volume Copy 255

Volume Copyは、論理ドライブ (コピー元LU) のコピーを、物理的な複製 (Volume Copy) として取得する機能です。コピーを開始すると、コピー元LUからの物理コピーが開始され、複製 (Volume Copy) の作成を行います。

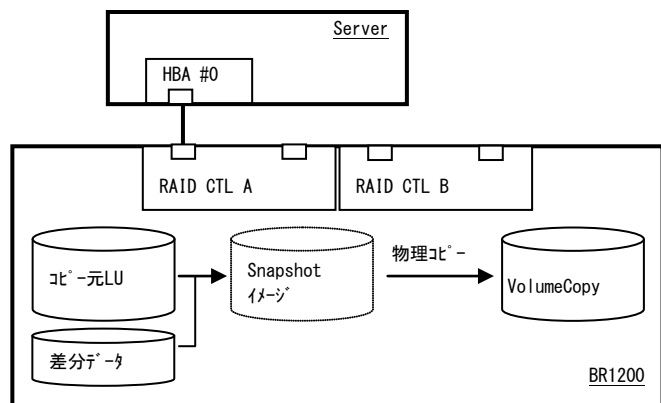
コピー中は、コピー元LUがRead Onlyのみのアクセスになり、コピー中の複製 (Volume Copy) へのアクセスはできません。

Volume Copy取得数は、装置当たり最大255。



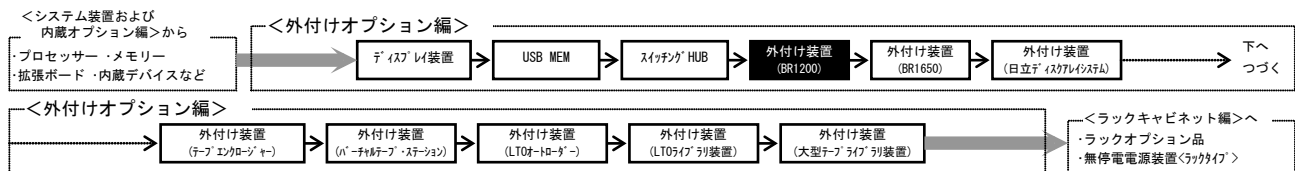
(3) Snapshot+Volume Copy

Volume Copyによる物理コピー中は、コピー元LUはRead Onlyであり、コピー元LUへのWriteアクセスはできませんが、SnapshotとVolume Copyを組み合わせることで、物理コピー中でもコピー元LUへのWriteアクセスが可能となります。



(4) Turbo Performance

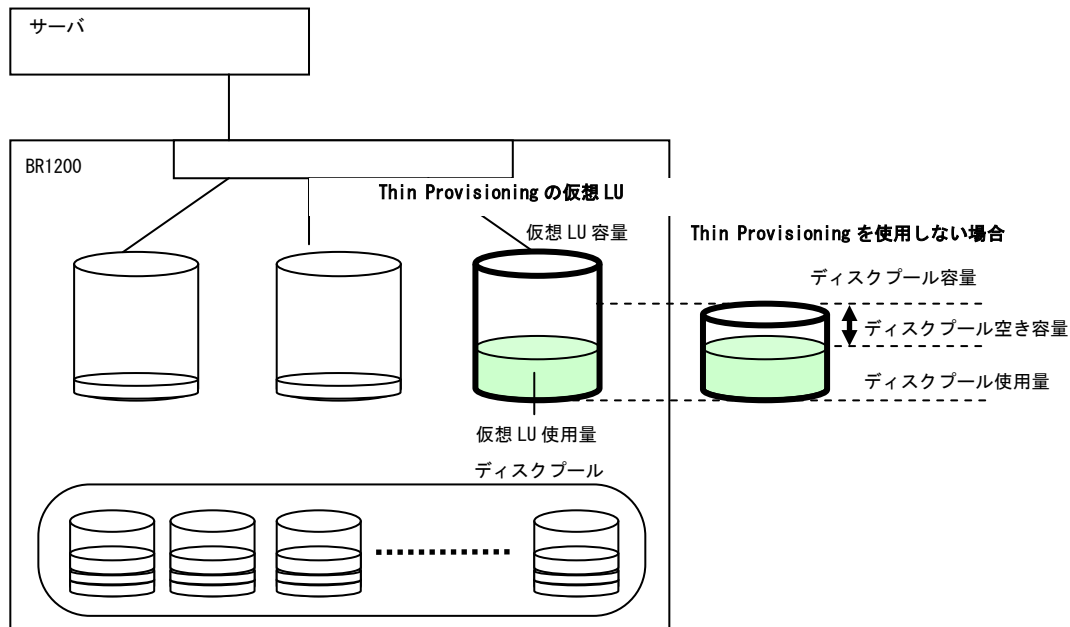
Turbo Performanceオプションを有効にすることで、データ転送レートを無効時よりも高速化することが可能です。



(5) Thin Provisioning

サーバに対して、物理容量より大きな容量をもつ仮想LUを提供可能になります。

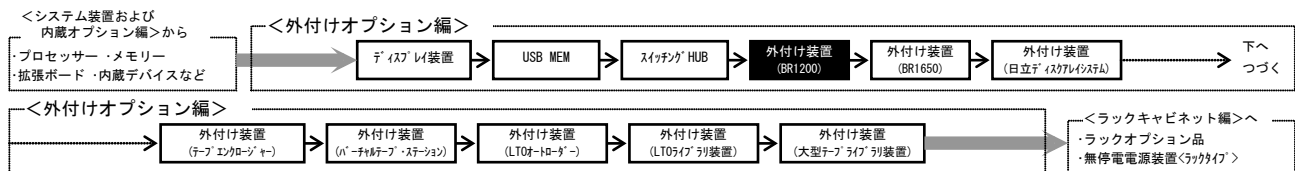
＜概要図＞



- ・仮想LUは、サーバのRead Capacityコマンドに対して、物理容量より大きい容量値を返す。
- ・仮想LUは、ディスクプールから容量を割り当て。割り当て容量は、自動拡張可。（設定要。）

＜制限事項＞

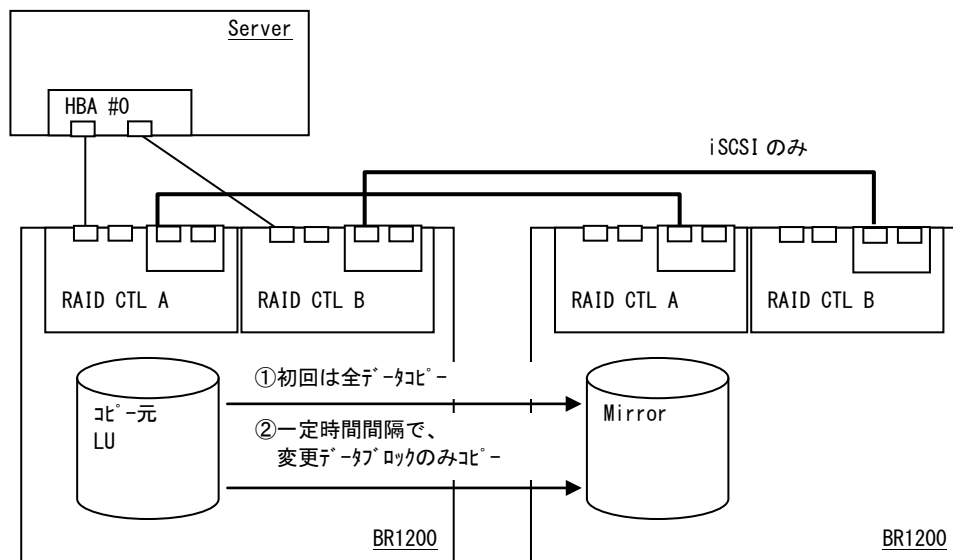
- ・ディスクプール上にのみ、Thin Provisioning構築可。
- ・Thin Provisioning領域のSnapshot、VolumeCopyは未サポート。
- ・バッテリー非搭載時はライトキャッシュ設定を有効にすることはできません。
- ・バッテリー搭載かつライトキャッシュが有効に設定することを強く推奨します。
ライトキャッシュが無効の場合は、有効の場合と比較して、
シーケンシャルのデータパターンによっては、性能が劣化することがあります。（最大70%低下）



(6) IP Remote Mirror

IP Remote Mirrorは、論理ドライブ（コピー元LU）のデータを別筐体のコピー先LU（Mirror）に非同期で書き込む機能です。
IP Remote Mirrorの取得数は、装置当たりLU数で最大32です。

コピー方式は非同期書き込みモードで、初期コピー時はその時点で存在する全データをコピーしますが、初期コピー後はスナップショット（PiT）によって取得された変更データブロックのみをコピーします。（最小設定値：10分間隔）
LAN（iSCSI）を経由して変更のあったデータブロックだけを、一定時間間隔でミラー先にコピーするため、同期型のRemote Mirrorと比較してRAIDコントローラへの負荷軽減が可能となります。

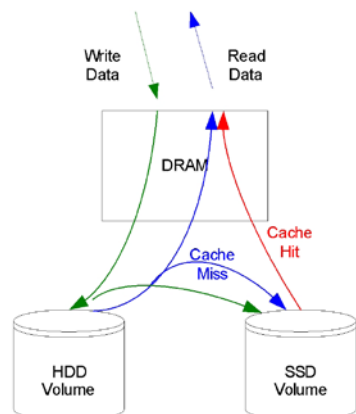


＜制限事項＞

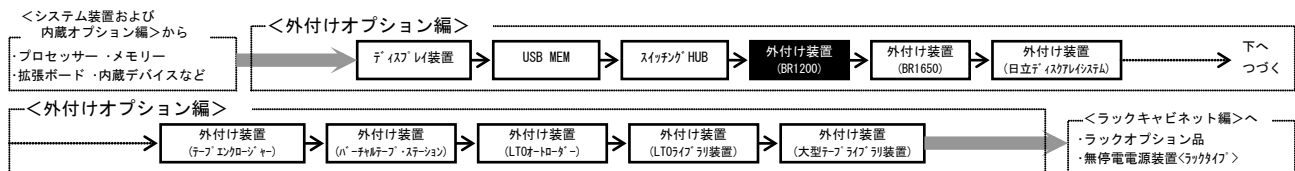
- ・ IP Remote Mirrorのデータ転送用インターフェースは、iSCSIのみサポート。
- ・ コピー元のBR1200とコピー先のBR1200は、デュアルコントローラ構成のみサポート。
- ・ iSCSI 2port拡張ボードを両コントローラへの搭載が必須。
- ・ IP Remote Mirror環境を構築する前に、コピー元のBR1200とコピー先のBR1200の両方で、IP Remote Mirrorのライセンスキーを適用する必要があります。
- ・ 10Gbps iSCSIで使用するLANケーブルは、カテゴリ7のLANケーブルのみ。
- ・ Thin Provisioning領域、Snapshot領域、VolumeCopy領域のIP Remote Mirrorは未サポート。
- ・ LANスイッチ接続構成は、未サポート。
- ・ IP Remote Mirrorの接続構成は、2台のBR1200筐体を使用した1対1接続のみサポート。

(7) SSD Cache

SSD Cacheは、高性能なSSDを、HDDのキャッシュとして使用し、リード性能を向上させる機能です。
キャッシュヒット率が高い運用（Webサーバ、ファイルサーバ等）において、性能が向上します。
BR1200にキャッシュ用のSSDを搭載し、読み出しもしくは書き込みしたデータを格納。サーバから読み出し要求があった場合に、HDDではなく高性能なSSDからデータを読み出すことで、リード速度を大幅に向上させます。
サーバからは通常のLUと同様に見えるため、専用アプリケーション不要で、透過的に利用できます。



コントローラあたりのメモリサイズ	最大 SSD Cache サイズ
2GB	2TB
4GB	4TB

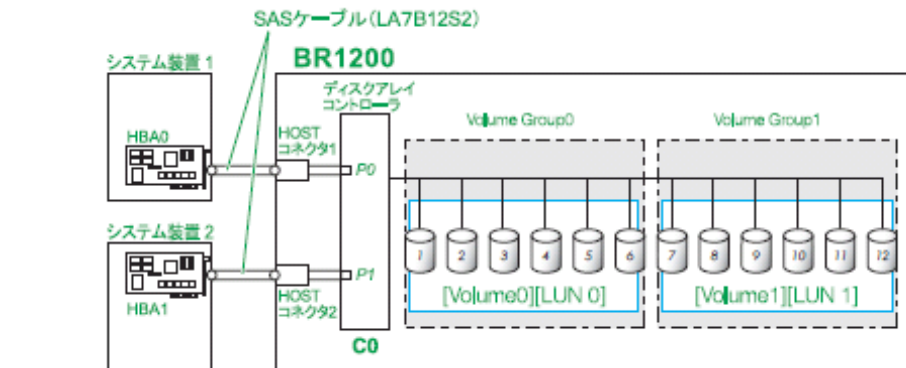


■ 複数のシステム装置に接続する場合

- BR1200を共有して使用

BR1200をシステム装置2台で共有して、内蔵ディスク（ディスクアレイ）を分割使用する場合、次のとおり接続します。

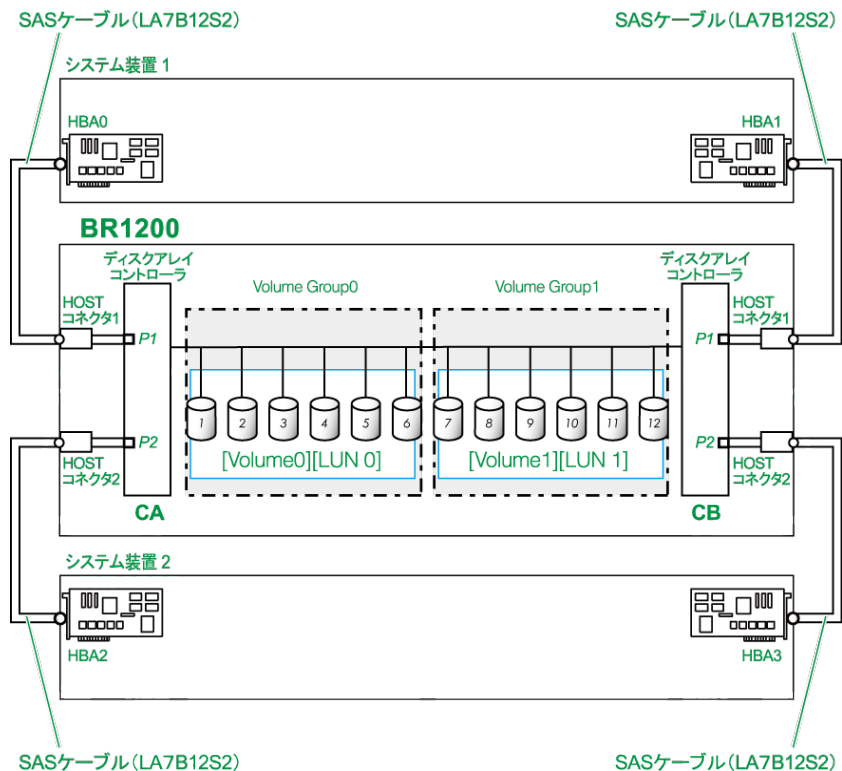
＜シングルコントローラ構成＞



接続できるシステム装置は最大2台です。
ディスクアレイコントローラに拡張ボードを増設した場合、最大4台まで拡張できます。
この場合も同じように、各ポート、LUN に対してVolume Mapping を行ってください。

＜デュアルコントローラ構成＞

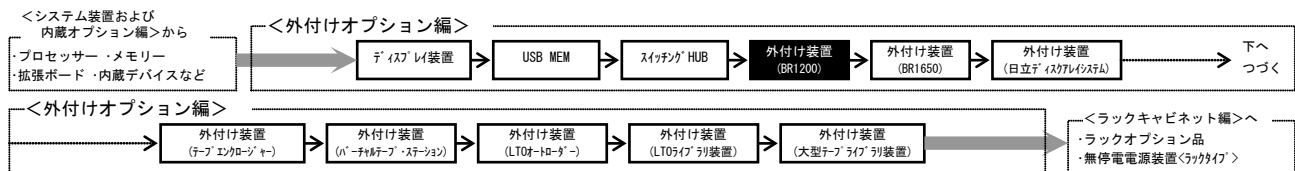
- デュアルバス構成



コントローラとSAS ケーブルの2重化（デュアルバス）が必須条件となります。
システム装置のHBA から各コントローラへ、ケーブルを接続してください。
2重化を行わないシングルバスや同一コントローラで2重化を行う構成の場合、正常に動作しません。



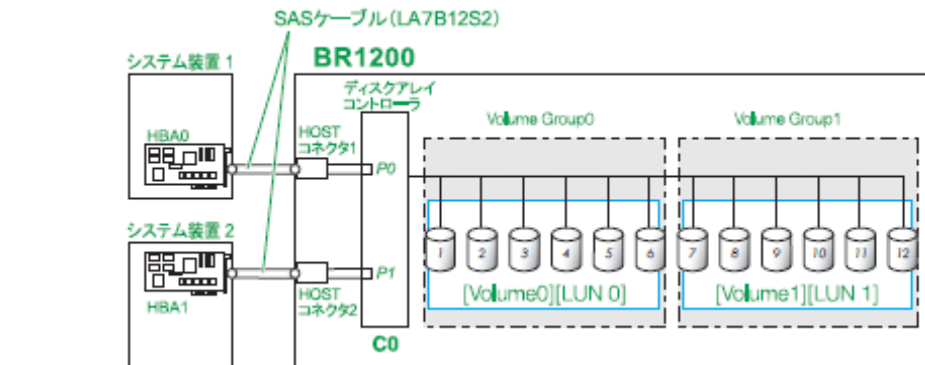
接続できるシステム装置は最大2台です。
ディスクアレイコントローラに拡張ボードを増設した場合、最大4台まで拡張できます。
この場合も同じように、各ポート、LUN に対してVolume Mapping を行ってください。



● クラスタシステムとして使用

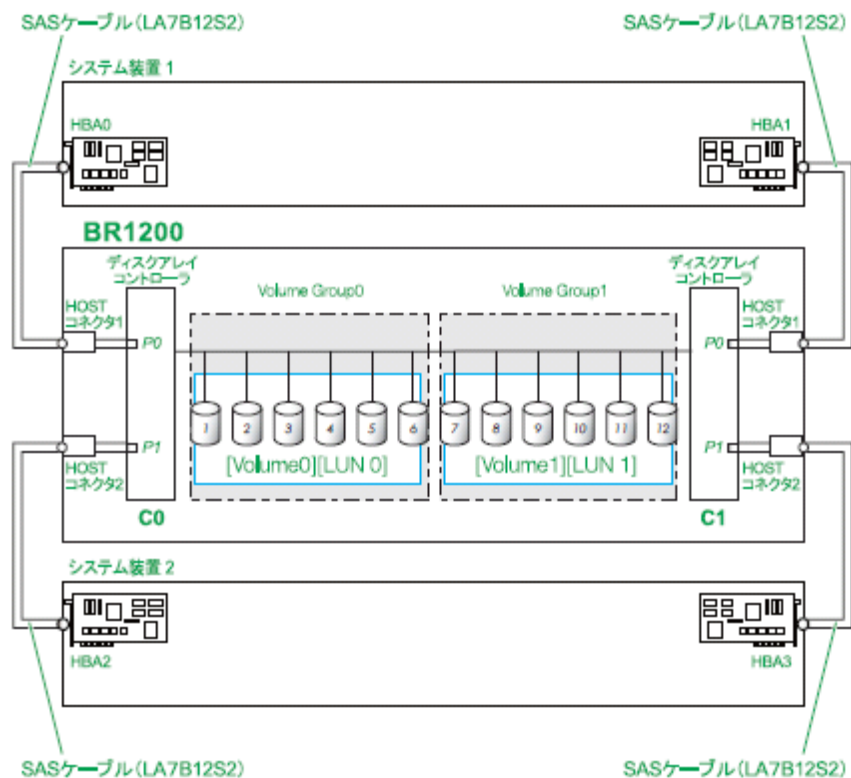
BR1200をクラスタシステムにおける共有ディスクとして使用する場合、次のとおり接続します。

＜シングルコントローラ構成＞



接続できるシステム装置は最大2台です。
ディスクアレイコントローラに拡張ボードを増設した場合、最大4台まで拡張できます。
この場合も同じように、各ポート、LUN に対して Volume Mapping を行ってください。
2ノード×2のマルチノードクラスタも対応可能です。

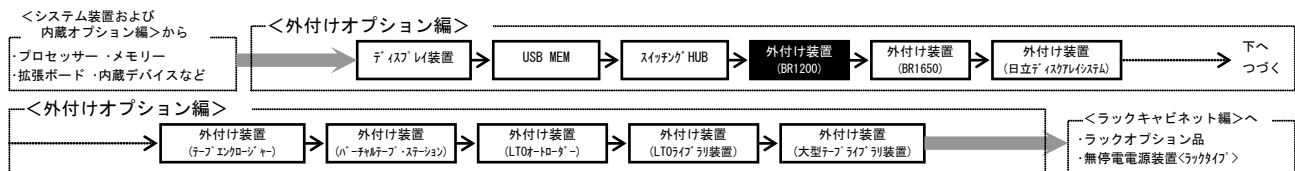
＜デュアルコントローラ構成＞



コントローラとインターフェースケーブルの2重化（デュアルパス）が必須条件となります。
システム装置のHBAから各コントローラへ、ケーブルを接続してください。
2重化を行わないシングルパスや同一コントローラで2重化を行う構成の場合、正常に動作しません。



接続できるシステム装置は最大2台です。
ディスクアレイコントローラに拡張ボードを増設した場合、最大4台まで拡張できます。
この場合も同じように、各ポート、LUN に対して Volume Mapping を行ってください。
2ノード×2のマルチノードクラスタも対応可能です。



■ その他のシステム構築上の注意事項について

(1) BR1200構成時の注意事項について

- RAID1/10では、Volume Groupの容量拡張をサポートしていません。
RAID1/10を使用されている場合は、Volume Groupの容量拡張を絶対に実行しないようにしてください。
RAID1/10のVolume Groupを容量拡張中にコントローラリセット、電源OFF/ONをした場合、容量拡張処理が正常に行われなため、データ破損を引き起こすおそれがあります。(Ver. 08. xx. xx. xx以降のFWでは対策されています。)
- 同一システム装置へ、他のディスクアレイ装置 (BR20 (BR202), BR1600, BR1650, ディスクアレイシステム) との混在接続はできません。
但し、BR1200拡張筐体をディスクアレイコントローラボード経由にて接続する構成を除きます。
- BR1200の最大拡張ストレージベイ数は、96です。
- 3.5型HDDモデルの基本筐体および拡張筐体のみで構成する場合、拡張筐体の最大接続数は7台となります。
2.5型HDDモデルの基本筐体および拡張筐体のみで構成する場合、拡張筐体の最大接続数は3台となります。
なお、3.5型HDDモデルと2.5型HDDモデルの拡張筐体は混在接続可能です。
- デュアルコントローラ構成の場合、コントローラAとコントローラBの構成 (拡張ボード数、メモリー容量、バッテリー有無) は同一構成としてください。
- 同一筐体内にて、回転数の異なるHDDの混在搭載が可能です。
ただし、同一RAIDグループ内での回転数および容量の異なるハードディスクによるディスクアレイ構成はサポートしていません。
- 1つのRAIDグループを筐体を跨いで構成することはできません。Disk Pool構築時は、筐体またがりが可能です。
- スベアは全てグローバルスベアとなります。(RAID間でスベアが共有されます)
1つの筐体内には、スベアディスクを1台以上搭載することを推奨します。
また、ディスク種類毎に、最低1台ずつスベアディスクを搭載することを推奨します。
- BR1200では容量の異なる複数のスベアディスクを混在させて運用可能です。
閉塞したディスクの容量/回転数にあわせて適切なスベアディスクを選択します。
- スベアディスクヘデータが復旧した後、障害ディスクと交換された新しいディスクへスベアディスクのデータをコピーする
コピーバック機能をサポートしています。
- BR1200基本筐体がシングルコントローラ構成では拡張筐体は非サポートです。
拡張筐体を接続する場合は、基本筐体をデュアルコントローラ構成としてください。
- SASリモートブートはサポートしていません。

(2) BR1200拡張筐体とHA8000システム装置 (ディスクアレイコントローラボード経由接続) 接続時の注意事項について

- BR1200拡張装置の最大接続台数は1台のみです。BR1200拡張装置のカスケード接続は非サポートです。
- クラスタ構成は非サポートです。
- 本構成では、RAID管理、状態監視等の管理ツールは、HA8000システム装置添付のRAID管理ツールを使用します。
- 本構成では工場出荷時、BR1200拡張筐体のRAID設定は行われません。納入後、ユーザにてRAID設定を行う必要があります。
- RAID10で構築できるディスク台数は、4, 8, 12, 16となります。

(3) UPSの接続について

- 突然の停電等に備え、無停電電源装置 (UPS) の使用を推奨します。
- 電源連動はUPSにて行う為、同一UPSからの電源供給をお願いします。
- BR1200を接続するシステム装置の、OSの起動待ち時間を3分以上に設定してお使いください。
設定しない場合、BR1200が起動する前にOSが起動してしまい、BR1200が認識されない場合があります。

(4) データバックアップについて

- サーバおよびハード/ソフトの障害によりデータを消滅される可能性もありますので全データのバックアップは、必ず実施して下さい。
- 既設のBR1200に増設ハードディスクを増設する場合は、増設作業前にデータバックアップを行って下さい。

(5) 装置・オプションの増設・減設・交換について

- 装置・オプションの増設・減設・交換はすべて保守員が行います。装置のカバーの取り外しやオプションの取り付け・取り外しは行わないでください。不慣れな作業を行うことにより、けがをしたり装置の故障の原因となります。
- 以下に示す装置とオプション機器について増設、減設が可能です。

<増設>

増設単位	備考
拡張筐体	稼働中の増設不可
ハードディスク	稼働中の増設可
SSD	稼働中の増設可
RAIDコントローラ	稼働中の増設不可
メモリボード (4GB)	不稼働中の増設可
SAS 2port拡張ボード	稼働中の増設不可
iSCSI 2Port 拡張ボード	稼働中の増設不可

<減設>

減設単位	備考
基本筐体	稼働中の減設不可
拡張筐体	稼働中の減設不可

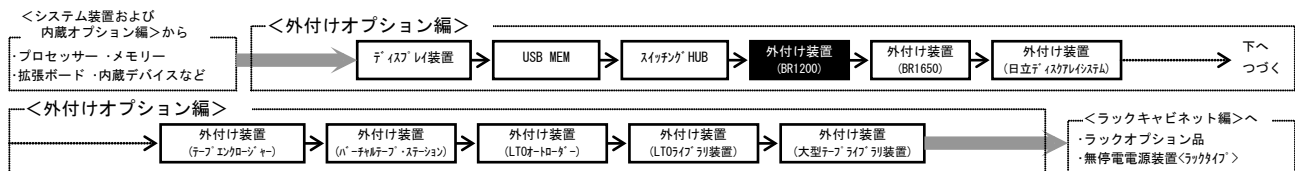
- 拡張筐体の移設はサポートしていません。

(6) 活線挿抜について

- ハードディスク、電源 (FAN) は、システムを止める事なく活線挿抜する事ができます。
- コントローラは、デュアルコントローラでマルチパス冗長構成の場合のみ、システムを止める事なく活線挿抜することが可能です。

(7) 電源オフについて

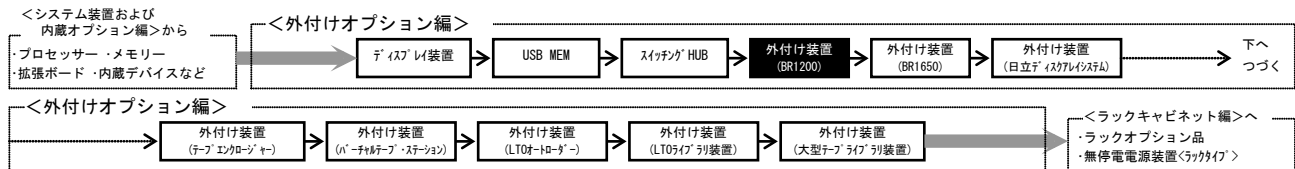
- BR1200の電源オフは、接続するシステム装置の電源オフから3分以上時間を空けてから行ってください。



- (8) クラスタは1クラスタで4ノードまで、2クラスタで2ノードまでサポートとなります。
- (9) BR1200は装置の管理用・保守用ポートとしてLAN接続（ネットワークポート）のみサポートしております。
・RS232C接続をサポートしていません。
- (10) 保守サービス期間について
・保守サービス期間は、本製品の納入時より5年間です。
（ロングライフサポートモデル、おまかせ安心ロングライフモデルを除く。）
- (11) Linuxにおいて、KdumpをBR1200のVolume1に取得することはできません。
・Kdumpを取得する際は、システム装置の内蔵ドライブを指定する必要があります。
- (12) BR1200のVMwareサポート機能概要が下記のとおりです。

VMware機能	サポート可否	
VCB (VMware 3.x LAN Free Backup IF)	×	非サポート
VDDK (VMware 4.x, 5.x LAN Free Backup IF)	○	バックアップソフトによるサポート
VAAI (VMware 5.x vStorage API for Array Integration)	○	対応
vMotion	○	対応
VMwareHA	○	対応
Storage vMotion	○	対応
vMotion FT (Fault Tolerant HA)	×	非サポート

- (13) 管理用のネットワークインターフェースコネクタについての制限事項
・BR1200でシールドなしLANケーブル（UTPケーブル）をご使用いただく場合は、ネットワークインターフェースコネクタのSpeed and duplex modeを以下の設定で使用してください。
 ■100Mbps, full duplex
 ■100Mbps, half duplex
 ■10Mbps, full duplex
 ■10Mbps, half duplex
 シールドなしLANケーブル（UTPケーブル）をご使用いただく場合に、Speed and duplex modeを“Auto-negotiate”もしくは“1Gbps, full duplex”に設定すると、静電気が発生した際に稀にネットワークインターフェースがハングアップし、ネットワークが不通となる可能性があります。
 ネットワークインターフェースがハングアップした場合、BR1200側のネットワークインターフェースに接続しているLANケーブルを挿抜してください。
 シールド付きLANケーブル（STPケーブル）を使用する場合は、ネットワークインターフェースコネクタのSpeed and duplex modeを以下の設定で使用してください。
 ■Auto-negotiate
 ■1Gbps, full duplex
 ■100Mbps, full duplex
 ■100Mbps, half duplex
 ■10Mbps, full duplex
 ■10Mbps, half duplex
 BR1200のネットワークインターフェースコネクタの設定方法については、「SANtricityユーティリティガイド」の「ストレージの導入方法 ストレージ設定 IPアドレスの設定」を参照してください。
 ・BR1200に直結しているLANスイッチ、もしくは直結しているシステム装置のネットワークインターフェースコネクタの設定は、BR1200の「Speed and Duplex mode」の設定と同じ設定にしてください。
 LANスイッチ、およびシステム装置のネットワークインターフェースコネクタの設定方法については、装置添付のマニュアルをご参照してください。上記設定を行わない場合、ネットワークの通信が不安定となり場合によってはネットワークが不通となる可能性があります。現象が発生した場合は、ネットワーク設定を見直してください。
- (14) SSDについての制限事項
内蔵SSD (Solid State Drive) は半導体記録素子であるフラッシュメモリを使用した記憶装置です。ハードディスクは媒体に磁気記録する方式に対して、SSD は不揮発性の半導体記録素子であるフラッシュメモリに記録する方式です。
SSDはランダムアクセス性能と耐衝撃、低消費電力の点で優れていますが、書き込み容量制限があります。書き込みが頻繁に発生する使用環境下では、最大書き込み容量制限に至る場合があります。
・SSDには「最大書き込み容量」の制限があり、寿命に近づいたSSDはS. M. A. R. T. (Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology) エラーが通知します。管理ユーティリティ「SANtricity」でSSDのエラーを監視し、S. M. A. R. T. エラーが検出された場合は有償の交換となります。
・200GB SSDの最大書き込み容量は2.5PBです。2.5PBの最大書き込み容量とは、1日に900GBのランダム書き込みが発生する環境において、2750日（約7年）間使用可能な量に相当します。ただし、この期間故障しないことをお約束するものではありません。
・デフラグツールを使用しディスクの最適化を行なうとSSDの寿命を縮める可能性があります。デフラグツールを実行しないでください。
・内蔵SSD (MLC: Multiple Level Cellタイプ) は、電源を切った状態で長時間放置すると記録された電荷が放電され、データが消える特性があります。
3ヶ月以上の長時間電源を切った場合はデータ消失の可能性がありますので、定期的にシステム装置の電源を入れてください。



- (15) ニアラインSAS HDD (1TB/2TB/3TB/4TB) SAS HDD 10000r/min (146GB/300GB/450GB/600GB/900GB/1.2TB) については、BR1200のFW : 07.77.09.00以降にてサポートになります。FW : 07.70.30.00、または 07.70.35.00 をご使用の場合には、FWアップデートが必要になります。また、SANtricity、SnapshotVolumeCopyManager、VSS Hardware Providerの下記バージョンをご使用の場合は、併せてアップデートする必要があります。
- SANtricity (管理ツール) : Ver 10.70.69.14、または10.70.69.25
 Snapshot Volume CopyManager : Ver 1.0.0.0
 VSS Hardware Provider : Ver 10.70.60.08
- (バージョンの確認方法は、製品添付のSANtricityユーティリティガイドを参照下さい。)

下記のURL (HA8000Webサイト「日立アドバンストサーバ：ダウンロード」) に対策版とアップデート手順を掲載致しましたので、適用をお願い致します。

【BR1200用ファームウェアアップデートツール】
<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/download/all/index.html>

ご迷惑をお掛けしますが、アップデート作業にあたりご留意いただきたい事項は下記の通りです。

- ・シングルコントローラ構成の場合は、ファームウェアアップデートの際にBR1200に接続しているシステム装置を停止する必要があります。
 - ・デュアルコントローラで冗長バス構成の場合は、稼働中にファームウェアのアップデートが可能です。
 - ・BR1200に接続しているシステム装置で、運用サーバ/運用サーバ兼管理サーバでインストールされたSANtricityをアップデートする場合には、システム装置の再起動が必要になります。
 - ・管理者権限によるOSのログインが必要です。
 - ・作業時間は、約60分です。
- 詳細については、上記URLから確認をお願いします。

- (16) VMware とBR1200 の接続構成において、BR1200 のQueue の最大値を超える高負荷なI/O アクセス状態が発生すると、“Status Busy”や“Abort Command”のエラーが多発する場合があります。
- このエラーが継続すると、パス切替やRAID コントローラのリセットが発生する場合があります。
- 現象を回避するには、VMware Host Queueの合計値がBR1200のQueueの最大値に収まるように、VMware Host Queueの設定値を変更する必要があります。

<BR1200 のQueue の最大値>

SAS1 ポートのQueue の最大値 = 431
 BR1200 のQueue の最大値 = 2048

<VMware Host Queue の合計値>

VMware Host Queue の設定値 (初期値) = 254
 VMware Host Queue の算出値 = VMware Host Queue の設定値 × SAS ボードの数 × 割当られたBR1200 のVolume 数
 VMware Host Queue の合計値 = 各サーバのVMware Host Queue の算出値の和

VMware Host Queue の設定値の求め方は、BR1200の製品添付のSANtricityユーティリティガイドの「VMware Host Queue の設定値の算出方法」を参照してください。

- (17) SnapshotおよびVolume Copy使用上の制限事項について
- ・クラスタ環境でSnapshot運用、またはSnapshot&Volume Copy運用を行う場合、バックアップを取得するバックアップサーバはクラスタ構成に含まれない、別のサーバを指定してください。
 - ・クラスタ構成にバックアップサーバを構築した場合、Snapshot Volume Copy Manager (SVCN) が正常に動作しない場合があります。
 - ・仮想化環境 (Hyper-V) のみ、Snapshot機能およびVolume Copy機能をサポートしております。

- (18) Windows修正パッチの適用制限について
- Windows Server 2012用の更新プログラム (KB2779768) を適用した場合、SANtricityのPath Failover Driverインストールにおいて、マルチパスが正常に構築されません。

<SANtricityインストール前の回避方法>

SANtricityをインストールする前に、次のいずれかを行ってください。

1. 修正版の更新プログラム (KB2822241) を適用する。
2. 更新プログラム (KB2779768) をアンインストールする。

詳細は次のURLをご参照ください。

<http://support.microsoft.com/kb/2779768/ja>
<http://support.microsoft.com/kb/2838819/ja>

■ 消耗品について

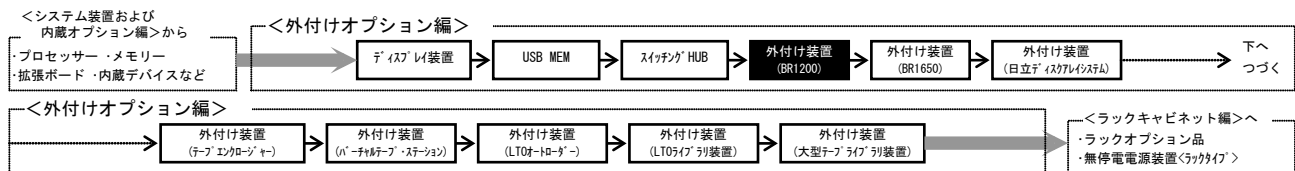
BR1200の部品のうち、バッテリーは使用するうちに劣化・消耗する消耗品です。寿命に達する前に交換してください。バッテリーの交換については有償となりますので、お買い求め先または保守会社にご連絡ください。

品名	適用製品形名	備考
バッテリーユニット	(BR1200標準)	*1

*1: 規定された設置環境で稼働した場合、通電による寿命時間 (目安) は約26,200時間です。
 1日24時間、1ヶ月30日の通電稼働をしたとき、寿命は約3年となります。
 上記の環境条件を超えて使用した場合、故障の原因となったり、寿命が短くなったりします。



寿命時間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことを保証するものではありません。



エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1200) 構成図

(1) おまかせ安心モデルⅡ 24 (5年)

モデル	筐体	ディスクアレイコントローラ		HDD構成	電源	SAS ケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張 ポート					
BR1200基本筐体								
3.5 型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	3.5 型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM:2GB]x1	選択	選択 (*) (2)	100V 冗長 (1+1)	選択	GQ0BR120-115NNA5	¥1,825,000 (税別)
3.5 型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM:2GB]x2					GQ0BR120-125NNA5	¥2,155,000 (税別)
2.5 型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	2.5 型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM:2GB]x1					GQ0BR120-215NNA5	¥1,874,000 (税別)
2.5 型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM:2GB]x2					GQ0BR120-225NNA5	¥2,203,000 (税別)
BR1200拡張筐体								
3.5 型 HDD モデル HDD 1ス	3.5 型	ESM (拡張) コントローラ x2	—	選択 (*) (2)	100V 冗長 (1+1)	2本 (2m) 添付	GQ0BR120-15NNNA5	¥1,529,000 (税別)
2.5 型 HDD モデル HDD 1ス	2.5 型	ESM (拡張) コントローラ x2	—				GQ0BR120-25NNNA5	¥1,469,000 (税別)

各モデル共通仕様	標準搭載品	100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (基本筐体:2ポート, 拡張筐体:1ポート)
	標準添付品	AC100V電源ケーブルx2, ラックレールキット, HA8000接続用ライセンス(*3), マニファシールド (*3), SANtricity ES Storage Manager (管理ツール) (*3), Path Failover Driver (マルチパスソフト) (*3), Snapshot (管理数:32) (*3)

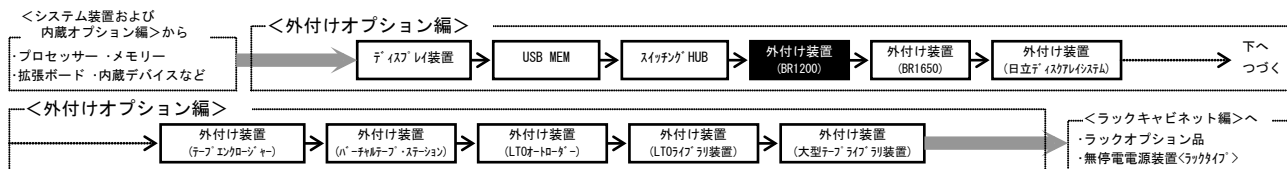
- *1: 内蔵ハードディスクは、搭載必須製品です。必要な内蔵ハードディスク (純正品) を選択の上、購入願います。
 *2: 標準のRAIDレベルは、RAID5です。RAIDレベル1, 3, 6, 10を選択の場合、別途RAID設定サービス (SD-41A1-N10R) を購入願います。
 *3: 基本筐体のみ添付

(2) おまかせ安心モデルⅡ (5年)

モデル	筐体	ディスクアレイコントローラ		HDD構成	電源	SASケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1200基本筐体								
3.5型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	3.5型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM:2GB]x1	選択	選択 (*) (2)	100V 冗長 (1+1)	選択	GQ0BR120-115NNB5	¥1,121,000 (税別)
3.5型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM:2GB]x2					GQ0BR120-125NNB5	¥1,451,000 (税別)
2.5型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	2.5型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM:2GB]x1					GQ0BR120-215NNB5	¥1,170,000 (税別)
2.5型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM:2GB]x2					GQ0BR120-225NNB5	¥1,499,000 (税別)
BR1200拡張筐体								
3.5型 HDD モデル HDD 1ス	3.5型	ESM (拡張) コントローラ x2	—	選択 (*) (2)	100V 冗長 (1+1)	2本 (2m) 添付	GQ0BR120-15NNNB5	¥825,000 (税別)
2.5型 HDD モデル HDD 1ス	2.5型	ESM (拡張) コントローラ x2	—				GQ0BR120-25NNNB5	¥765,000 (税別)

各モデル共通仕様	標準搭載品	100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (基本筐体:2ポート, 拡張筐体:1ポート)
	標準添付品	AC100V電源ケーブルx2, ラックレールキット, HA8000接続用ライセンス(*3), マニファシールド (*3), SANtricity ES Storage Manager (管理ツール) (*3), Path Failover Driver (マルチパスソフト) (*3), Snapshot (管理数:32) (*3)

- *1: 内蔵ハードディスクは、搭載必須製品です。必要な内蔵ハードディスク (純正品) を選択の上、購入願います。
 *2: 標準のRAIDレベルは、RAID5です。RAIDレベル1, 3, 6, 10を選択の場合、別途RAID設定サービス (SD-41A1-N10R) を購入願います。
 *3: 基本筐体のみ添付



(5) おまかせ安心ライフモデルⅡ 24（7年）

モデル	筐体	ディスクレイアウト		HDD構成	電源	SASケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1200基本筐体								
3.5型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	3.5型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM: 2GB]x1	選択	選択 (※1) (※2)	100V 冗長 (1+1)	選択	GQ0BR120-115NNA7	¥2,877,000 (税別)
3.5型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM: 2GB]x2					GQ0BR120-125NNA7	¥3,207,000 (税別)
2.5型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	2.5型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM: 2GB]x1					GQ0BR120-215NNA7	¥2,926,000 (税別)
2.5型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM: 2GB]x2					GQ0BR120-225NNA7	¥3,255,000 (税別)
BR1200拡張筐体								
3.5型 HDD モデル HDD 1ス	3.5型	ESM (拡張) コントローラ x2	—	選択 (※1) (※2)	100V 冗長 (1+1)	2本 (2m) 添付	GQ0BR120-15NNNA7	¥2,581,000 (税別)
2.5型 HDD モデル HDD 1ス	2.5型	ESM (拡張) コントローラ x2	—				GQ0BR120-25NNNA7	¥2,521,000 (税別)

各モデル共通仕様	標準搭載品	100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (基本筐体: 2ポート, 拡張筐体: 1ポート)
	標準添付品	AC100V電源ケーブル x2, ラックレールキット, HA8000接続用ライセンス (※3), マニファシメント (※3), SANtricity ES Storage Manager (管理ツール) (※3), Path Failover Driver (マルチパスソフト) (※3), Snapshot (管理数: 32) (※3)

*1: 内蔵ハードディスクは、搭載必須製品です。必要な内蔵ハードディスク (純正品) を選択の上、購入願います。
 *2: 標準のRAIDレベルは、RAID5です。RAIDレベル1, 3, 6, 10を選択の場合、別途RAID設定サービス (SD-41A1-N10R) を購入願います。
 *3: 基本筐体のみ添付

(6) おまかせ安心ライフモデルⅡ（7年）

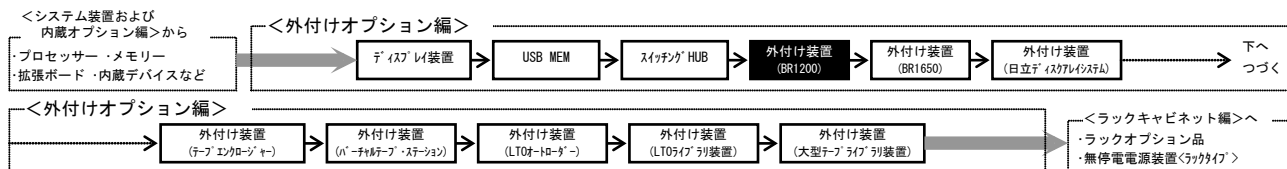
モデル	筐体	ディスクレイアウト		HDD構成	電源	SASケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1200基本筐体								
3.5 型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	3.5 型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM: 2GB]x1	選択	選択 (※1) (※2)	100V 冗長 (1+1)	選択	GQ0BR120-115NNB7	¥2,165,000 (税別)
3.5 型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM: 2GB]x2					GQ0BR120-125NNB7	¥2,495,000 (税別)
2.5 型 HDD モデル シングルコントローラ HDD 1ス	2.5 型	シングルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x1 [MEM: 2GB]x1					GQ0BR120-215NNB7	¥2,214,000 (税別)
2.5 型 HDD モデル デュアルコントローラ HDD 1ス		デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2]x2 [MEM: 2GB]x2					GQ0BR120-225NNB7	¥2,543,000 (税別)
BR1200拡張筐体								
3.5 型 HDD モデル HDD 1ス	3.5 型	ESM (拡張) コントローラ x2	—	選択 (※1) (※2)	100V 冗長 (1+1)	2本 (2m) 添付	GQ0BR120-15NNNB7	¥1,869,000 (税別)
2.5 型 HDD モデル HDD 1ス	2.5 型	ESM (拡張) コントローラ x2	—				GQ0BR120-25NNNB7	¥1,809,000 (税別)

各モデル共通仕様	標準搭載品	100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (基本筐体: 2ポート, 拡張筐体: 1ポート)
	標準添付品	AC100V電源ケーブル x2, ラックレールキット, HA8000接続用ライセンス (※3), マニファシメント (※3), SANtricity ES Storage Manager (管理ツール) (※3), Path Failover Driver (マルチパスソフト) (※3), Snapshot (管理数: 32) (※3)

*1: 内蔵ハードディスクは、搭載必須製品です。必要な内蔵ハードディスク (純正品) を選択の上、購入願います。
 *2: 標準のRAIDレベルは、RAID5です。RAIDレベル1, 3, 6, 10を選択の場合、別途RAID設定サービス (SD-41A1-N10R) を購入願います。
 *3: 基本筐体のみ添付

(7) サーチ用SSDセットモデル（3年無償保証）

モデル	筐体	ディスクレイアウト		HDD構成	電源	SASケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1200基本筐体								
2.5 型 HDD モデル デュアルコントローラ SSD 200GB/RAID5 HDD 900GB/RAID5	2.5 型	デュアルコントローラ [SAS (6G) 1/Fx2] x2 [MEM: 2GB] x2	選択	SSD 200GB x4 /RAID5, HDD 900GB x4 /RAID5 + リザーブディスク	100V 冗長 (1+1)	選択	G60BR120-2259SNH	¥3,202,000 (税別)
各モデル共通仕様								
各モデル共通仕様	標準搭載品	100BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T (基本筐体: 2ポート, 拡張筐体: 1ポート)						
	標準添付品	AC100V電源ケーブル x2, ラックレールキット, HA8000接続用ライセンス, マニファシメント, SANtricity ES Storage Manager (管理ツール), Path Failover Driver (マルチパスソフト), Snapshot (管理数: 32)						



コントローラ搭載条件表

[Single コントローラモデル]

品名	形名	コントローラスロット	
		A	B
コントローラ	GQ-CA7B122	●	○

(凡例) ● : 標準搭載
○ : 搭載可

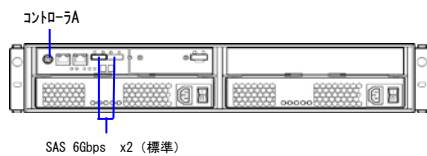
[Dual コントローラモデル]

品名	形名	コントローラスロット	
		A	B
コントローラ	GQ-CA7B122	●	●

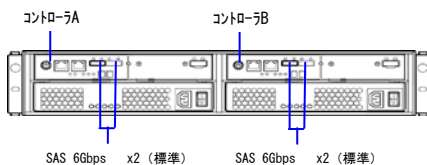
(凡例) ● : 標準搭載
○ : 搭載可

コントローラ搭載例

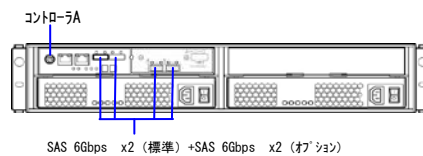
■ Single コントローラ [SASx2 (標準)] / 拡張ボードなし



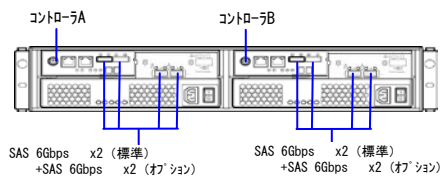
■ Dual コントローラ [SASx4 (標準)] / 拡張ボードなし



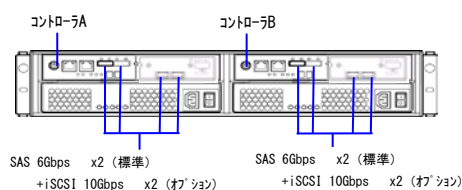
■ Single コントローラ [SASx2 (標準)] / 拡張ボードあり [SASx2 (オプション)]

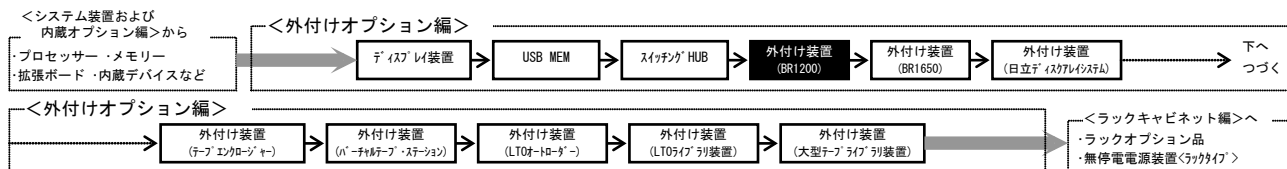


■ Dual コントローラ [SASx4 (標準)] / 拡張ボードあり [SASx4 (オプション)]



■ Dual コントローラ [SASx4 (標準)] / 拡張ボードあり [iSCSIx4 (オプション)] (IP Remote Mirror専用)

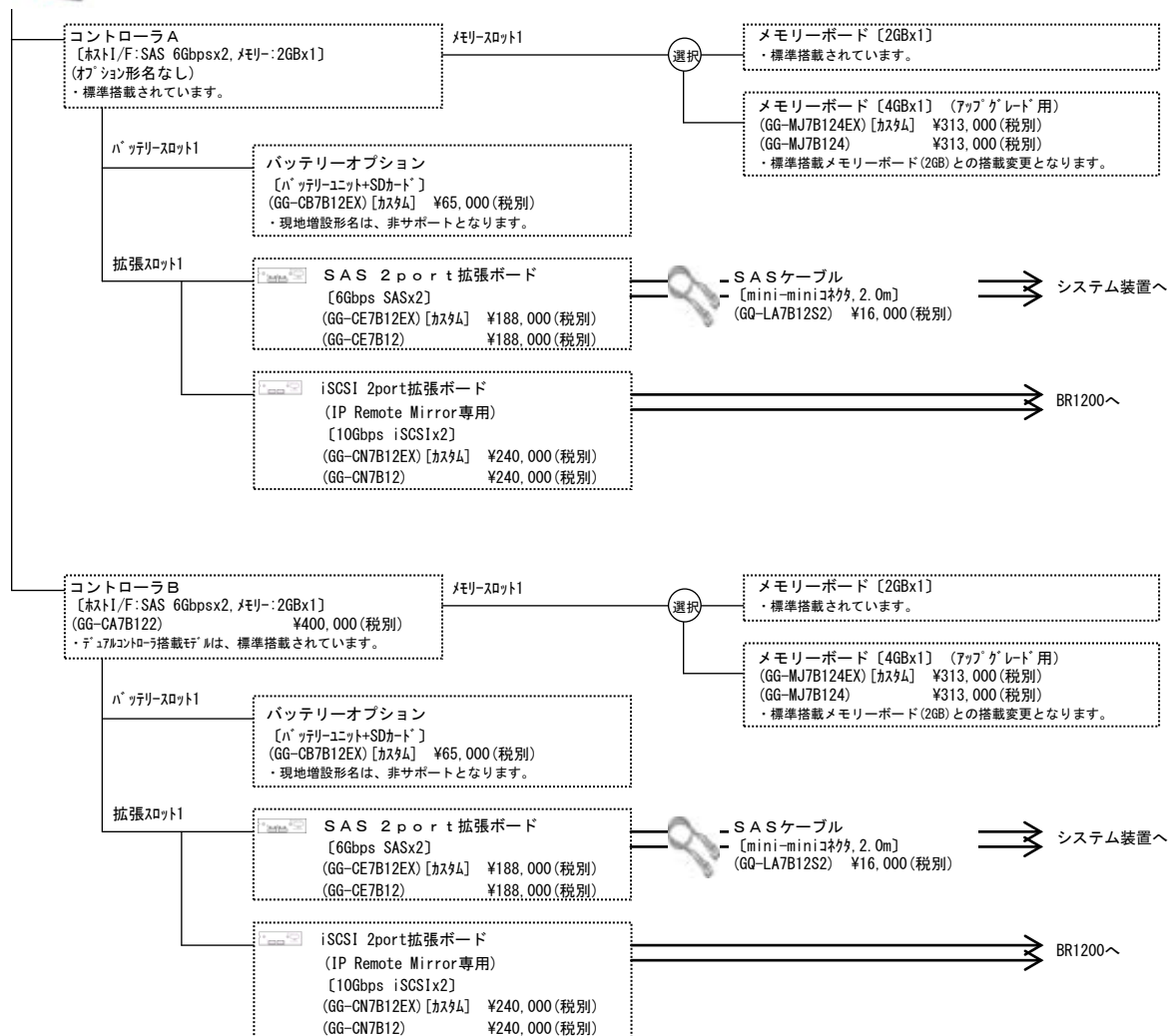




－ コントローラ接続図 (b) －
[3年無償保証付]用]

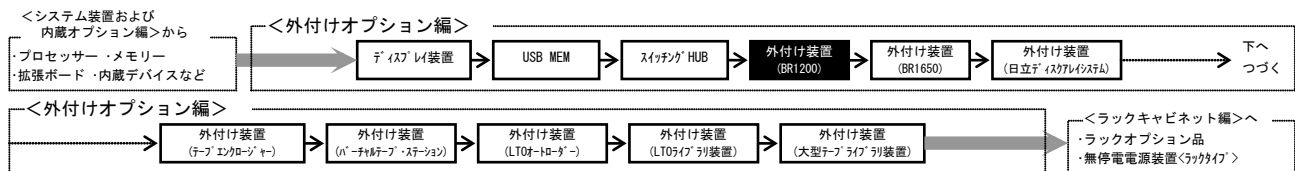
・表記の価格は、希望小売価格です。

BR1200基本筐体



＜ご注意＞

- Dualコントローラ付は、コントローラAとコントローラBの構成(拡張ボード、メモリ容量、バッテリー有無)は同一構成としてください。
- バッテリーユニットは、現地増設搭載不可(現地増設形名非サポート)となります。BR1200本体購入時の工場増設形名のみ対応となります。
- iSCSI 2port拡張ボードは、IP Remote Mirror使用時のみ選択できます。



コントローラ搭載条件表

[Single コントローラモデル]

品名	形名	コントローラスロット	
		A	B
コントローラ	GG-CA7B122	●	○

(凡例) ● : 標準搭載
○ : 搭載可

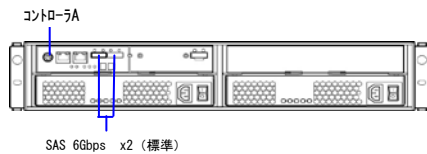
[Dual コントローラモデル]

品名	形名	コントローラスロット	
		A	B
コントローラ	GG-CA7B122	●	●

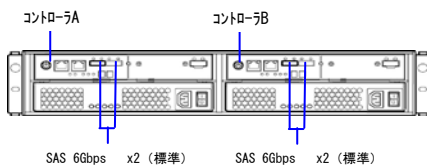
(凡例) ● : 標準搭載
○ : 搭載可

コントローラ搭載例

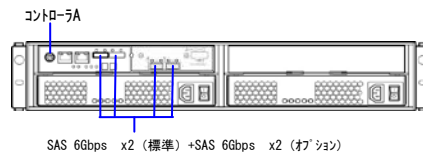
■ Singleコントローラ [SASx2(標準)] / 拡張ボードなし



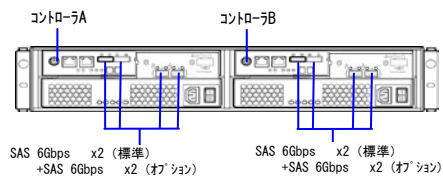
■ Dualコントローラ [SASx4(標準)] / 拡張ボードなし



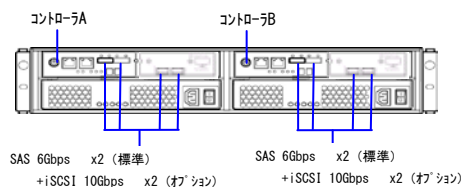
■ Singleコントローラ [SASx2(標準)] / 拡張ボードあり [SASx2(オプション)]

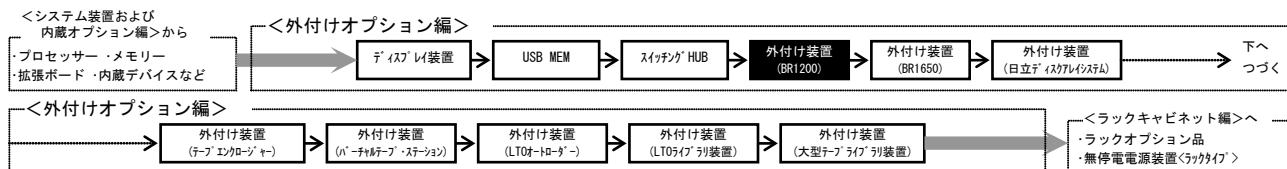


■ Dualコントローラ [SASx4(標準)] / 拡張ボードあり [SASx4(オプション)]



■ Dualコントローラ [SASx4(標準)] / 拡張ボードあり [iSCSIx4(オプション)] (IP Remote Mirror専用)





－ 内蔵ハードディスク搭載条件表 －

＜BR1200 3.5型 HDD筐体用 搭載条件一覧表〔基本筐体／拡張筐体〕＞

品名	形名	拡張ストレージベイ (*1)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
内蔵ハードディスク (3.5型 1TB[SAS], 7200r/min)	GQ-UH7B10033EX												
	GQ-UH7B10033RX												
	GQ-UH7B10033	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	GG-UH7B10033EX												
	GG-UH7B10033RX												
内蔵ハードディスク (3.5型 2TB[SAS], 7200r/min)	GQ-UH7B20033EX												
	GQ-UH7B20033RX												
	GQ-UH7B20033	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	GG-UH7B20033EX												
	GG-UH7B20033RX												
内蔵ハードディスク (3.5型 3TB[SAS], 7200r/min)	GQ-UH7B30033EX												
	GQ-UH7B30033RX												
	GQ-UH7B30033	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	GG-UH7B30033EX												
	GG-UH7B30033RX												
内蔵ハードディスク (3.5型 4TB[SAS], 7200r/min)	GQ-UH7B40033EX												
	GQ-UH7B40033RX												
	GQ-UH7B40033	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	GG-UH7B40033EX												
	GG-UH7B40033RX												

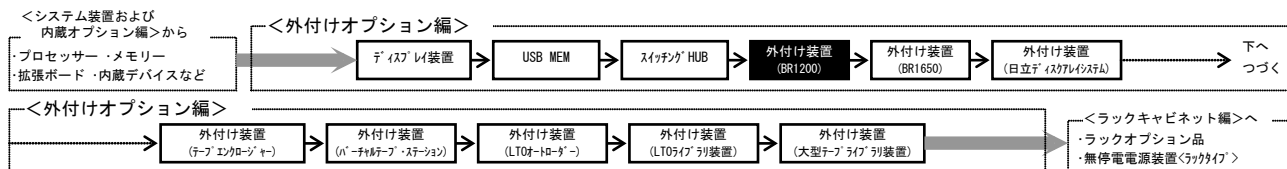
*1: 1つのRAIDグループを構成するHDDは、同一容量のHDDを選択願います。

又、拡張ストレージベイ1～12へのHDD搭載は、拡張ストレージベイ1→2→3→・・・→11→12の順におこないます。

(凡例) ①: 搭載可 (搭載優先順位)

×: 搭載不可



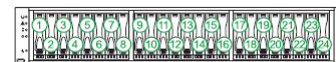


＜BR1200 2.5型 HDD筐体用 搭載条件一覧表 [基本筐体／拡張筐体]＞

品名	形名	拡張ストレージベイ (*1)																							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
内蔵ハードディスク (2.5型 146GB[SAS], 10000r/min)	GQ-UH7B14621EX																								
	GQ-UH7B14621RX																								
	GQ-UH7B14621	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B14621EX																								
	GG-UH7B14621RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 300GB[SAS], 10000r/min)	GQ-UH7B30021EX																								
	GQ-UH7B30021RX																								
	GQ-UH7B30021	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B30021EX																								
	GG-UH7B30021RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 450GB[SAS], 10000r/min)	GQ-UH7B45021EX																								
	GQ-UH7B45021RX																								
	GQ-UH7B45021	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B45021EX																								
	GG-UH7B45021RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 600GB[SAS], 10000r/min)	GQ-UH7B60021EX																								
	GQ-UH7B60021RX																								
	GQ-UH7B60021	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B60021EX																								
	GG-UH7B60021RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 900GB[SAS], 10000r/min)	GQ-UH7B90021EX																								
	GQ-UH7B90021RX																								
	GQ-UH7B90021	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B90021EX																								
	GG-UH7B90021RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 1.2TB[SAS], 10000r/min)	GQ-UH7B12021EX																								
	GQ-UH7B12021RX																								
	GQ-UH7B12021	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B12021EX																								
	GG-UH7B12021RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 73GB[SAS], 15000r/min)	GQ-UH7B07322EX																								
	GQ-UH7B07322RX																								
	GQ-UH7B07322	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B07322EX																								
	GG-UH7B07322RX																								
内蔵ハードディスク (2.5型 146GB[SAS], 15000r/min)	GQ-UH7B14622EX																								
	GQ-UH7B14622RX																								
	GQ-UH7B14622	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B14622EX																								
	GG-UH7B14622RX																								
内蔵SSD (2.5型 200GB[SAS])	GQ-UH7B20024EX																								
	GQ-UH7B20024RX																								
	GQ-UH7B20024	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
	GG-UH7B20024EX																								
	GG-UH7B20024RX																								

(凡例) ①：搭載可(搭載優先順位)

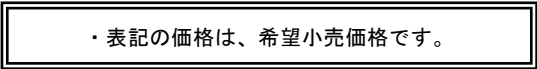
×：搭載不可

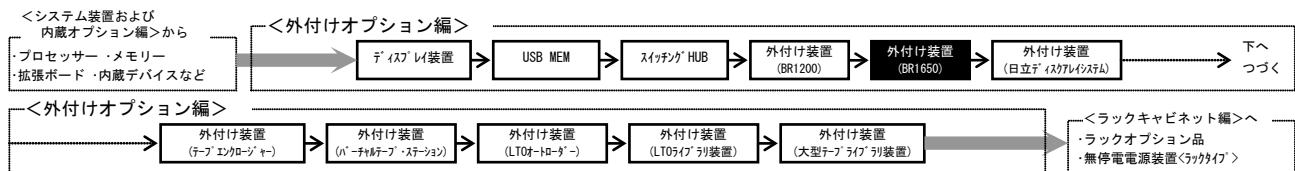


*1: 1つのRAIDグループを構成するHDDは、同一容量、同一回転数のHDDを選択願います。
又、拡張ストレージベイ1～24へのHDD搭載は、拡張ストレージベイ1→2→3→・・・→23→24の順におこないます。

＜ご注意＞

- 同一筐体内にて、回転数の異なるHDDの混在搭載が可能です。ただし、1つのRAIDグループを構成するHDDは、同一容量、同一回転数のHDDを選択願います。
- 同一筐体内にて、HDDとSSDの混在搭載が可能です。ただし、1つのRAIDグループ内にHDDとSSDを混在させることは未サポートです。
- 1つのRAIDグループを筐体を跨いで構成することはできません。
- スベアは全てローバースペアとなります。(RAID間でスベアが共有されます)ただし、HDDとSSDのスベアの共通は不可です。
- 1つの筐体内には、スベアディスク1台以上を搭載することを推奨します。また、ディスク種類毎に最低1台ずつスベアディスクを搭載することを推奨します。
- RAID5以外のRAID1、RAID3、RAID5、RAID6、RAID10の設定を希望の場合、別途RAID設定サービス(SD-41A1-N10R)を購入願います。
- 7.5TB SAS HDD (1TB/2TB/3TB/4TB), SAS HDD 10000r/min (146GB/300GB/450GB/600GB/900GB/1.2TB)については、BR1200のFW: 07.77.09.00以降にてサポートになります。
- FW: 07.70.30.00、または 07.70.35.00 をご使用の場合には、FWアップデートが必要になります。
- 詳細は「エントリークラス ディスクレイ装置 (BR1200) システム構築上の注意事項」を参照ください。





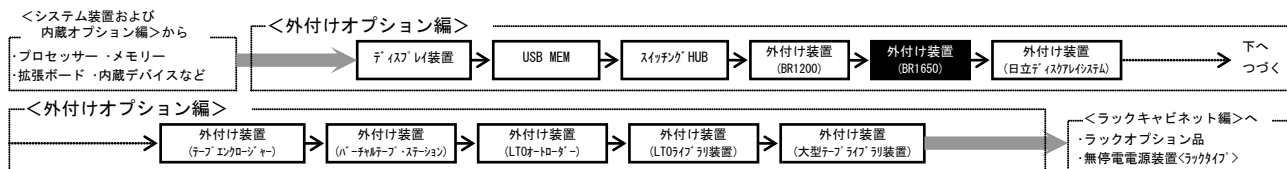
(2) エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650)

(2)-1 エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650E)

＜ラックタイプ＞



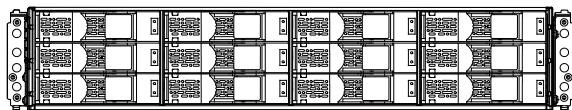
- ・長期保守対応モデル接続のエントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650) は、個別見積もりとなります。



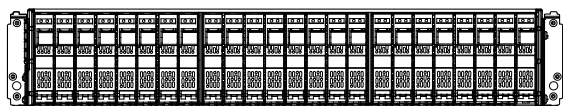
エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650E) 外観図

■前面 (基本筐体/増設筐体)

●LFF (3.5型) モデル

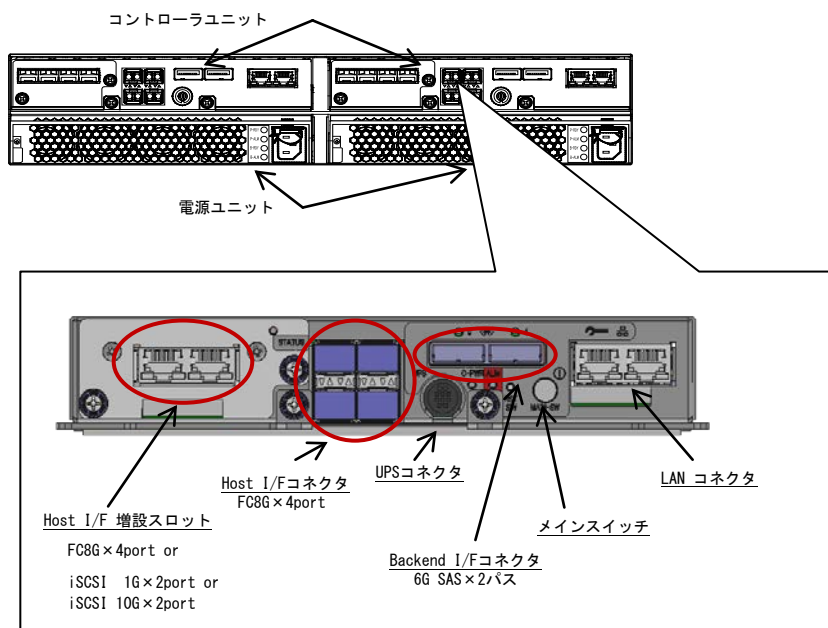


●SFF (2.5型) モデル

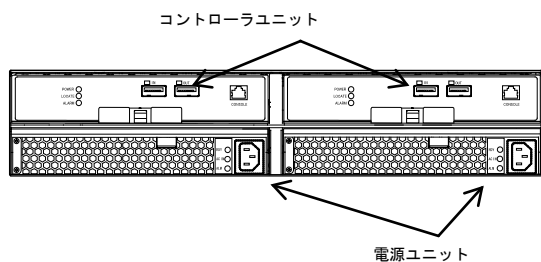


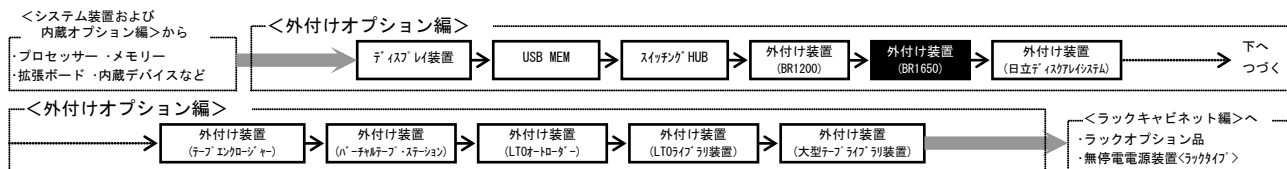
■背面 (基本筐体/増設筐体)

●基本筐体 (LFF (3.5型) モデル/SFF (2.5型) モデル)



●増設筐体 (LFF (3.5型) モデル/SFF (2.5型) モデル)





エントリークラスディスクアレイ装置（BR1650E） 構成図

(1) 3年無償保証モデル＜無償保証サービス(1～3年目出張修理)＞【サービスメンテナンスパック対応】

モデル	筐体	ディスクアレイコントローラ		ドライブ構成	電源	FCケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1650基本筐体								
3.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	3.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:8GB(4GBx2)]x2	選択	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	4本 (5m) 添付	GGOBR165-DL48FNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	2.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:8GB(4GBx2)]x2					GGOBR165-DS48FNN	個別見積もり
BR1650増設筐体								
3.5型ドライブモデル ドライブレス	3.5型	1/0モジュール(ENC) x2	—	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	—	GGOBR165-ELNNFNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル ドライブレス	2.5型	1/0モジュール(ENC) x2	—				GGOBR165-ESNNFNN	個別見積もり
各モデル共通仕様	標準搭載品	管理用LANポート 1G/100/10 BASE-T(オートネゴシエーション) ×1/コントローラ(※2)、保守用LANポート ×1/コントローラ(※2)						
	標準添付品	AC200V電源ケーブルx2、AC100V電源ケーブルx2、ラックレールキット、ベゼル、Basic Operating System for Modular(※2)、Dynamic Provisioning(仮想ボリューム機能)(※2)、Power Saving Plus(消費電力低減機能)(※2)、LUN Manager(※2)、ENCケーブルx2(※3)						

※1：内蔵ドライブは、搭載必須製品です。必要な内蔵ドライブ(純正品)を選択の上、購入願います。

※2：基本筐体のみ添付

※3：増設筐体のみ添付

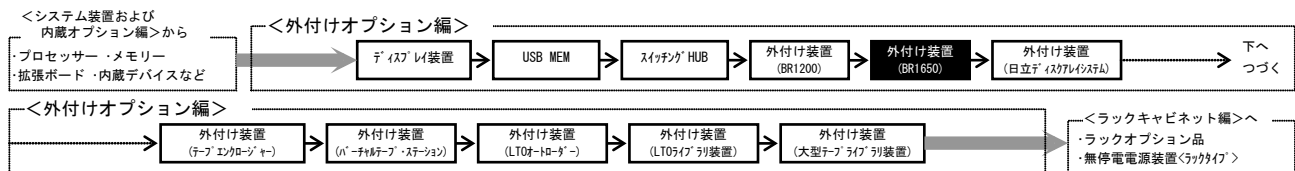
(2) 1年無償保証モデル＜無償保証サービス(1年目維持保守)＞

モデル	筐体	ディスクアレイコントローラ		ドライブ構成	電源	FCケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ボード					
BR1650基本筐体								
3.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	3.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:8GB(4GBx2)]x2	選択	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	4本 (5m) 添付	GVOBR165-DL48FNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	2.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:8GB(4GBx2)]x2					GVOBR165-DS48FNN	個別見積もり
BR1650増設筐体								
3.5型ドライブモデル ドライブレス	3.5型	1/0モジュール(ENC) x2	—	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	—	GVOBR165-ELNNFNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル ドライブレス	2.5型	1/0モジュール(ENC) x2	—				GVOBR165-ESNNFNN	個別見積もり
各モデル共通仕様	標準搭載品	管理用LANポート 1G/100/10 BASE-T(オートネゴシエーション) ×1/コントローラ(※2)、保守用LANポート ×1/コントローラ(※2)						
	標準添付品	AC200V電源ケーブルx2、AC100V電源ケーブルx2、ラックレールキット、ベゼル、Basic Operating System for Modular(※2)、Dynamic Provisioning(仮想ボリューム機能)(※2)、Power Saving Plus(消費電力低減機能)(※2)、LUN Manager(※2)、ENCケーブルx2(※3)						

※1：内蔵ドライブは、搭載必須製品です。必要な内蔵ドライブ(純正品)を選択の上、購入願います。

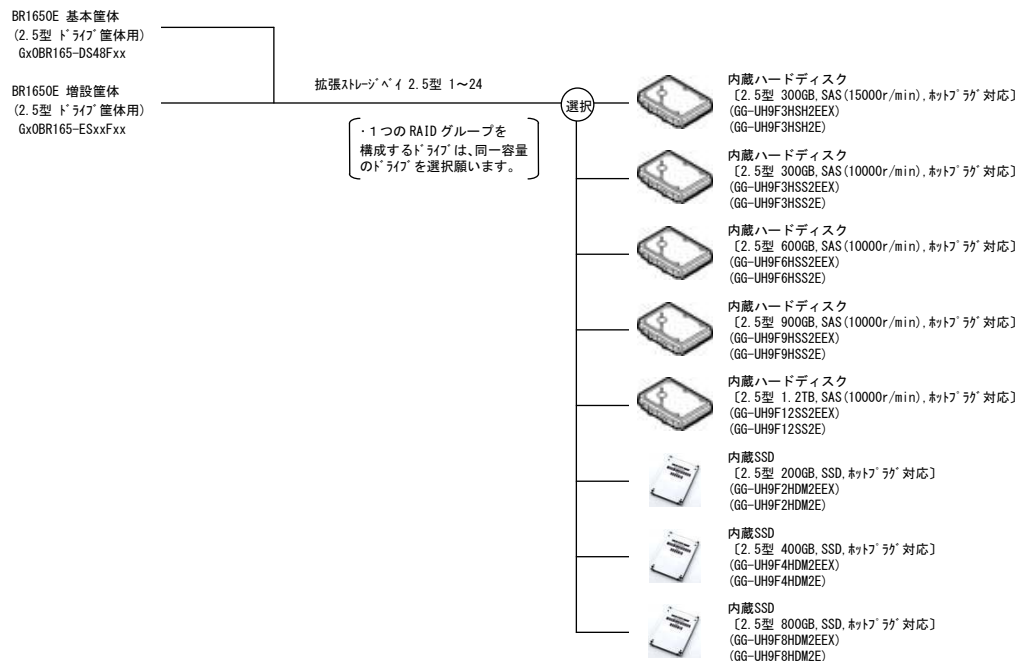
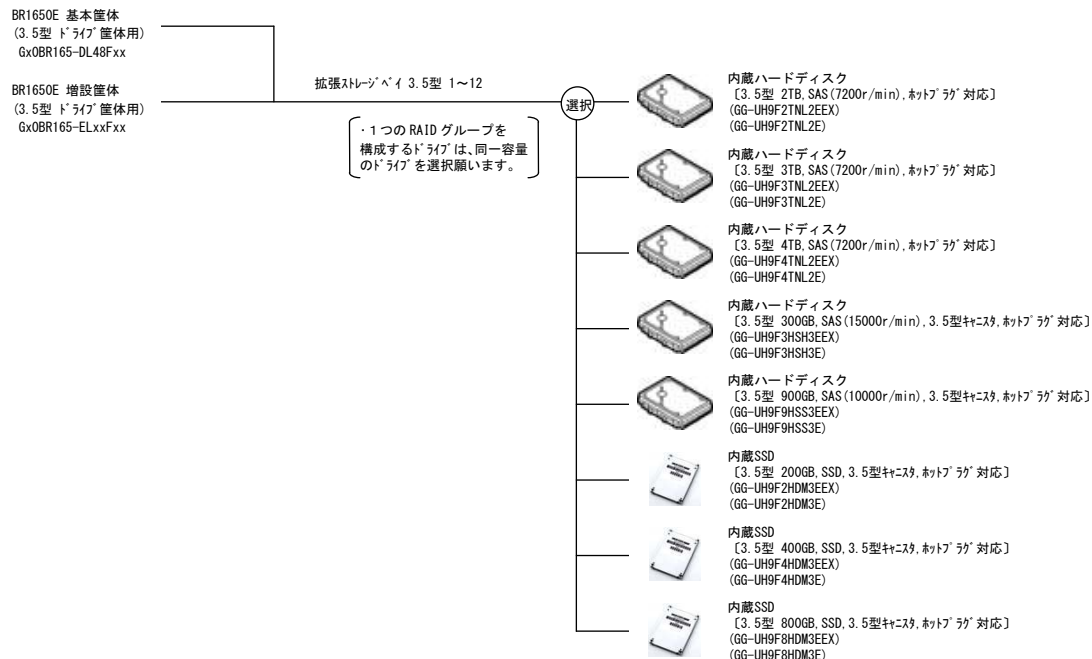
※2：基本筐体のみ添付

※3：増設筐体のみ添付



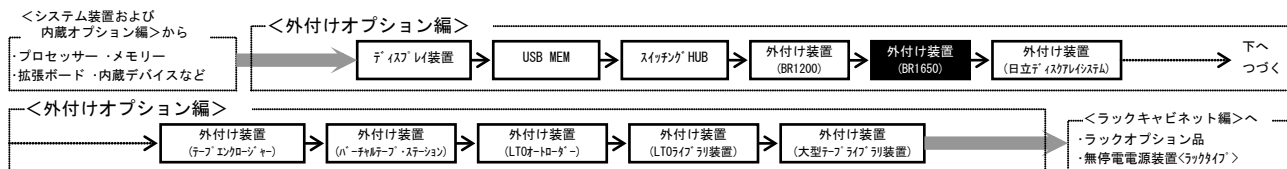
－ 内蔵ドライブ接続図 (b) －

【BR1650E用】





2-4-2-11

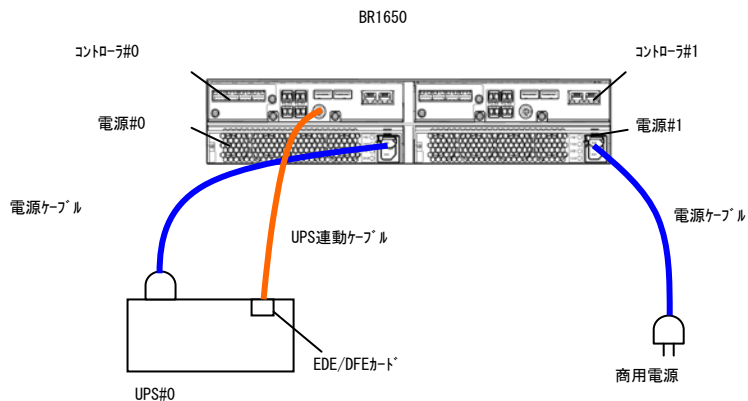


(11) BR1650は、EDEカードまたはDFEカードを搭載した専用UPSと電源連動することができます。BR1650および専用UPSは、以下の連動モード設定および接続構成で使用してください。

(*) 従来のBR1600では、モード設定をコントローラ(基本)筐体にあるロータリースイッチで切り換えていました。BR1650ではStorage Navigator Modular 2から電源連動モードを設定します。

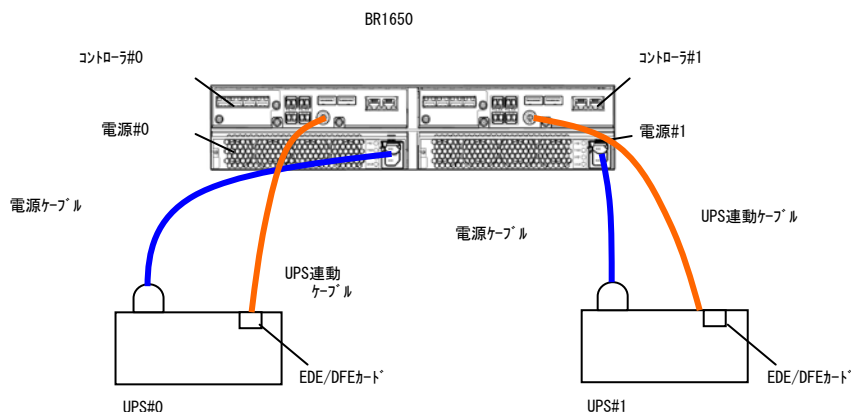
① UPS連動モード1

- ・BR1650の電源#0をUPSに、電源#1を外部のAC電源に接続してください。
- ・UPS連動ケーブルは、コントローラ#0に接続してください。



② UPS連動モード3

- ・BR1650の電源#0と電源#1を別々のUPSに接続してください。
- ・UPS連動ケーブルは、コントローラ#0には電源#0と接続したUPSを、コントローラ#1には電源#1と接続したUPSを、それぞれ接続してください。



(12) BR1650は、MLC (Multiple Level Cell) 方式のSSDを採用します。

①書き込み容量制限

MLC方式は容量と価格でメリットがありますが、最大書き込み容量に制限のある寿命部品です。そこでBR1650では書き込み容量を監視し、書き込み容量が寿命の90%(または設定した値)に達したら交換を促す通知を発行します。

なお、SSDが最大書き込み容量に達した場合は、保証期間内や保守契約期間内であっても無償交換は行いません。

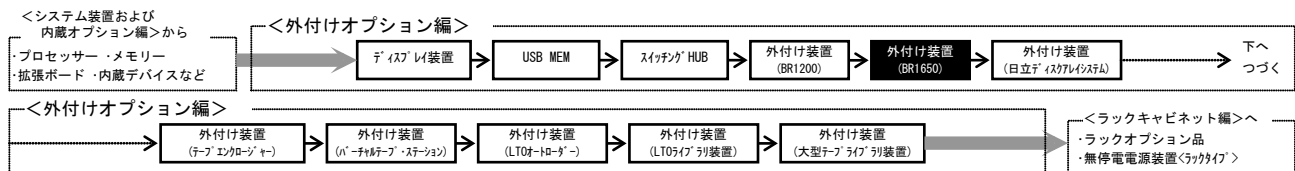
②保管時の注意

保管時の注意書き込み容量が増加すると電源オフ状態(注1)でのデータ保持期間が短くなり、書かれているデータが読み出せなくなります。SSDを保管する場合、継続して3ヶ月以上電源オフ状態にしないよう注意してください。この場合、保証及び保守契約による交換の対象になりません。

(注1) : SSDの搭載されている筐体が電源オフの状態、またはSSDを筐体から取り外した状態

(13) ラック搭載制限

- ・最下部1Uへの搭載はできません。
- ・筐体標準添付のENCケーブル(1m)を使用する場合、筐体間の空きスペースは1Uまでとし、2U以上あけないでください。
- ・筐体間の空きスペースを2U以上、またはラックまたぎで筐体接続する場合、オプションのENCケーブル(3m, 5m)を使用可能です。ただし、ケーブルの曲げ半径(R:30mm)とし、ケーブルとコネクタに負荷をかけないように接続してください。
- ・コントローラ筐体およびドライブ筐体の真上1Uには、引き出す必要のある装置を搭載しないことを推奨します。
(筐体天面に取り付けたガスケットと、上部装置底面が干渉し、引き出す際の抵抗が通常より大きくなります)



稼働中の増設／設定

以下に示す設定／変更は、ディスクアレイ装置の稼働（オンライン）中に実施することができます。なお、設定／変更を行う際にはHitachi Storage Navigator Modular 2を使用します。そのため、Hitachi Storage Navigator Modular 2が動作する環境をユーザ側でご用意して頂く必要があります。

<増設>

- ドライブ増設
- RAIDグループ設定、LU設定／LUフォーマット
但し、サーバから追加したLUがオンライン中で認識されるかどうかはサーバOSの仕様に依ります。
- ドライブ筐体の増設
- LUマッピング、ポートマッピング、Fibre情報（転送速度、トポロジ、ポートID）/iSCSI情報の設定
- コントローラの管理用LAN ポートのIP アドレス設定

<減設>

- ドライブ減設（コントローラ筐体のシステムドライブ（スロット#0～#4）を除く）

上記以外は、アレイ装置の再起動が必要な場合があります。

デュアルコントローラに関する注意事項

BR1650はデュアルコントローラ構成のみをサポートします。アレイ装置の設定において、両コントローラの、ポートID、IPアドレス以外は必ず同じ値を設定して下さい。

ドライブ

（１）装置構成

- BR1650E/BR1650Sでは、RAIDグループによってドライブ群を論理的に分割し、RAIDグループ内に容量を指定してLU(Logical Unit)を作成します。RAIDグループは装置内部の設定情報であり、ホストインタフェース上には見えません。これらのインタフェース上ではLUのみが見えます。RAIDグループ毎にRAIDレベルを設定可能で、RAIDグループを跨ってLUを作成することはできません。
- コントローラ筐体の先頭から5台（#0～#4）のドライブスロットには、SAS HDD、NL-SAS HDD、SSDのいずれか同一種別のドライブを搭載してください。異なる種別のドライブの混在は出来ません。
- SAS HDD、NL-SAS HDD、SSDは同じRAIDグループ内に混在させることはできません。

（２）RAIDグループ

- 同容量のドライブ群を指定して1個のRAIDグループを設定できます。使用するディスク数は、RAIDレベルによって異なります。

表 1 RAID レベル

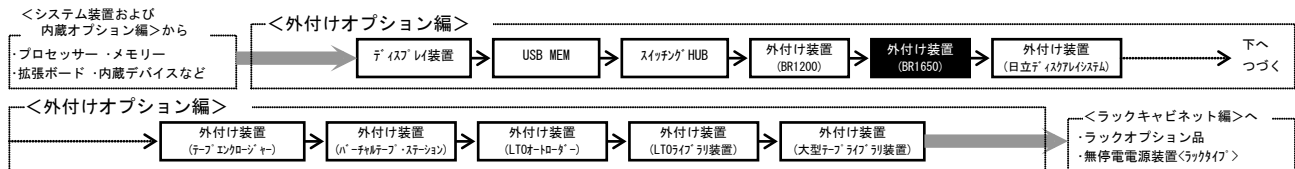
RAIDレベル	RAIDグループを構成するドライブ台数	備考
RAID6 (nD+2P)	(n+2) の倍数 (n=2～28)	
RAID5 (nD+1P)	(n+1) の倍数 (n=2～15)	
RAID1 (1D+1D)	2の倍数	
RAID1+0 (nD+nP)	2nの倍数 (n=2～8)	

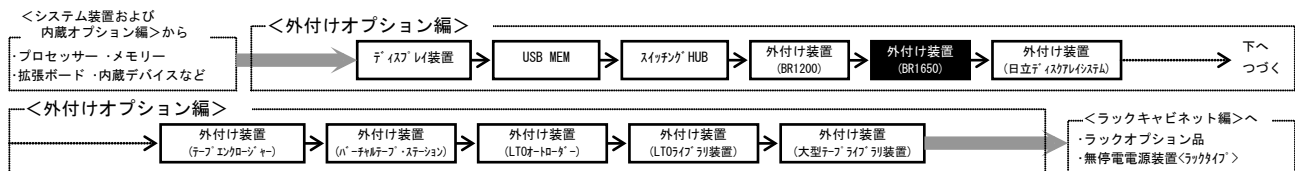
任意のRAIDグループを削除することができます。

削除対象となるRAIDグループ内の全てのLUが削除されます (Storage Navigator Modular2の画面で確認ダイアログが表示されます)。一度削除したRAIDグループは、元には戻せませんのでご注意ください。削除したいRAIDグループ内のLUが、LU統合されている場合、統合を解除しないとRAIDグループの削除はできません。

活線挿抜について

- ドライブ、電源は、システムを止めることなく活線挿抜することができます。
- コントローラは冗長化されている場合のみ、活線挿抜することが可能です。



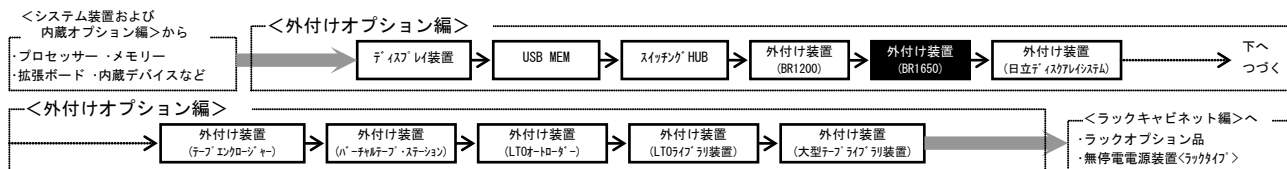


(2)-2 エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650S)

＜ラックタイプ＞



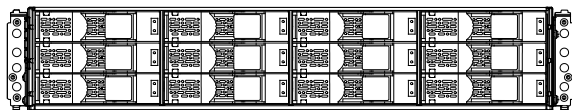
- ・長期保守対応モデル接続のエントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650) は、個別見積もりとなります。



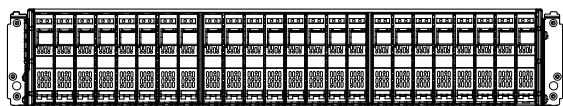
エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650S) 外観図

■前面 (基本筐体/増設筐体)

●LFF (3.5型) モデル

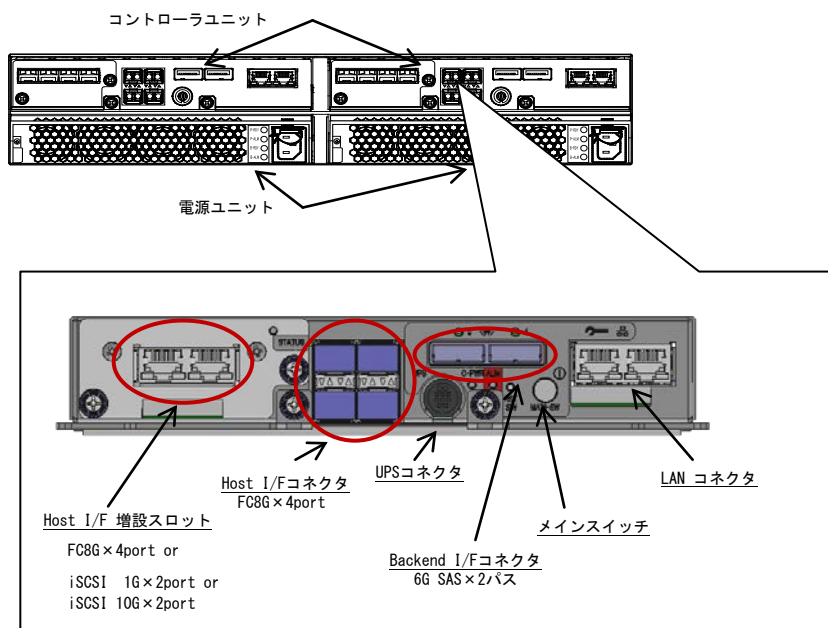


●SFF (2.5型) モデル

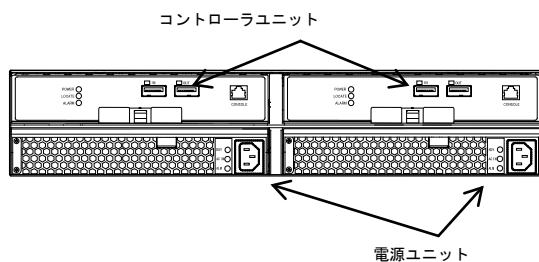


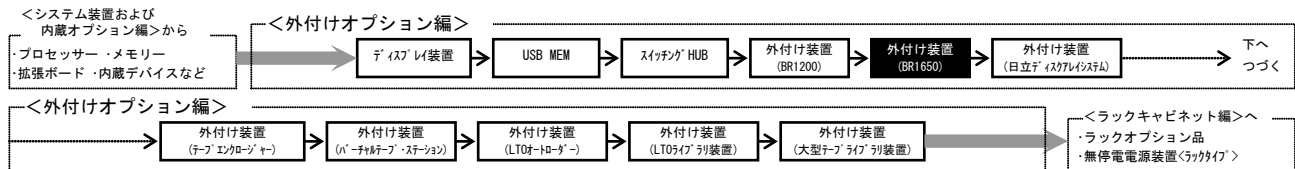
■背面 (基本筐体/増設筐体)

●基本筐体 (LFF (3.5型) モデル/SFF (2.5型) モデル)



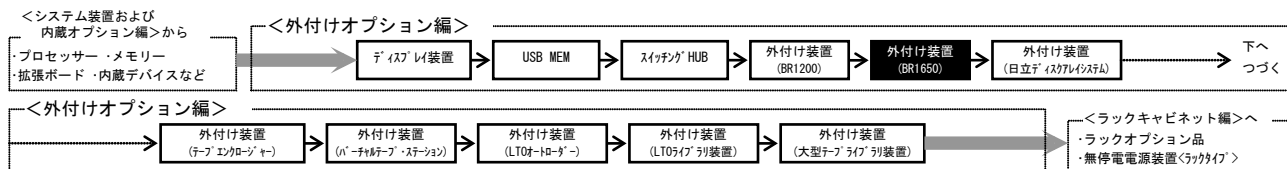
●増設筐体 (LFF (3.5型) モデル/SFF (2.5型) モデル)





管理ツール および オプションソフトウェア

項番	P. P. 名		機能概略
1	Basic Operating System for Modular (標準添付)	Storage Navigator Modular2	ディスクアレイ装置の状態の参照やRAID/LUおよび各種機能の設定を行う管理プログラム。
		SNMP Agent Support Function	SNMPエージェント支援制御機能
		Password Protection	ディスクアレイ装置にユーザIDとパスワードを登録することにより、Storage Navigator Modular2を使用してディスクアレイ装置の設定を行うユーザを限定する機能。
		Cache Residency Manager	指定LUをキャッシュに常駐させる機能。
		Performance Monitor	Storage Navigator Modular2を使用して、ディスクアレイ装置の性能情報をモニタリングし、グラフ表示および結果をCSVファイルにて出力する機能。
2	LUN Manager (標準添付)		1ポートに複数OS接続を可能にする機能。 ホストグループ毎に自由なLU番号の割当てが可能。
3	Power Saving Plus (標準添付)		RAIDグループ単位にHDDのスピンダウンを行い、アレイ装置の消費電力を削減する機能。従来のPower SavingでサポートしているホストI/O非連動のスピンダウンに加え、ホストI/O連動のスピンダウンが可能。
4	Dynamic Provisioning (標準添付)		上位ホストに対して、物理容量とは独立した仮想ボリューム容量を提供する機能。
5	Dynamic Tiering (有償オプション)		複数のメディアを組み合わせてボリュームを階層化し、データのアクセス頻度に応じてデータを再配置する機能。
6	ShadowImage in-system replication (有償オプション)		アレイ装置内に論理ボリュームのレプリカを作成する機能。
7	Copy-on-write SnapShot (有償オプション)		アレイ装置内のコピー機能。LUの差分データの複製を作成。
8	Cache Partition Manager (有償オプション)		キャッシュ領域に対してリソースを論理分割する機能。
9	Account Authentication (有償オプション)		ユーザが登録するアカウント情報によりBR1650E/BR1650Sへの認証と装置内リソースへのアクセス制御を行う機能。
10	Audit Logging (有償オプション)		設定操作に対して監査用syslogを生成する機能。
11	Data Retention Utility (有償オプション)		LU (論理ユニット) に対し、アクセス属性 (Read Onlyなど) を設定する機能。
12	Modular Volume Migration (有償オプション)		筐体内で論理ボリュームを別のRAIDグループに移動する機能。



エントリークラスディスクアレイ装置 (BR1650S) 構成図

■ BR1650S FCモデル

(1) 3年無償保証モデル＜無償保証サービス(1～3年目出張修理)＞【サーバメンテナンスパック対応】

モデル	筐体	ディスクアレイコントローラ		ドライブ構成	電源	FCケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1650基本筐体								
3.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	3.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:4GB(4GBx1)]x2	選択	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	4本 (5m) 添付	GG0BR163-DL44FNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	2.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:4GB(4GBx1)]x2					GG0BR163-DS44FNN	個別見積もり
BR1650増設筐体								
3.5型ドライブモデル ドライブレス	3.5型	I/Oモジュール(ENC) x2	—	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	—	GG0BR163-ELNNFNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル ドライブレス	2.5型	I/Oモジュール(ENC) x2	—				GG0BR163-ESNNFNN	個別見積もり

各モデル共通仕様	標準搭載品	管理用LANポート 1G/100/10 BASE-T(オートネゴシエーション) ×1/コントローラ(※2)、保守用LANポート ×1/コントローラ(※2)
	標準添付品	AC200V電源ケーブル 1x2, AC100V電源ケーブル 1x2, ラックレールキット, ベゼル, Basic Operating System for Modular(※2), Fibre Channel Option(※2), Dynamic Provisioning(仮想ボリューム機能)(※2), Power Saving Plus(消費電力低減機能)(※2), LUN Manager(※2), ENCケーブル 1x2(※3)

※1: 内蔵ドライブは、搭載必須製品です。必要な内蔵ドライブ(純正品)を選択の上、購入願います。

※2: 基本筐体のみ添付

※3: 増設筐体のみ添付

(2) 1年無償保証モデル＜無償保証サービス(1年目維持保守)＞

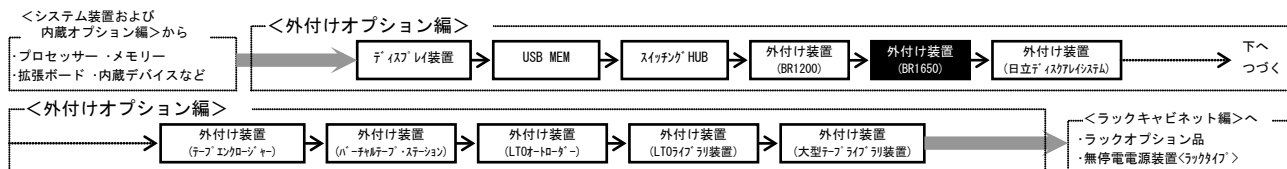
モデル	筐体	ディスクアレイコントローラ		ドライブ構成	電源	FCケーブル	セット形名	希望小売価格
		構成	拡張ポート					
BR1650基本筐体								
3.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	3.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:4GB(4GBx1)]x2	選択	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	4本 (5m) 添付	GV0BR163-DL44FNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル デュアルコントローラ ドライブレス	2.5型	デュアルコントローラ [FC(8G) 1/Fx4]x2 [MEM:4GB(4GBx1)]x2					GV0BR163-DS44FNN	個別見積もり
BR1650増設筐体								
3.5型ドライブモデル ドライブレス	3.5型	I/Oモジュール(ENC) x2	—	選択 (※1)	200V /100V 冗長 (1+1)	—	GV0BR163-ELNNFNN	個別見積もり
2.5型ドライブモデル ドライブレス	2.5型	I/Oモジュール(ENC) x2	—				GV0BR163-ESNNFNN	個別見積もり

各モデル共通仕様	標準搭載品	管理用LANポート 1G/100/10 BASE-T(オートネゴシエーション) ×1/コントローラ(※2)、保守用LANポート ×1/コントローラ(※2)
	標準添付品	AC200V電源ケーブル 1x2, AC100V電源ケーブル 1x2, ラックレールキット, ベゼル, Basic Operating System for Modular(※2), Fibre Channel Option(※2), Dynamic Provisioning(仮想ボリューム機能)(※2), Power Saving Plus(消費電力低減機能)(※2), LUN Manager(※2), ENCケーブル 1x2(※3)

※1: 内蔵ドライブは、搭載必須製品です。必要な内蔵ドライブ(純正品)を選択の上、購入願います。

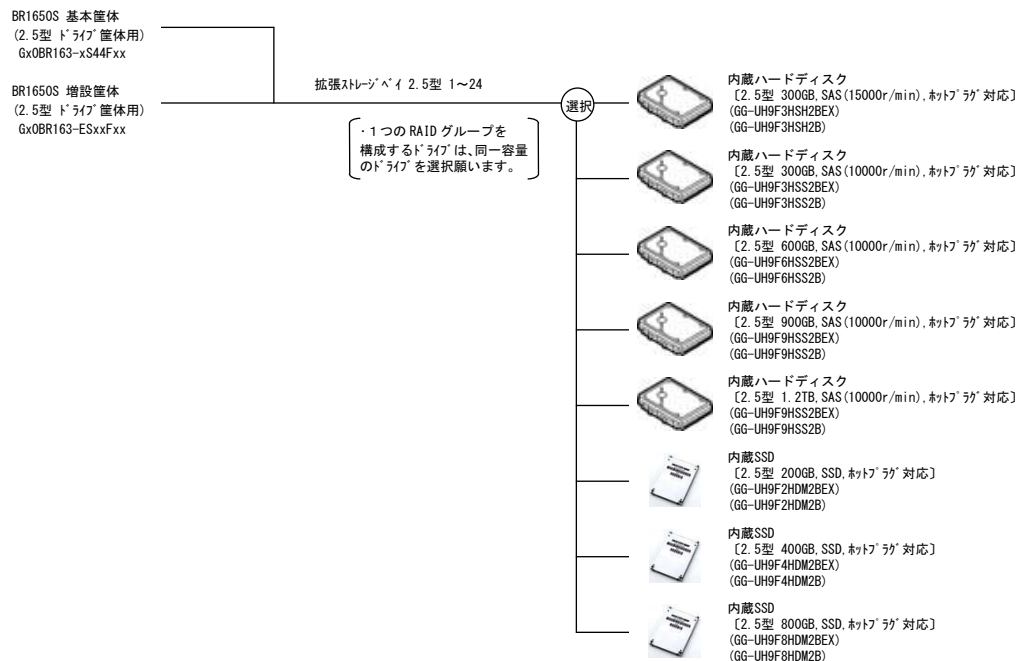
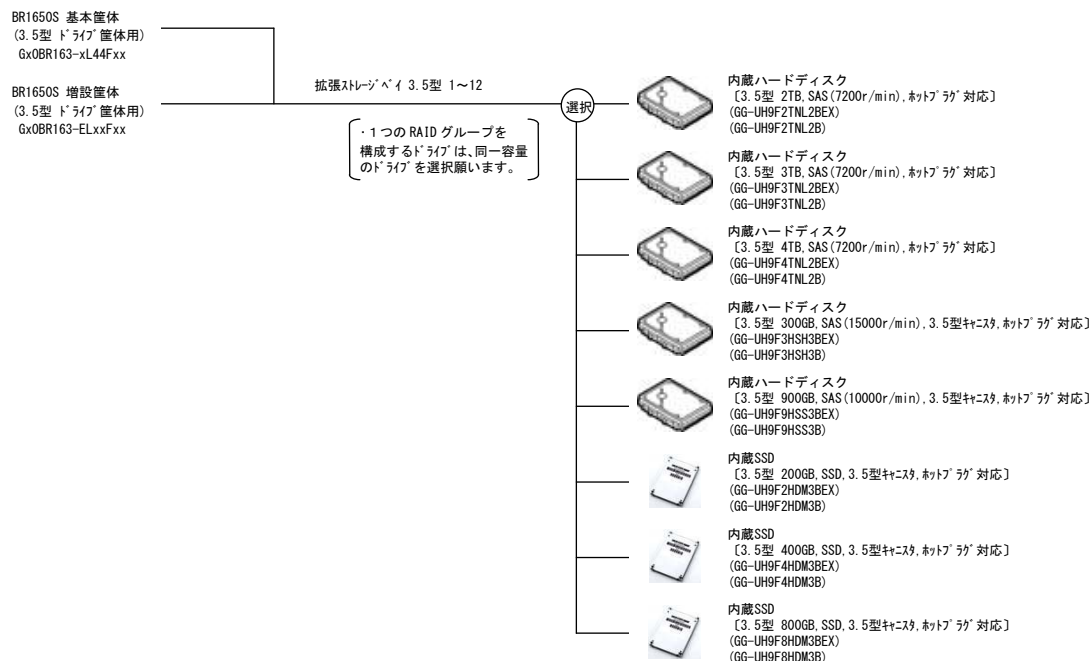
※2: 基本筐体のみ添付

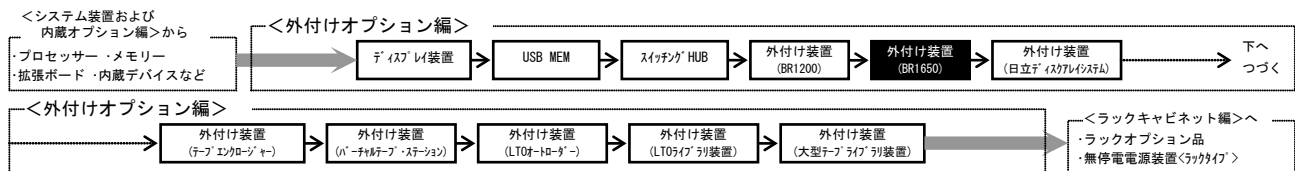
※3: 増設筐体のみ添付



内蔵ドライブ接続図 (h) -

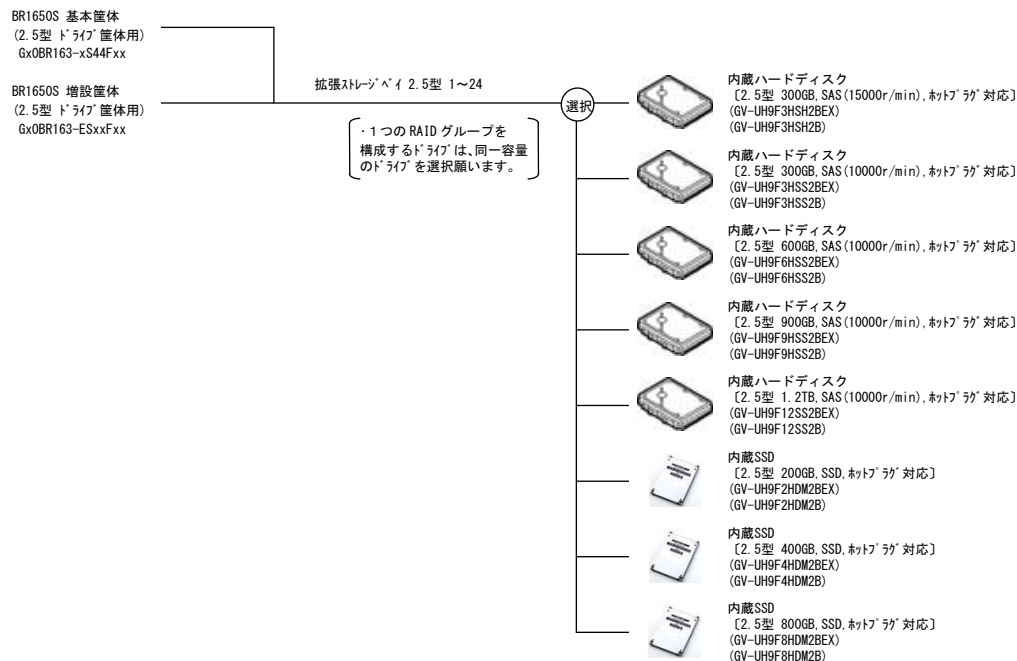
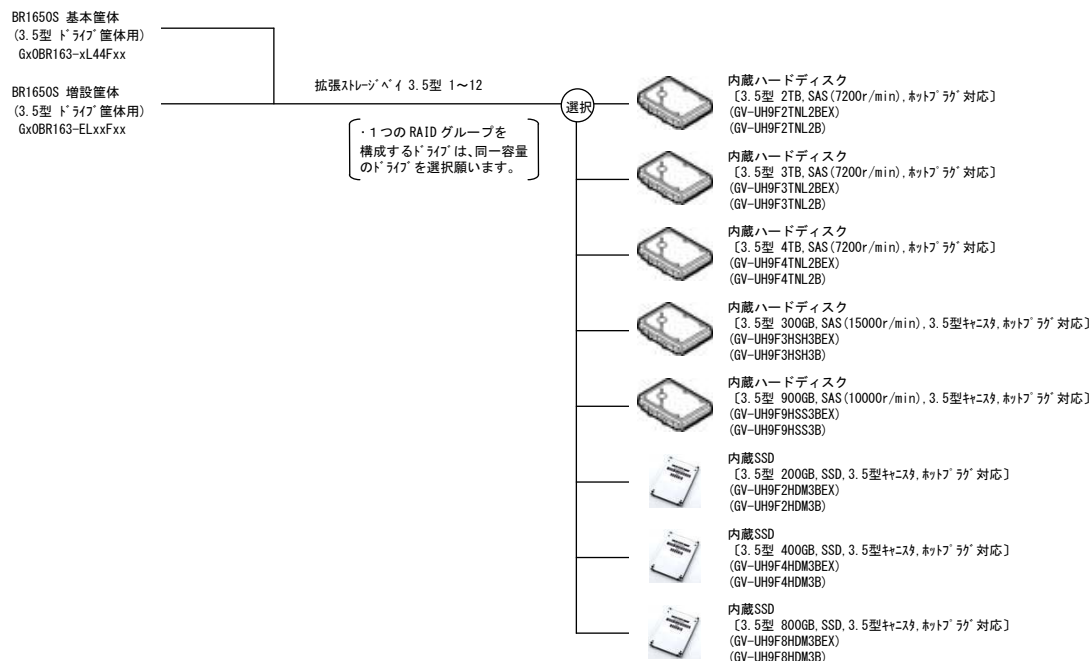
[BR1650S用]

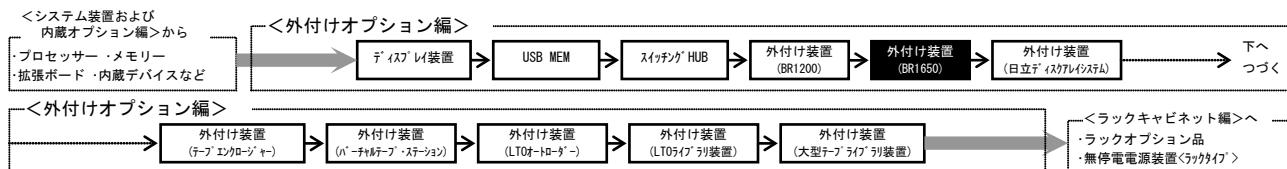




－ 内蔵ドライブ接続図 (j) －

【BR1650S用】



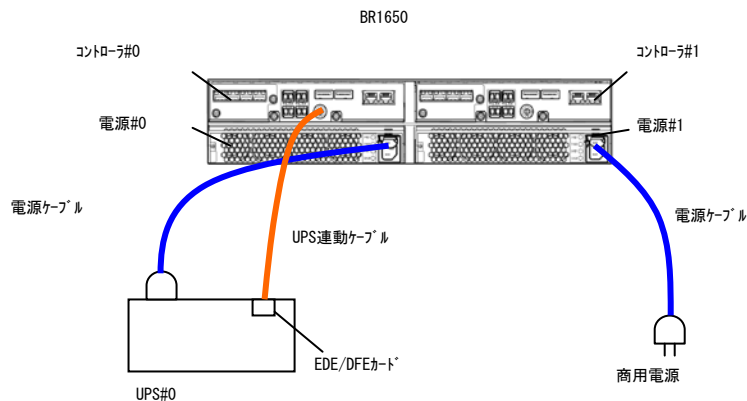


(11) BR1650は、EDEカードまたはDFEカードを搭載した専用UPSと電源連動することができます。BR1650および専用UPSは、以下の連動モード設定および接続構成で使用してください。

(*) 従来のBR1600では、モード設定をコントローラ(基本)筐体にあるロータリースイッチで切り換えていました。BR1650ではStorage Navigator Modular 2から電源連動モードを設定します。

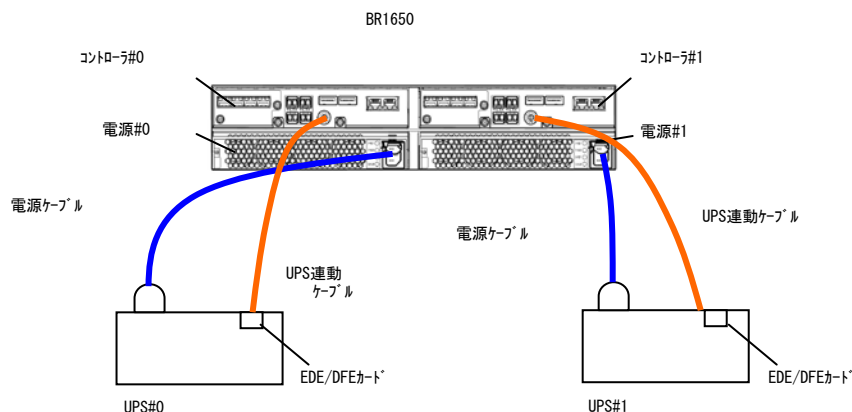
① UPS連動モード1

- ・BR1650の電源#0をUPSに、電源#1を外部のAC電源に接続してください。
- ・UPS連動ケーブルは、コントローラ#0に接続してください。



② UPS連動モード3

- ・BR1650の電源#0と電源#1を別々のUPSに接続してください。
- ・UPS連動ケーブルは、コントローラ#0には電源#0と接続したUPSを、コントローラ#1には電源#1と接続したUPSを、それぞれ接続してください。



(12) BR1650は、MLC (Multiple Level Cell) 方式のSSDを採用します。

①書き込み容量制限

MLC方式は容量と価格でメリットがありますが、最大書き込み容量に制限のある寿命部品です。そこでBR1650では書き込み容量を監視し、書き込み容量が寿命の90%(または設定した値)に達したら交換を促す通知を発行します。

なお、SSDが最大書き込み容量に達した場合は、保証期間内や保守契約期間内であっても無償交換は行いません。

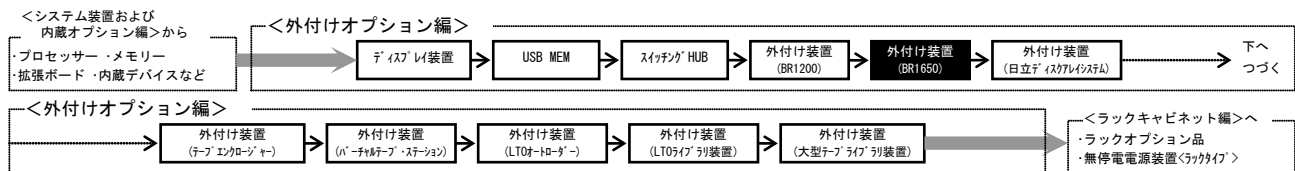
②保管時の注意

保管時の注意書き込み容量が増加すると電源オフ状態(注1)でのデータ保持期間が短くなり、書かれているデータが読み出せなくなります。SSDを保管する場合、継続して3ヶ月以上電源オフ状態にしないよう注意してください。この場合、保証及び保守契約による交換の対象になりません。

(注1) : SSDの搭載されている筐体が電源オフの状態、またはSSDを筐体から取り外した状態

(13) ラック搭載制限

- ・最下部1Uへの搭載はできません。
- ・筐体標準添付のENCケーブル(1m)を使用する場合、筐体間の空きスペースは1Uまでとし、2U以上あげないでください。
- ・筐体間の空きスペースを2U以上、またはラックまたぎで筐体接続する場合、オプションのENCケーブル(3m, 5m)を使用可能です。ただし、ケーブルの曲げ半径(R:30mm)とし、ケーブルとコネクタに負荷をかけないように接続してください。
- ・コントローラ筐体およびドライブ筐体の真上1Uには、引き出す必要のある装置を搭載しないことを推奨します。
(筐体天面に取り付けたガスケットと、上部装置底面が干渉し、引き出す際の抵抗が通常より大きくなります)



稼働中の増設／設定

以下に示す設定／変更は、ディスクアレイ装置の稼働（オンライン）中に実施することができます。なお、設定／変更を行う際にはHitachi Storage Navigator Modular 2を使用します。そのため、Hitachi Storage Navigator Modular 2が動作する環境をユーザ側でご用意して頂く必要があります。

＜増設＞

- ドライブ増設
- RAIDグループ設定、LU設定／LUフォーマット
但し、サーバから追加したLUがオンライン中で認識されるかどうかはサーバOSの仕様に依ります。
- ドライブ筐体の増設
- LUマッピング、ポートマッピング、Fibre情報（転送速度、トポロジ、ポートID）/iSCSI情報の設定
- コントローラの管理用LAN ポートのIP アドレス設定

＜減設＞

- ドライブ減設（コントローラ筐体のシステムドライブ（スロット#0～#4）を除く）

上記以外は、アレイ装置の再起動が必要な場合があります。

デュアルコントローラに関する注意事項

BR1650はデュアルコントローラ構成のみをサポートします。アレイ装置の設定において、両コントローラの、ポートID、IPアドレス以外は必ず同じ値を設定して下さい。

ドライブ

（１）装置構成

- BR1650E/BR1650Sでは、RAIDグループによってドライブ群を論理的に分割し、RAIDグループ内に容量を指定してLU(Logical Unit)を作成します。RAIDグループは装置内部の設定情報であり、ホストインタフェース上には見えません。これらのインタフェース上ではLUのみが見えます。RAIDグループ毎にRAIDレベルを設定可能で、RAIDグループを跨ってLUを作成することはできません。
- コントローラ筐体の先頭から5台（#0～#4）のドライブスロットには、SAS HDD、NL-SAS HDD、SSDのいずれか同一種別のドライブを搭載してください。異なる種別のドライブの混在は出来ません。
- SAS HDD、NL-SAS HDD、SSDは同じRAIDグループ内に混在させることはできません。

（２）RAIDグループ

- 同容量のドライブ群を指定して1個のRAIDグループを設定できます。使用するディスク数は、RAIDレベルによって異なります。

表 2 RAID レベル

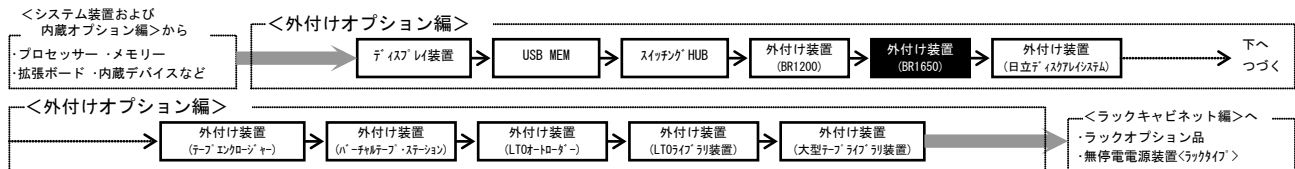
RAIDレベル	RAIDグループを構成するドライブ台数	備考
RAID6 (nD+2P)	(n+2) の倍数 (n=2～28)	
RAID5 (nD+1P)	(n+1) の倍数 (n=2～15)	
RAID1 (1D+1D)	2の倍数	
RAID1+0 (nD+nP)	2nの倍数 (n=2～8)	

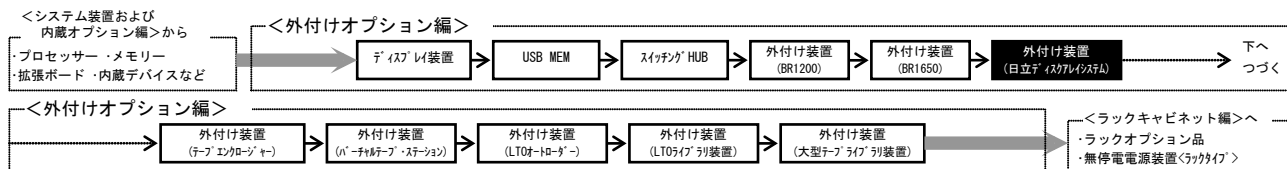
任意のRAIDグループを削除することができます。

削除対象となるRAIDグループ内の全てのLUが削除されます（Storage Navigator Modular2の画面で確認ダイアログが表示されます）。一度削除したRAIDグループは、元には戻せませんのでご注意ください。削除したいRAIDグループ内のLUが、LU統合されている場合、統合を解除しないとRAIDグループの削除はできません。

活線挿抜について

- ドライブ、電源は、システムを止めることなく活線挿抜することができます。
- コントローラは冗長化されている場合のみ、活線挿抜することが可能です。

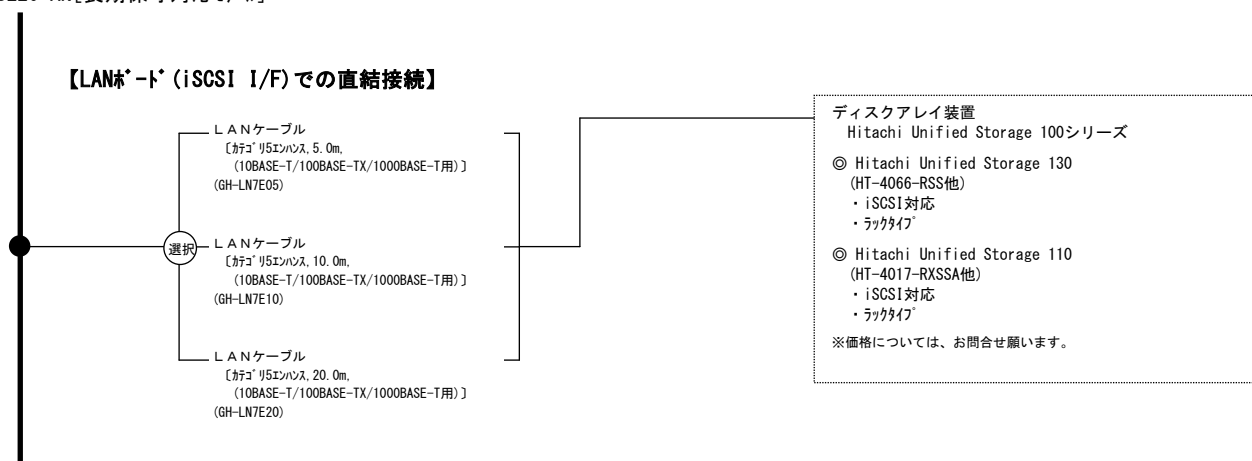




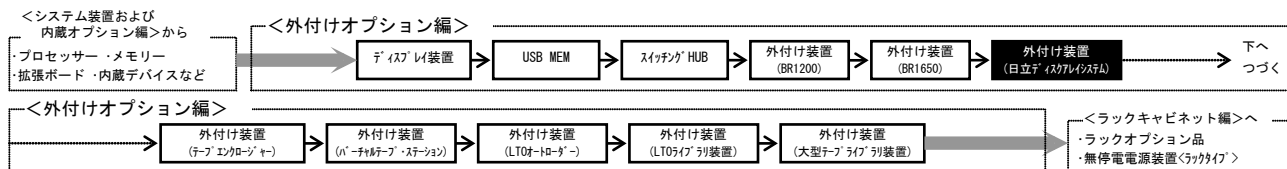
(3) -2 日立ディスクアレイシステム (Hitachi Unified Storage 100 (HUS100) シリーズ) — LANボード (iSCSI I/F) 接続 —

・長期保守対応モデル接続の日立ディスクアレイシステムは、個別見積もりとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]



・Hitachi Unified Storage 100シリーズのLANボード (iSCSI I/F) 接続は、スイッチングHUB経由接続非サポートです。



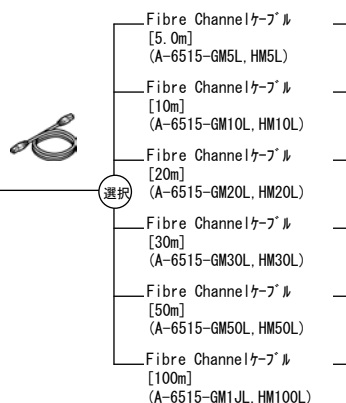
(3) -3 日立ディスクアレイシステム(Hitachi USP V/USP VM)

— Fibre Channelポート単体接続及びクラス接続構成 —

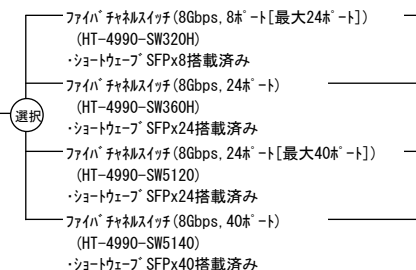
・長期保守対応モデル接続の日立ディスクアレイシステムは、個別見積もりとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]

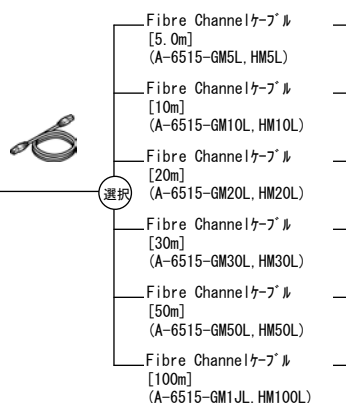
【光ケーブル】でのFabric Switch接続】



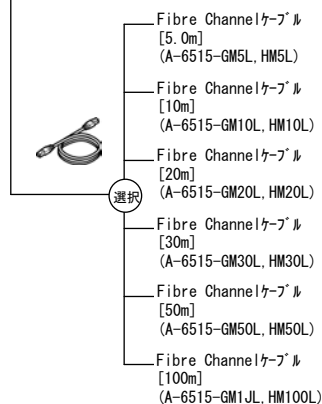
※価格につきましては、お問合せ願います。
又、RoHS対応状況につきましても、お問合せください。



【光ケーブル】での単体接続】



※価格につきましては、お問合せ願います。
又、RoHS対応状況につきましても、お問合せください。



※価格につきましては、お問合せ願います。
又、RoHS対応状況につきましても、お問合せください。

	最大接続距離[m:理論値]	
	A-6515-GMxx	A-6515-HMxx
8Gbps	50	150
4Gbps	150	380
2Gbps	300	500
1Gbps	500	860

選択

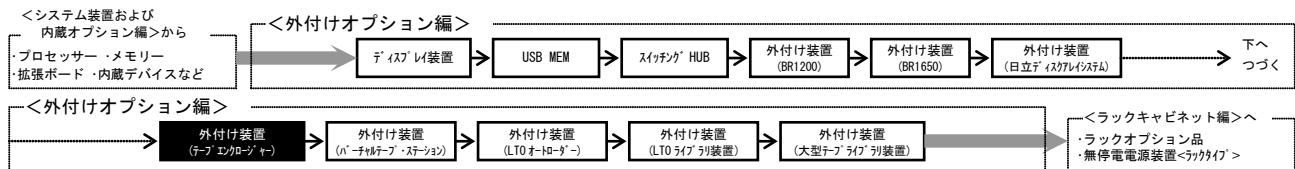
ディスクアレイ装置 Hitachi Universal Storage Platform V
[最大システム容量: 2269TB (物理容量)]
[最大キャッシュ容量: 512GB]
(A-65AA-5) *メインフレームシステム及びオープンシステム接続用

※価格につきましては、お問合せ願います。

選択

ディスクアレイ装置 Hitachi Universal Storage Platform VM
[最大システム容量: 472TB (物理容量)]
[最大キャッシュ容量: 128GB]
(A-65AB-5) *メインフレームシステム及びオープンシステム接続用

※価格につきましては、お問合せ願います。

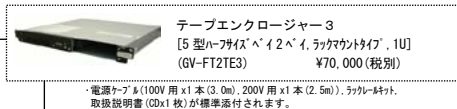


(4) - 1 テープエンクロージャー 3 ＜ラックタイプ用＞

RS210 AN[長期保守対応型]
RS220 AN[長期保守対応型]

・[カスタム]はカスタムメイド対象製品です。
・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012 環境では、
ARCserve16.5 のみでのサポートとなります。



SAS ケーブル
[miniSAS-miniSAS ケーブル, 2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000(税別)

LTO ドライブ(Ultrium5 ハーフハイト)

内蔵 LTO [LTO (非圧縮: 1.5TB, ハーフハイト)] ・内部 SAS ケーブル付き	LTO ドライブセット (GV-FT2TE3L5DEX) [カスタム] (GV-FT2TE3L5D)	¥687,000(税別) ¥687,000(税別)
--	--	------------------------------

・LTO Ultrium5 データカートリッジ (テスト用) x1, LTO Ultrium エンバロping カートリッジ x1 が標準添付されます。

テープメディアセット

HA8000 シリーズ 推奨メディア	5 巻バック
内蔵 LTO (LTO5) 用	LTO カートリッジ maxell: LTOU5/1500 GG-AY7UL119 ¥60,000(税別)

クリーニングテープセット

HA8000 シリーズ 推奨メディア	5 巻バック
内蔵 LTO 用	LTO クリーニング カートリッジ maxell: LTOU1/UCL GG-AY7UL119 ¥35,000(税別)

FC ケーブル
[LC-Simplex LC, 3.0m]
(GV-LT1LL03NDS) ¥20,000(税別)

LTO ドライブ(Ultrium6 ハーフハイト)

内蔵 LTO [LTO (非圧縮: 2.5TB, ハーフハイト)] ・内部 FC ケーブル付き	LTO ドライブセット (GV-FT2TE3L6FEX) [カスタム] (GV-FT2TE3L6F)	¥849,000(税別) ¥849,000(税別)
---	--	------------------------------

・LTO Ultrium6 データカートリッジ (テスト用) x1, LTO Ultrium エンバロping カートリッジ x1 が標準添付されます。

テープメディアセット

HA8000 シリーズ 推奨メディア	5 巻バック
内蔵 LTO (LTO6) 用	LTO カートリッジ maxell: LTOU6/2500 GG-AY7UL121 ¥90,000(税別)

クリーニングテープセット

HA8000 シリーズ 推奨メディア	5 巻バック
内蔵 LTO 用	LTO クリーニング カートリッジ maxell: LTOU1/UCL GG-AY7UL119 ¥35,000(税別)

ードライブ搭載条件表—

＜テープエンクロージャー 3 (GV-FT2TE3)＞

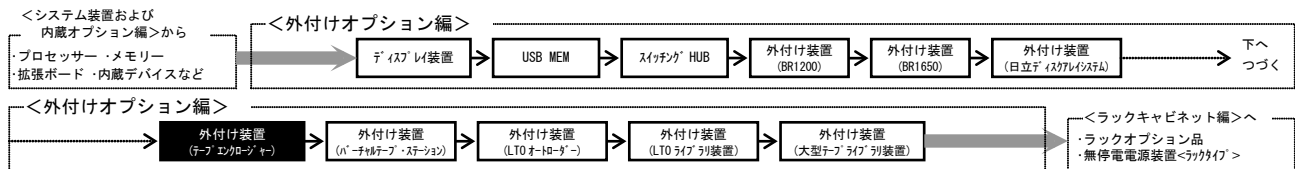
品 名	形 名	最大 搭載 台数	5 型ベイ (※1)	
			1	2
LTO ドライブ(Ultrium5 ハーフハイト)	GV-FT1TE2L5DBX GV-FT1TE2L5D	2	○	○
LTO ドライブ(Ultrium6 ハーフハイト)	GV-FT1TE2L6FBX GV-FT1TE2L6F	2	○	○

※1: 5 型ベイへのドライブ搭載は、番号の若い順に搭載します。
世代の異なるドライブを搭載する場合、#1 側に LTO 世代の古いドライブを搭載します。
ドライブのインターフェースが異なるドライブを搭載する場合、#1 側に SAS インターフェースのドライブを搭載します。

(凡例) ●: 標準搭載
○: 搭載可
×: 搭載不可

＜注意事項＞

- 手配に関する注意事項
 - 筐体単品の出荷はできません。必ずドライブを一台以上搭載する必要があります。
 - 本製品の保守は 5 年間の 8 時~19 時当日保守対応となりますのでご注意ください。又、表記の価格に保守料は含まれておりません。
- 設置に関する注意事項
 - 本製品はラック搭載専用用品です。
 - 塵埃による影響をさけるため、ラック最下段への搭載は禁止です。(ラック中段~上段への搭載を推奨)
- システム構築上に関する注意事項
 - テープドライブと HBA は、1 対 1 での接続のみサポートしています。サーバー内蔵ポート、SAS スイッチ、FC スイッチへの接続は非サポートです。
 - 下記指定のインターフェースケーブル以外は非サポートです。
 - SAS ケーブル (GV-LT1SSMM02) [miniSAS-miniSAS, 2m]
 - FC ケーブル (GV-LT1LL03NDS) [LC Duplex-LC Simplex (x2), 3m]
 - LTO Ultrium5 ドライブ、LTO Ultrium6 ドライブのシステムバックアップ性能は、CPU 性能、システムバス性能、インターフェース性能、ストレージのデータ読み出し性能、OS やバックアップ・アプリケーション・プログラムのオーバーヘッドなど、様々な要因に影響をうけるため、それぞれ世代前のドライブ性能を目標にシステム設計をする必要があります。
 - 暗号化機能を使うには LTO Ultrium4 以降のカートリッジを使用する必要があります。また、バックアップ・アプリケーション・プログラムが暗号化機能に対応している必要があります。
 - Linux 環境下ではバックアップ・アプリケーションプログラムの使用は非サポートです。
 - 以下の OS コマンドをサポートしています。
 - Linux: tar, dd, mt
- 保守に関する注意事項
 - ドライブの稼働時交換は出来ません。複数のサーバーから筐体を共有して使用する場合、保守時には接続している全てのサーバーをシャットダウンする必要があります。(サーバーや OS によりシャットダウンが不要の場合もあります。)

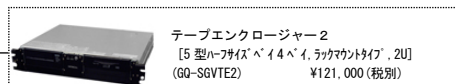


(4) -2 テープエンクロージャー 2 ＜ラックタイプ用＞

- ・ [カスタム] はカスタムメイド対象製品です。
- ・ 表記の価格は、希望小売価格です。

- ・ Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012 環境では、ARCserve16.5 のみでの稼働となります。

RS210 AN[長期保守対応可能]
RS220 AN[長期保守対応可能]



テープエンクロージャー 2
[5 型ハーフサイズ ベイ 4 ベイ 4, ラックマウントタイプ, 2U]
(GQ-SGVTE2) ¥121,000 (税別)

・電源ケーブル(100V 用 x1 本(3.0m), 200V 用 x1 本(2.5m)), ラックケーブル, 取扱説明書 (CD x1 枚) が標準添付されます。

選択オプション

電源ユニット [冗長化用電源ユニット] (GQ-SGVTE2PSBX) [カスタム]	¥76,000 (税別)
(GQ-SGVTE2PS)	¥76,000 (税別)

・電源ケーブル(100V 用 x1 本(3.0m), 200V 用 x1 本(2.5m)) が標準添付されます。

電源ユニット [独立 2 電源化用電源ユニット] (GQ-SGVTE22NPSBX) [カスタム]	¥76,000 (税別)
(GQ-SGVTE22NPS)	¥76,000 (税別)

・電源ケーブル(100V 用 x1 本(3.0m), 200V 用 x1 本(2.5m)), 電源スイッチ が標準添付されます。

＜注意事項＞

- ・ テープドライブは最大 4 台搭載可能です。
- ・ テープドライブと HBA は、1 対 1 で接続します。
(最大 4 台のシステム装置に接続可能です。)
- ・ SAS ドライブと SAS HBA の 1 対 1 接続をサポートします。
(内部 SAS インタフェースケーブルは、SAS ドライブ 2 台を接続可能なケーブルですが、1 台接続のみサポートとなります。)

＜電源ユニット注意事項＞

- ・ 標準で電源ユニットは 1 個搭載済みです。最大 2 個搭載できます。
- ・ 1 個の電源ユニットで、最大 2 台のドライブに対して給電出来ます。
- ・ オプションの電源ユニットを追加することで、次の構成を組むことが出来ます。
(1) 冗長電源構成
・ 最大 2 台のドライブの給電を冗長化出来ます。
(2) 独立 2 電源構成
・ 独立 2 電源構成とは、複数のドライブに対する給電バスを別々に用意する構成です。
・ 3 台以上のドライブを搭載する場合、独立 2 電源構成は必須となります。
・ 2 台のドライブ搭載時、各々の給電バスを別にする場合、独立 2 電源構成とします。
・ 冗長電源構成を独立 2 電源構成に、独立 2 電源構成を冗長電源構成に変更することは出来ません。

SAS ケーブル
[miniSAS-miniSAS ケーブル, 2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000 (税別)

LTO ドライブ (Ultrium4 ハーフハイト)

バックアップデバイス		バックアップソフトウェア	
内蔵 LTO [LTO (非圧縮: 800GB, ハーフハイト)] ・ 内部 SAS ケーブル + 外部 SAS ケーブル (2m) 付き ・ データ LTO Ultrium カートリッジ (LT0U4/800) x10 巻付き		内蔵 LTO [LTO (非圧縮: 800GB, ハーフハイト)] ・ 内部 SAS ケーブル + 外部 SAS ケーブル (2m) 付き	
 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOドライブセット (GQ-SGVF5ATL4DBX) [カスタム] ¥1,272,000 (税別)	LTOドライブセット (GQ-SGVF50TL4DBX) [カスタム] ¥882,000 (税別)	
 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOドライブセット (GQ-SGVD5ATL4DBX) [カスタム] ¥1,194,000 (税別)	LTOドライブセット (GQ-SGVD50TL4DBX) [カスタム] ¥804,000 (税別)	
 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOドライブセット (GQ-SGV55ATL4DBX) [カスタム] ¥1,124,000 (税別)	LTOドライブセット (GQ-SGV550TL4DBX) [カスタム] ¥734,000 (税別)	
 JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOドライブセット (GQ-SGVB4ATL4DBX) [カスタム] ¥1,134,000 (税別)	LTOドライブセット (GQ-SGVB40TL4DBX) [カスタム] ¥744,000 (税別)	
バックアップソフトウェアなし	LTOドライブセット (GQ-SGV00ATL4DBX) [カスタム] ¥1,012,000 (税別) (GQ-SGV00ATL4D) ¥1,012,000 (税別)	LTOドライブセット (GQ-SGV000TL4DBX) [カスタム] ¥622,000 (税別) (GQ-SGV000TL4D) ¥622,000 (税別)	

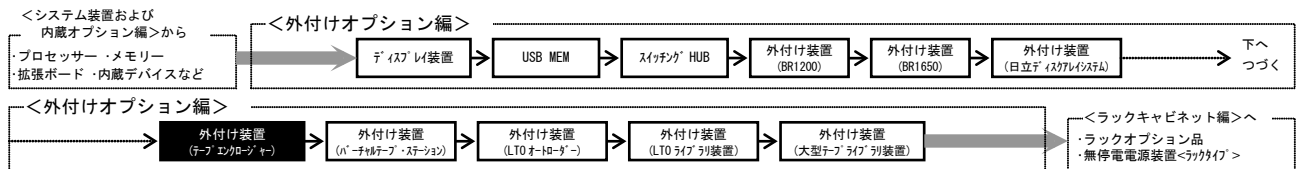
- ・ LTO Ultrium4 データカートリッジ (テスト用) x1, LTO Ultrium ユニバーサルクリーニング カートリッジ x1 が標準添付されます。
- ・ CA ARCserve Backup バックアップのバックアップ デバイスは、ARCserve バックアップサービス (1 年分) が付属します。

テープメディアセット

HA8000 シリーズ 推奨メディア	5 巻パック
内蔵 LTO (LTO4) 用	LTO カートリッジ maxell: LT0U4/800 ¥80,000 (税別)
内蔵 LTO (LTO4) 用	LTO WORM カートリッジ maxell: LT0U4/800W ¥90,000 (税別)

クリーニングテープセット

HA8000 シリーズ 推奨メディア	5 巻パック
内蔵 LTO 用	LTO クリーニング カートリッジ maxell: LT0U1/UCL ¥35,000 (税別)



・[カスタム]はカスタムメイド対象製品です。
・表記の価格は、希望小売価格です。

SASケーブル
[miniSAS-miniSAS ケーブル, 2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000 (税別)

LTOドライブ(Ultrium5 ハーフハイト)

 内蔵 LTO [LTO (非圧縮): 1.5TB, ハーフハイト] ・内部 SAS ケーブル付き LTO ドライブセット (GV-FT1TE2L5DBX) [カスタム] ¥722,000 (税別) (GV-FT1TE2L5D) ¥722,000 (税別)	
---	--

・LTO Ultrium5 テープカートリッジ (テスト用) x1, LTO Ultrium ユニバーサルクリーニング カートリッジ x1 が標準添付されます。

テープメディアセット

HA8000 シリーズ	推奨メディア	5巻パック
内蔵 LTO (LTO5) 用	LTO カートリッジ maxell: LTOU5/1500	GQ-AY7ULT19 ¥60,000 (税別)

クリーニングテープセット

HA8000 シリーズ	推奨メディア	5巻パック
内蔵 LTO 用	LTO クリーニング カートリッジ maxell: LTOU1/UGL	GQ-AY7ULTCL1 ¥35,000 (税別)

FCケーブル
[LC-Simplex LC, 3.0m]
(GV-LT1LLO3NDS) ¥20,000 (税別)

LTOドライブ(Ultrium6 ハーフハイト)

 内蔵 LTO [LTO (非圧縮): 2.5TB, ハーフハイト] ・内部 FC ケーブル付き LTO ドライブセット (GV-FT1TE2L6FBX) [カスタム] ¥866,000 (税別) (GV-FT1TE2L6F) ¥866,000 (税別)	
--	--

・LTO Ultrium6 テープカートリッジ (テスト用) x1, LTO Ultrium ユニバーサルクリーニング カートリッジ x1 が標準添付されます。

テープメディアセット

HA8000 シリーズ	推奨メディア	5巻パック
内蔵 LTO (LTO6) 用	LTO カートリッジ maxell: LTOU6/2500	GQ-AY7ULT21 ¥90,000 (税別)

クリーニングテープセット

HA8000 シリーズ	推奨メディア	5巻パック
内蔵 LTO 用	LTO クリーニング カートリッジ maxell: LTOU1/UGL	GQ-AY7ULTCL1 ¥35,000 (税別)

—ドライブ搭載条件表—

＜テープエンクロージャー 2 (GQ-SGVTE2)＞

品 名	形 名	最大 搭載 台数	5 型ベイ (*1)			
			1	2	3	4
LTO ドライブ (Ultrium4 ハーフハイト) (*2)	GQ-SGVxxxTL4DBX GQ-SGVxxxTL4D	2	○	×	○	×
LTO ドライブ (Ultrium5 ハーフハイト) (*2)	GV-FT1TE2L5DBX GV-FT1TE2L5D	2	○	×	○	×
LTO ドライブ (Ultrium6 ハーフハイト) (*2)	GV-FT1TE2L6FBX GV-FT1TE2L6F	2	○	×	○	×

*1: 5 型ベイへのドライブ搭載は、番号の若い順に搭載します。

*2: LTO ドライブは、下側のベイ (ベイ 1, 3) のベイに搭載し、上側のベイ (ベイ 2, 4) には搭載できません。

(凡例) ●: 標準搭載
○: 搭載可
×: 搭載不可

—電源ユニット搭載条件表—

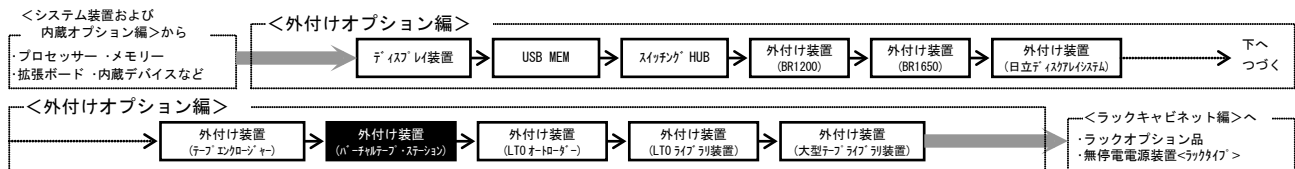
＜テープエンクロージャー 2 (GQ-SGVTE2)＞

品 名	形 名	最大 搭載 台数	電源スロット	
			1	2
電源ユニット (冗長化用電源ユニット) (*1)	GQ-SGVTE2PSBX GQ-SGVTE2PS	2	●	○
電源ユニット (独立 2 電源化用電源ユニット) (*2)	GQ-SGVTE22NPSBX GQ-SGVTE22NPS	2	●	○

*1: 電源の冗長性を持たせる場合、搭載出来るドライブ台数は 2 台までとなります。

*2: 3 台以上のドライブを搭載する場合、電源ユニット[GQ-SGVTE22NPSBX/GQ-SGVTE22NPS]が必要となります。

(凡例) ●: 標準搭載
○: 搭載可
×: 搭載不可



(5) バーチャルテープ・ステーション ＜ラックタイプ用＞

・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]

【LANポート経由直接接続】

LAN ケーブル

・100BASE-T カテゴリ5エンハンス、カテゴリ6ケーブルをご使用ください。

推奨 LAN ケーブル 【カテゴリ5エンハンス, 5.0m, (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用)】 (GH-LN7E05)	¥1,500 (税別)
推奨 LAN ケーブル 【カテゴリ5エンハンス, 10.0m, (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用)】 (GH-LN7E10)	¥2,400 (税別)
推奨 LAN ケーブル 【カテゴリ5エンハンス, 20.0m, (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用)】 (GH-LN7E20)	¥4,000 (税別)

選択

	R1/8バーチャルテープ・ステーション 【1ドライブ, 8スロット, ラックマウントタイプ】 (GV-FT2R108R) ¥480,000 (税別)
・電源ケーブル(100V用 x1本(2.5m), 200V用 x1本(2.5m)), ラックレールキット, 取扱説明書(CD x1枚)が標準添付されます。	
	R2/8バーチャルテープ・ステーション 【2ドライブ, 8スロット, ラックマウントタイプ】 (GV-FT2R208R) ¥580,000 (税別)
・電源ケーブル(100V用 x1本(2.5m), 200V用 x1本(2.5m)), ラックレールキット, 取扱説明書(CD x1枚)が標準添付されます。	

【RDXデータカートリッジ】

推奨メディア	数量	手配形名	価格
RDXデータカートリッジ(500GB)	1	GV-FT2RD500	¥58,000 (税別)
RDXデータカートリッジ(1TB)	1	GV-FT2RD1000	¥78,000 (税別)

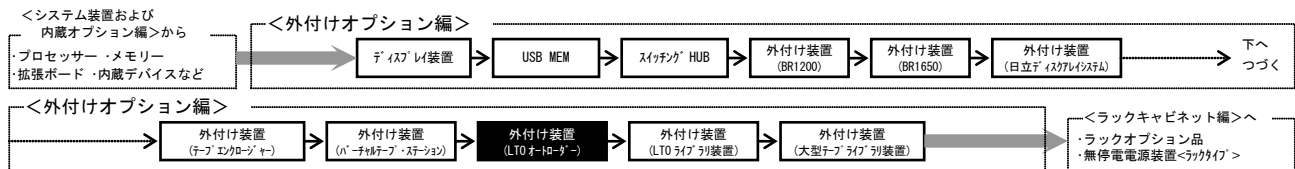
【バーチャルテープ・ステーション仕様】

項目	仕様	
品名	R1/8バーチャルテープ・ステーション	R2/8バーチャルテープ・ステーション
搭載ドライブ/搭載可能ドック数	RDX/8	
論理ドライブ	LT03/1台	LT03/2台
記憶容量(非圧縮時)	最大 4000GB (500GBx8 搭載時)	
	最大 8000GB (1TBx8 搭載時)	
データ転送性能 ^{※1}	最大 30MB/s	最大 60MB/s ^{※2}
電源電圧/周波数/定格電流	単相 AC100V, AC200V/50Hz, 60Hz/AC100V: 2A, AC200V: 1A	
電源冗長化	非サポート	
インターフェース/接続コネクタ	iSCSI/RJ-45	
外形寸法(WxDxH)/質量	438mmx508mmx89mm/10.2Kg (RDXデータカートリッジ含まず)	
消費電力	90W (最大)	

※1 インタフェース速度が100Mbpsで接続された場合の値です。10/100Mbpsで接続された場合、著しく性能が低下する場合があります。
※2 データ転送性能は、ドライブ毎に最大30MB/sとなります。

＜注意＞

- ・サポートOS: 下記サイトにて確認願います。
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products.list/tape/small/r1.8/index.html>
上記OSのバックアップ・アプリケーション・プログラムサポートについては、問い合わせください。
- ・バーチャルテープ・ステーションはLANボード(iSCSI 1/F)と直接接続のみのサポートとなります。
- ・バーチャルテープ・ステーションには、スロット数分のRDXカートリッジを標準添付していません。併せてRDXカートリッジも御購入ください。
- ・内蔵RDX用カートリッジは使用できませんので、必ずGV-FT2RD500またはGV-FT2RD1000を御購入ください。
- ・CA ARCserve Backupは、システム装置毎に必要です。また、R2/8バーチャルテープ・ステーションの場合、別途TapeLibraryOptionが必要となります。詳細は、お問い合わせください。
- ・UP1/VERITAS Backup Execは、システム装置毎に必要です。また、R2/8バーチャルテープ・ステーションの場合、別途Library Expansion Optionが必要となります。詳細は、お問い合わせください。
- ・RDXカートリッジの製品寿命は2年です。長期間の保存の場合、LT0テープでの保存を推奨します。



(6) LTOオートローダー
＜ラックタイプ用＞

・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012 環境では、
ARCserve16.5 のみでのサポートとなります。



選択

L1/8A LTOオートローダー (LT05 ハーフハイト, SAS インタフェース) [おまかせ安心モデルⅡ 24 (5 年) 接続用]

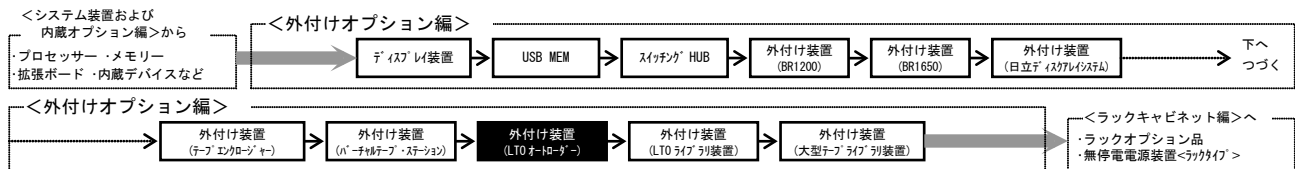
バックアップソフトウェア	バックアップデバイス	
	L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 1.5TB), 8 連装) ・SAS ケーブル (2.0m) x2 本付き ・メディア (LTO Ultrium カートリッジ [LT0U5/1500]) x48 巻 (8 巻/年 x 8 巻/「おまかせ安心サービス」) 付き	L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 1.5TB), 8 連装) ・SAS ケーブル (2.0m) x2 本付き ・メディア (LTO Ultrium カートリッジ [LT0U5/1500]) x8 巻付き
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1 枚)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5TL108RP) ¥3,776,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5LL108RP) ¥2,177,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1 枚)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB5TL108RP) ¥3,703,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB5LL108RP) ¥2,104,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1 枚)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV55TL108RP) ¥3,632,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV55LL108RP) ¥2,033,000 (税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD/CD)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4TL108RP) ¥3,650,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4LL108RP) ¥2,051,000 (税別)
バックアップソフトウェアなし	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00TL108RP) ¥3,496,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00LL108RP) ¥1,897,000 (税別)

・CA ARCserve Backup バンドルのバックアップデバイセットは、ARCserve 特約サービス (1 年分) が付属します。

L1/8A LTOオートローダー (LT05 ハーフハイト, SAS インタフェース) [おまかせ安心モデルⅡ (5 年) 接続用]

バックアップソフトウェア	バックアップデバイス	
	L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 1.5TB), 8 連装) ・SAS ケーブル (2.0m) x2 本付き ・メディア (LTO Ultrium カートリッジ [LT0U5/1500]) x48 巻 (8 巻/年 x 8 巻/「おまかせ安心サービス」) 付き	L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 1.5TB), 8 連装) ・SAS ケーブル (2.0m) x2 本付き ・メディア (LTO Ultrium カートリッジ [LT0U5/1500]) x8 巻付き
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1 枚)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5QL108RP) ¥3,644,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5HL108RP) ¥2,045,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1 枚)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB5QL108RP) ¥3,571,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB5HL108RP) ¥1,972,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1 枚)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV55QL108RP) ¥3,500,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV55HL108RP) ¥1,901,000 (税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD/CD)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4QL108RP) ¥3,518,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4HL108RP) ¥1,919,000 (税別)
バックアップソフトウェアなし	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00QL108RP) ¥3,364,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00HL108RP) ¥1,765,000 (税別)

・CA ARCserve Backup バンドルのバックアップデバイセットは、ARCserve 特約サービス (1 年分) が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応型]
RS220 AN[長期保守対応型]

L1/8A LTOオートローダー (LT05 ハーフサイズ, SAS インタフェース) [標準ケーブル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

バックアップデバイス		x2本 x8巻		x2本	
バックアップソフトウェア		L1/8A LTOオートローダー (LT05 非圧縮: 1.5TB) 8 連装 ・SAS ケーブル(2.0m) x2 本付き ・メディア(LTO Ultrium カートリッジ (LT0U5/1500)) x8 巻付き		L1/8A LTOオートローダー (LT0 非圧縮: 1.5TB) 8 連装 ・SAS ケーブル(2.0m) x2 本付き	
(DVD1 枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5BL108RP)	¥1,446,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5L108RP)	¥1,178,000 (税別)
(DVD1 枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVD5BL108RP)	¥1,373,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVD5L108RP)	¥1,105,000 (税別)
(DVD1 枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVSS5BL108RP)	¥1,302,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVSS5L108RP)	¥1,034,000 (税別)
(DVD) (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4BL108RP)	¥1,320,200 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4L108RP)	¥1,052,200 (税別)
バックアップソフトウェアなし		L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00BL108RP)	¥1,166,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00L108RP)	¥898,000 (税別)

・CA ARCserve Backup バンドルのバックアップデバイスセットは、ARCserve 標準サービス(1年分)が付属します。

・標準 OS: 下記サイトにて確認願います。

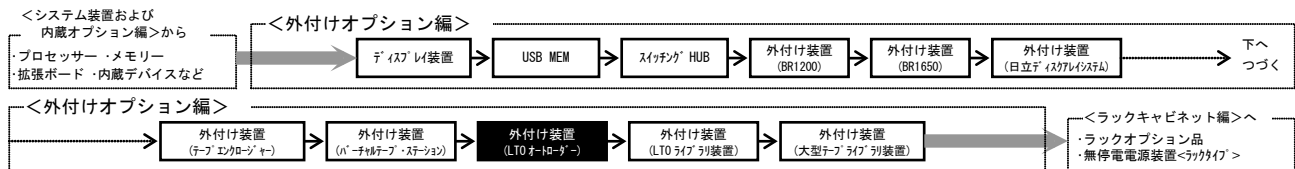
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_8a/index.html

上記 OS のバックアップ・アプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。

- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTO ライブラリ装置には、スロット数分の LTO カートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体をセットしたケーブルを御購入ください。
- ・尚、媒体セットケーブルの媒体には予めバーコードラベル(N0. 000001~000008; 変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTO カートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・L1/8A LTO オートローダーの「テープライブラリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html> を参照願います。
- ・CA ARCserve Backup は、システム装置毎に必要です。(L1/8A LTO オートローダー 2 台を同一のシステム装置へ接続の場合、CA ARCserve Backup は 1 つのバージョンで動作可となります。)
- ・JP1/VERITAS Backup Exec は、システム装置毎に必要です。(L1/8A LTO オートローダー 2 台を同一のシステム装置へ接続の場合、JP1/VERITAS Backup Exec は 1 つのバージョンで動作可となります。又、L1/8A LTO オートローダー 2 台を同一のシステム装置へ接続時、JP1/VERITAS Backup Exec には、別途 Library Expansion オプションが必要です。)
- ・L1/8A LTO オートローダー装置は一般に塵埃の影響を受けやすい装置です。ラック搭載時は、塵埃の影響を受けにくい中～上段への搭載を強くお奨めします。
- ・L1/8A LTO オートローダー装置は装置仕様により、工場出荷時はラック搭載用レールのみを取付し、装置本体は現地納入時にラックに搭載します。
- ・ラック搭載及びケーブル接続作業は現地作業となりますので、工場現地増設サービスも併せて手配願います。
- ・L1/8A LTO オートローダー装置をラックに搭載する場合で、2 台並べて搭載する場合には装置間を 1U 空ける必要があります。

LTO オートローダーの設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機からの吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でケーブルが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やハンコリッパ、ライブラリなどの近くに装置を設置しないでください。コピー機やハンコリッパから排出されるインク排気やライブラリから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やハンコリッパから排出されるインク排気やライブラリから発生する紙粉がケーブルに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、ケーブルを使わないでください。ケーブルの繊維がほつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がケーブルに付着すると、ケーブルに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやケーブル表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]

・ Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012 環境では、
ARCserve16.5 のみでのサポートとなります。

選択

L1/8A LTOオートローダー (LT06 ハーフハイト, SAS インタフェース) [おまかせ安心モデルⅡ 24 (5 年) 接続用]

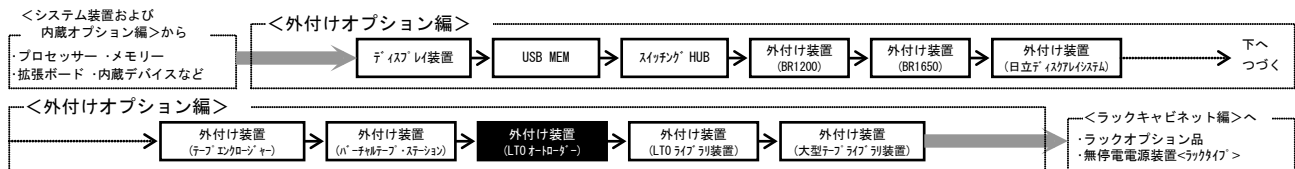
バックアップデバイス		x1 本 x8 巻	
バックアップソフトウェア		L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 2.5TB), 8 連装) ・ SAS ケーブル (2.0m) x1 本付き ・ ディスケット (LTO Ultrium カートリッジ [LT0U6/2500]) x8 巻付き	
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGVF5LL108RR)	¥2,195,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGVDSLL108RR)	¥2,122,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGVSSLL108RR)	¥2,051,000 (税別)
	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGV84LL108RR)	¥2,070,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGV00LL108RR)	¥1,915,000 (税別)

・ CA ARCserve Backup バンドルのバックアップメディアセットは、ARCserve サポートサービス (1 年分) が付属します。

L1/8A LTOオートローダー (LT06 ハーフハイト, SAS インタフェース) [おまかせ安心モデルⅡ (5 年) 接続用]

バックアップデバイス		x1 本 x8 巻	
バックアップソフトウェア		L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 2.5TB), 8 連装) ・ SAS ケーブル (2.0m) x1 本付き ・ ディスケット (LTO Ultrium カートリッジ [LT0U6/2500]) x8 巻付き	
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGVF5HL108RR)	¥2,068,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGVDSHL108RR)	¥1,995,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGVSSHL108RR)	¥1,924,000 (税別)
	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGV84HL108RR)	¥1,942,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	L1/8A LTO オートローダーセット (GG-SGV00HL108RR)	¥1,788,000 (税別)

・ CA ARCserve Backup バンドルのバックアップメディアセットは、ARCserve サポートサービス (1 年分) が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応型]
RS220 AN[長期保守対応型]

L1/8A LTOオートローダー(LT06 ハーフサイズ) [標準ケーブル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

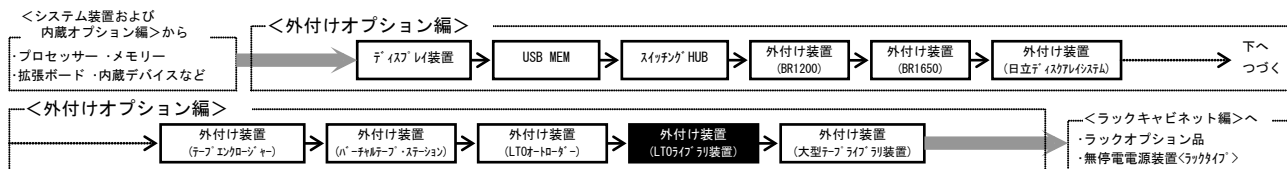
バックアップデバイス		x1本 x8巻		x1本	
バックアップソフトウェア		L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 2.5TB), 8 連装) ・SAS ケーブル(2.0m)x2 本付き ・メディア(LTO Ultrium カートリッジ (LT06/2500))x8 巻付き		L1/8A LTOオートローダー (LT0 (非圧縮: 2.5TB), 8 連装) ・SAS ケーブル(2.0m)x1 本付き	
(DVD1 枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5BL108RR)	¥1,718,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVF5L108RR)	¥1,318,000 (税別)
(DVD1 枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVD5BL108RR)	¥1,645,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVD5L108RR)	¥1,245,000 (税別)
(DVD1 枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVSS5BL108RR)	¥1,574,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVSS5L108RR)	¥1,174,000 (税別)
(DVD) (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4BL108RR)	¥1,592,200 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGVB4L108RR)	¥1,192,200 (税別)
バックアップソフトウェアなし		L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00BL108RR)	¥1,438,000 (税別)	L1/8A LTO オートローダーセット (GQ-SGV00L108RR)	¥1,038,000 (税別)

・CA ARCserve Backup バンドルのバックアップデバイスセットは、ARCserve 標準サービス(1 年分)が付属します。

- ・標準 OS: 下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_8a/index.html
上記 OS のバックアップ・アプリケーション・プログラム等については、お問い合わせください。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
 - ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
 - ・LTO ライブリプレイ装置には、ソフト数分の LTO カートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体をセットしたテープを御購入ください。
尚、媒体セット時の媒体には予めバーコードラベル(N0. 000001~000008; 変更不可)が貼り付けられています。
 - ・LTO カートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
 - ・L1/8A LTO オートローダーの「テープライブリプレイ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html> を参照願います。
 - ・CA ARCserve Backup は、システム装置毎に必要です。(L1/8A LTO オートローダー 2 台を同一のシステム装置へ接続の場合、CA ARCserve Backup は 1 つのバージョンで動作可となります。)
 - ・JP1/VERITAS Backup Exec は、システム装置毎に必要です。(L1/8A LTO オートローダー 2 台を同一のシステム装置へ接続の場合、JP1/VERITAS Backup Exec は 1 つのバージョンで動作可となります。又、L1/8A LTO オートローダー 2 台を同一のシステム装置へ接続時、JP1/VERITAS Backup Exec には、別途 Library Expansion オプションが必要です。)
 - ・L1/8A LTO オートローダー装置は一般に塵埃の影響を受けやすい装置です。ラック搭載時は、塵埃の影響を受けにくい中へ上段への搭載を強くお奨めします。
 - ・L1/8A LTO オートローダー装置は装置仕様により、工場出荷時はラック搭載用レールのみを取付し、装置本体は現地納入時にラックに搭載します。
ラック搭載及びケーブル接続作業は現地作業となりますので、工場現地増設サービスも併せて手配願います。
 - ・L1/8A LTO オートローダー装置をラックに搭載する場合で、2 台並べて搭載する場合には装置間を 1U 空ける必要があります。

LTO オートローダーの設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機からの吹出口、他機器の排熱口、床通風口のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やハンダポンプ、ライブラリなどの近くに装置を設置しないでください。コピー機やハンダポンプから排出されるインクや溶剤、ライブラリから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やハンダポンプから排出されるインクや溶剤、ライブラリから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がほつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



(7) LTOライブラリ装置

＜ラックタイプ用＞

—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【SASケーブル】での単体接続 LTO5ハーフハイトライヴ搭載モデル

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

選択

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ 24(5年)接続用]

バックアップソフトウェア	バックアップデバイス	
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LTOライブラリ装置 (LTO(非圧縮:1.5TB), 30連装) ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultriumテープ) [LT0U5/1500] x30巻付き	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5LL130RP) ¥3,368,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVD5LL130RP) ¥3,295,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGV55LL130RP) ¥3,224,000(税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVB4LL130RP) ¥3,243,000(税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00LL130RP) ¥3,088,000(税別)

・CA ARCserve Backupのインストールのバックアップデバイスは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ (5年)接続用]

バックアップソフトウェア	バックアップデバイス	
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LTOライブラリ装置 (LTO(非圧縮:1.5TB), 30連装) ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultriumテープ) [LT0U5/1500] x30巻付き	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5HL130RP) ¥3,205,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVD5HL130RP) ¥3,132,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGV55HL130RP) ¥3,061,000(税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVB4HL130RP) ¥3,079,000(税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00HL130RP) ¥2,925,000(税別)

・CA ARCserve Backupのインストールのバックアップデバイスは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。



RS220 AN[長期保守対応モデル]

《無償保証サービス(1年目出張修理)》

バックアップデバイス		 x1本  x30巻		 x1本	
バックアップソフトウェア		LT0ライブラリ装置 [LT0 (非圧縮: 1.5TB), 30連装] ・SASケーブル (2.0m) x1本付き ・イディ7 (LT0 Ultrium+ドライブ [LT0US/1500]) x30巻付き		LT0ライブラリ装置 [LT0 (非圧縮: 1.5TB), 30連装] ・SASケーブル (2.0m) x1本付き	
 (DVD 1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5BL130RP)	¥2,743,000 (税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5L130RP)	¥1,738,000 (税別)
 (DVD 1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVDSBL130RP)	¥2,670,000 (税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVDSL130RP)	¥1,665,000 (税別)
 (DVD 1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LT0ライブラリセット (GQ-SGVSSBL130RP)	¥2,599,000 (税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVSSL130RP)	¥1,594,000 (税別)
 (DVD) (CD)	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4BL130RP)	¥2,617,200 (税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4L130RP)	¥1,612,200 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LT0ライブラリセット (GQ-SGV00BL130RP)	¥2,463,000 (税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00L130RP)	¥1,458,000 (税別)

・ CA ARCserve Backup[®] バックアップソフトウェアセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。

- ・フックヤビ® ネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載「ライヴ」および拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバ「フックヤビ」を行う際は、必ずバ「フックヤビ」ア「リクシオン」の「ム」をご使用ください。
- ・本装置をOS「マント」(Linux「マント」.mt等)での使用は非「マント」となります。
- ・「マント」OS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/ltl_30a/index.html
上記OSのバ「フックヤビ」ア「リクシオン」の「ム」については、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バ「コード」ラベルが必須となります。必ずバ「コード」付カートリッジを使用願います。
- ・LT07「ライヴ」装置には、ソフト数分のLT0「ライヴ」を標準添付しております。必要に応じ媒体をセ「ム」を御購入ください。
尚、媒体セ「ム」の媒体には予めバ「コード」ラベル(No. 000001~000030；変更不可)が貼り付けられています。
- ・LT0「ライヴ」を追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LT07「ライヴ」装置の「テープ」ライヴ「リクシオン」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一「ライヴ」装置に異なる世代のデータ「ライヴ」を混在して搭載することはできません。バ「フックヤビ」ア「リクシオン」の「ム」が対応している必要があるため、対応の可否につきましては、お問い合わせください。
- ・LT0 Ultrium5「ライヴ」暗号化機能について
LT0 Ultrium5「ライヴ」にはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLT0 Ultrium4、LT0 Ultrium5カートリッジを使用する必要があります。LT0 Ultrium5のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バ「フックヤビ」ア「リクシオン」の「ム」が暗号化機能に対応している必要があります。
バ「フックヤビ」ア「リクシオン」の「ム」のLT0 Ultrium5「ライヴ」暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

・安定したパッカツ 業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。

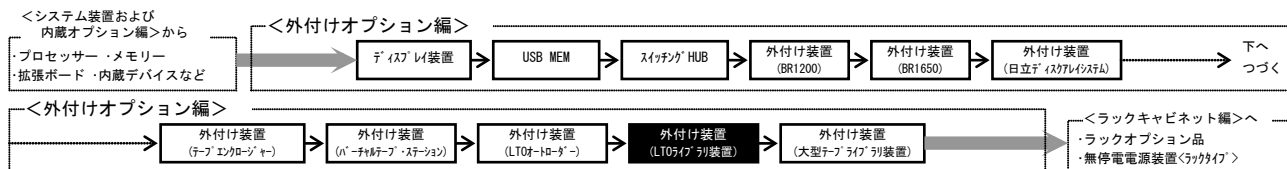
・空調機器の吹出し、他機器の排熱口、床通風口のそばに装置を置かないでください。風の影響でパッカツが装置内に混入、ドライブ・ヘッドに付着するとドライブ・ヘッドが故障し、パッカツがエアーになる場合があります。

・ボイラー機やペーヅリツク、ラインリツクの近くに装置を設置しないでください。ボイラー機やペーヅリツクから排出されるパヅ排気やラインリツクから発生する紙粉がドライブ・ヘッドに付着するとドライブ・ヘッドが故障し、パッカツがエアーになる場合があります。また、ボイラー機やペーヅリツクから排出されるパヅ排気やラインリツクから発生する紙粉がテープに付着すると、パッカツがエアーになる場合があります。

・設置場所の床表面には、かべツを使わないでください。かべツの繊維がほつれてドライブ 内に侵入しドライブ・ヘッドに付着すると、ドライブ・ヘッドが故障し、パッカツがエアーになる場合があります。

・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブ・ヘッドに付着するとドライブ・ヘッドが故障し、パッカツがエアーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえパッカツがエアーになる場合があります。

・装置に近くでは静電防止レや芳香剤を使わないでください。静電防止レや芳香剤の薬剤がドライブやテープ 表面に付着し、パッカツがエアーになる場合があります。



—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【SASポート】での単体接続】LT05ハイブリッドライブラリ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

選択 L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ 24(5年)接続用]

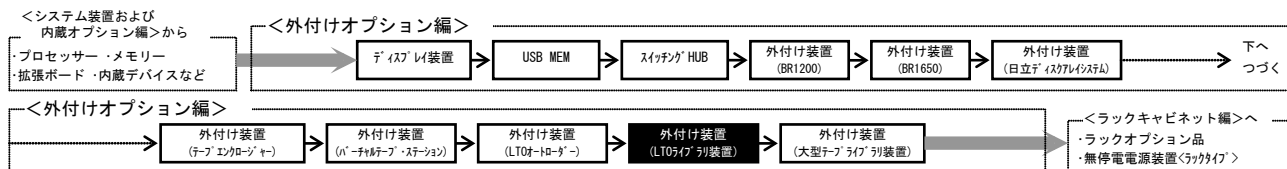
バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT05ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:1.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultrium-トリプル [LT0U5/1500])x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5LL130EP) ¥3,503,000(税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5LL130EP) ¥3,430,000(税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV55LL130EP) ¥3,359,000(税別)
	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD)(CD)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4LL130EP) ¥3,378,000(税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00LL130EP) ¥3,223,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT05ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:1.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultrium-トリプル [LT0U5/1500])x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5HL130EP) ¥3,332,000(税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5HL130EP) ¥3,259,000(税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV55HL130EP) ¥3,188,000(税別)
	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD)(CD)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4HL130EP) ¥3,206,000(税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00HL130EP) ¥3,052,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

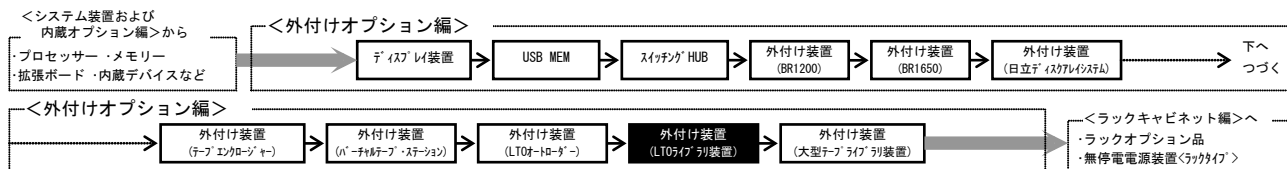
バックアップデバイス		x1本 x30巻		x1本	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮: 1.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m) x1本付き ・メディア(LTO Ultrium5-トリプル [LT0U5/1500]) x30巻付き		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮: 1.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m) x1本付き	
 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files		LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130EP)	¥2,843,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130EP)	¥1,838,000(税別)
 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option		LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL130EP)	¥2,770,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL130EP)	¥1,765,000(税別)
 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows		LTOライブラリセット (GQ-SGV55BL130EP)	¥2,699,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV55BL130EP)	¥1,694,000(税別)
 JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option		LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL130EP)	¥2,717,200(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL130EP)	¥1,712,200(税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130EP)	¥2,563,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130EP)	¥1,558,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスセットは、ARCserveバックアップサービス(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンションはありせん。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSマウント(Linuxコマンド:mt等)での使用は非推奨となります。
- ・メーカーOS:下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
上記OSのバックアップアプリケーションプログラムセットについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカードリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カードリッジを使用願います。
- ・LT0ライブラリ装置には、スロット数分のLT0カードリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体をセットしたテープを御購入ください。
尚、媒体セットテープの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001~000030;変更不可)が貼り付けられています。
- ・LT0カードリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LT0ライブラリ装置の「テープライブラリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカードリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましては、お問い合わせください。
- ・LT0 Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LT0 Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLT0 Ultrium4, LT0 Ultrium5カードリッジを使用する必要があります。LT0 Ultrium3のカードリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLT0 Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーヅプリンタ、ライブラリリタの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーヅプリンタから排出される粉じん排気やライブラリリタから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーヅプリンタから排出される粉じん排気やライブラリリタから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

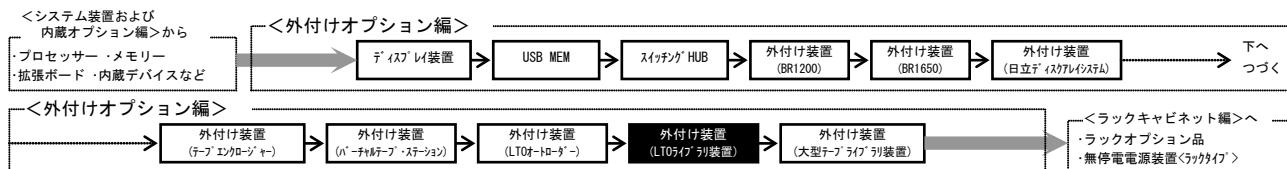
バックアップデバイス		LTOライブラリ装置 (x30巻)	LTOライブラリ装置 (x30巻)
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置 (LTO (非圧縮: 1.5TB), 30連装) ・メディア (LTO Ultriumカートリッジ [LT0U5/1500]) x30巻付き	LTOライブラリ装置 (LTO (非圧縮: 1.5TB), 30連装)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130RL) ¥3,085,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF51L130RL) ¥2,080,000 (税別)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL130RL) ¥3,012,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD51L130RL) ¥2,007,000 (税別)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGVS5BL130RL) ¥2,941,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVS51L130RL) ¥1,936,000 (税別)
(DVD) (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL130RL) ¥2,959,200 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB41L130RL) ¥1,954,200 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130RL) ¥2,805,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV001L130RL) ¥1,800,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスセットは、ARCserveソフトウェア(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド: mt等)での使用は非推奨となります。
- ・ホストOS: 下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
上記OSのバックアップアプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体をセットしたテープを御購入ください。
尚、媒体セットテープの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001~000030; 変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置の「テープライブラリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましては、お問い合わせください。
- ・LTO Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5カートリッジを使用する必要がありますが、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーजプリンタ、ライブラリリタの近くに装置を設置しないでください。コピー機やページプリンタから排出される粉じん排気やライブラリリタから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やページプリンタから排出される粉じん排気やライブラリリタから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がほつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—FCホスト経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【光ケーブル】での単体接続：FC直結接続】LT05ハイブリッドライブラリ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000 (税別) ※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000 (税別) ※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000 (税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000 (税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000 (税別)
※同一Rack内のみ接続可

選択 L1/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ 24 (5年) 接続用]

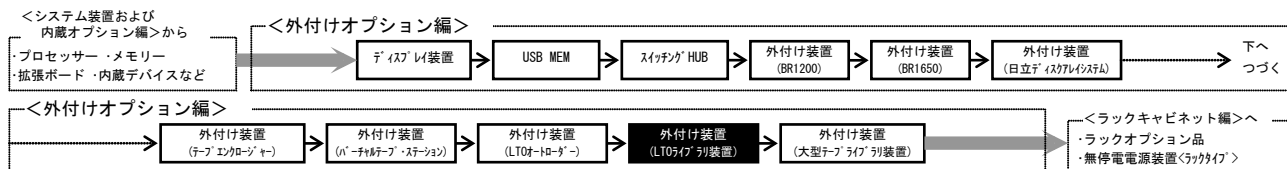
バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT05ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LTO (非圧縮: 1.5TB), 30連装] ・対応 LTO Ultriumカーtridge [LT005/1500] x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT05ライブラリセット (GQ-SGVF5LL130EL) ¥3,972,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT05ライブラリセット (GQ-SGVD5LL130EL) ¥3,899,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT05ライブラリセット (GQ-SGV55LL130EL) ¥3,828,000 (税別)
	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD) (CD)	LT05ライブラリセット (GQ-SGVB4LL130EL) ¥3,846,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT05ライブラリセット (GQ-SGV00LL130EL) ¥3,692,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveホストライセンス(1年分)が付属します。

L1/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT05ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LTO (非圧縮: 1.5TB), 30連装] ・対応 LTO Ultriumカーtridge [LT005/1500] x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT05ライブラリセット (GQ-SGVF5HL130EL) ¥3,769,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT05ライブラリセット (GQ-SGVD5HL130EL) ¥3,696,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT05ライブラリセット (GQ-SGV55HL130EL) ¥3,625,000 (税別)
	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD) (CD)	LT05ライブラリセット (GQ-SGVB4HL130EL) ¥3,643,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT05ライブラリセット (GQ-SGV00HL130EL) ¥3,489,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveホストライセンス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

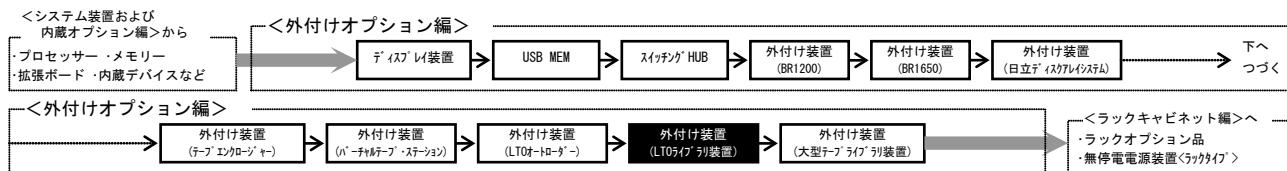
バックアップデバイス		x30巻		x30巻	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0(非圧縮:1.5TB), 30連装] ・メディア(LTO Ultrium-1) x30巻付き		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0(非圧縮:2.5TB), 30連装]	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF58L130EL)	¥3,185,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF51L130EL)	¥2,180,000(税別)
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD58L130EL)	¥3,112,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD51L130EL)	¥2,107,000(税別)
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGVS58L130EL)	¥3,041,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVS51L130EL)	¥2,036,000(税別)
 (DVD)  (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB48L130EL)	¥3,059,200(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB41L130EL)	¥2,054,200(税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV008L130EL)	¥2,905,000(税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV001L130EL)	¥1,900,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスセットは、ARCserveソフトウェア(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド:mt等)での使用は非推奨となります。
- ・メーカーOS:下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
上記OSのバックアップアプリケーションプログラムセットについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体を別売のものを御購入ください。
尚、媒体セットのラベルの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001～000030;変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置の「テープライブラリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のメディアカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましては、お問い合わせください。
- ・LTO Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5カートリッジを使用する必要がありますが、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライブラリリットの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライブラリリットから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライブラリリットから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはみ出てドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【SASポート】での単体接続】LTO6ハイブリッドライブラリ搭載モデル

選択

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ 24(5年)接続用]

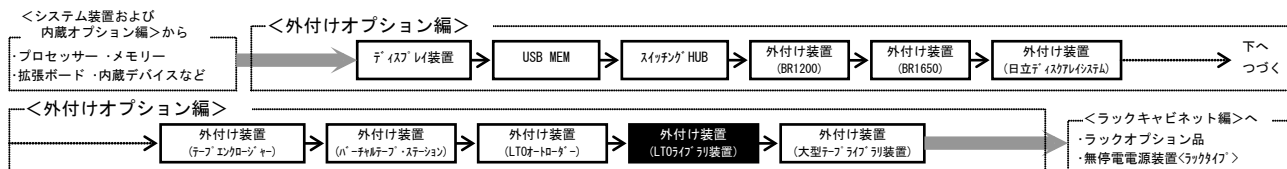
バックアップデバイス		x1本 x30巻
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置 [LTO (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m) x1本付き ・メディア(LTO Ultrium6-トリプル) [LT0U6/2500] x30巻付き
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5LL130RR)	¥4,133,000(税別)
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5LL130RR)	¥4,060,000(税別)
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55LL130RR)	¥3,989,000(税別)
(DVD1枚) JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4LL130RR)	¥4,007,000(税別)
バックアップソフトウェアなし	LTOライブラリセット (GQ-SGV00LL130RR)	¥3,853,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスは、ARCserveソフトウェア(1年分)が付属します。

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス		x1本 x30巻
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置 [LTO (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m) x1本付き ・メディア(LTO Ultrium6-トリプル) [LT0U6/2500] x30巻付き
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5HL130RR)	¥3,953,000(税別)
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5HL130RR)	¥3,880,000(税別)
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55HL130RR)	¥3,809,000(税別)
(DVD1枚) JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4HL130RR)	¥3,827,000(税別)
バックアップソフトウェアなし	LTOライブラリセット (GQ-SGV00HL130RR)	¥3,673,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスは、ARCserveソフトウェア(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

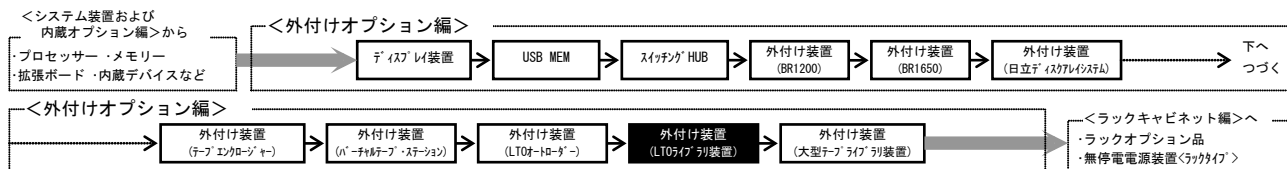
バックアップデバイス		LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [標準モデル接続用]	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [標準モデル接続用]	LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [標準モデル接続用]
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)		LTOライブラリ装置 (LTO (非圧縮: 2.5TB), 30連装) ・SASケーブル (2.0m) x1本付き ・メディア (LTO Ultrium6) x30巻付き	LTOライブラリ装置 (LTO (非圧縮: 2.5TB), 30連装) ・SASケーブル (2.0m) x1本付き
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130RR) ¥3,438,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130RR) ¥1,938,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL130RR) ¥3,365,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL130RR) ¥1,865,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGV55BL130RR) ¥3,294,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV55BL130RR) ¥1,794,000 (税別)
JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL130RR) ¥3,312,200 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL130RR) ¥1,812,200 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130RR) ¥3,158,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130RR) ¥1,658,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスは、ARCserveソフトウェア(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロン型はありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載タイプおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド等)での使用は非推奨となります。
- ・サポートOS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
- ・上記OSのバックアップアプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体をセレクトしたモデルを御購入ください。尚、媒体セットの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001～000030：変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置のテープライブラリ導入サービスについては、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium6ライブラリ暗号化機能について
LTO Ultrium6ライブラリにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5, LTO Ultrium6カートリッジを使用する必要があります。LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium6ライブラリ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライティングの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉塵やライティングから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉塵やライティングから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がほつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止剤や芳香剤を使わないでください。静電防止剤や芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【SASポート】での単体接続】LT06ハイブリッドライブラリ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

選択 L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ 24(5年)接続用]

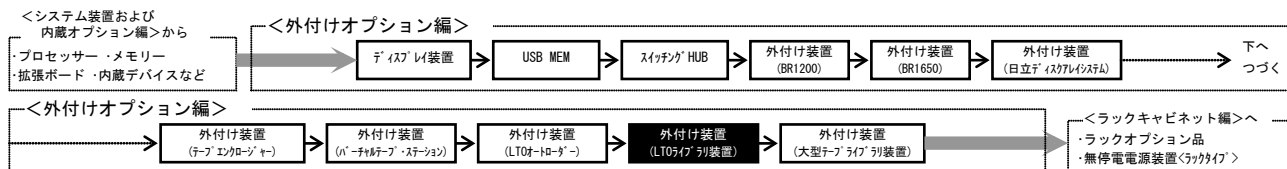
バックアップデバイス		x1本 x30巻
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:2.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultrium)カートリッジ [LT0U6/2500] x30巻付き
(DVD) 枚 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5LL130ER)	¥4,268,000(税別)
(DVD) 枚 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5LL130ER)	¥4,195,000(税別)
(DVD) 枚 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55LL130ER)	¥4,124,000(税別)
(DVD) 枚 JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4LL130ER)	¥4,143,000(税別)
バックアップソフトウェアなし	LTOライブラリセット (GQ-SGV00LL130ER)	¥3,988,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイスセットは、ARCserve標準サポート(1年分)が付属します。

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス		x1本 x30巻
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:2.5TB), 30連装] ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultrium)カートリッジ [LT0U6/2500] x30巻付き
(DVD) 枚 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5HL130ER)	¥4,080,000(税別)
(DVD) 枚 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5HL130ER)	¥4,007,000(税別)
(DVD) 枚 CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55HL130ER)	¥3,936,000(税別)
(DVD) 枚 JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4HL130ER)	¥3,954,000(税別)
バックアップソフトウェアなし	LTOライブラリセット (GQ-SGV00HL130ER)	¥3,800,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイスセットは、ARCserve標準サポート(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

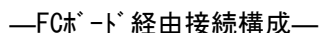
バックアップデバイス		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 【LTO(非圧縮:2.5TB)・30連装】 ・SASケーブル(2.0m)x1本付き ・メディア(LTO Ultrium6カートリッジ [LT06/2500])x30巻付き		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 【LTO(非圧縮:2.5TB)・30連装】 ・SASケーブル(2.0m)x1本付き	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130ER)		LTOライブラリセット (GQ-SGVF51L130ER)	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	¥3,538,000(税別)		¥2,038,000(税別)	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	¥3,465,000(税別)		¥1,965,000(税別)	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	¥3,394,000(税別)		¥1,894,000(税別)	
 (DVD)	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	¥3,412,200(税別)		¥1,912,200(税別)	
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130ER)		LTOライブラリセット (GQ-SGV00L130ER)	
		¥3,258,000(税別)		¥1,758,000(税別)	

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスセットは、ARCserveバックアップサービス(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載タイプおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド等)での使用は非推奨となります。
- ・サポートOS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
- ・上記OSのバックアップアプリケーションプログラムセットについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体を別購入してください。
尚、媒体セットの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001～000030：変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置のテープライブラリ導入サービスについては、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium6ライブラリ暗号化機能について
LTO Ultrium6ライブラリにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5, LTO Ultrium6カートリッジを使用する必要があり、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium6ライブラリ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライブラリリットの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉塵やライブラリリットから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉塵やライブラリリットから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がほつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



- ・ Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserver16.5のみでのサポートとなります。

RS220 AN[長期保守対応モデル]

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)		
(GV-LT1LL02NA)	[2m]	¥14,000 (税別) ※
(GV-LT1LL05NA)	[5m]	¥15,000 (税別) ※
(GV-LT1LL15NA)	[15m]	¥19,000 (税別)
(GV-LT1LL50NA)	[50m]	¥100,000 (税別)
(GV-LT1LL100NA)	[100m]	¥150,000 (税別)

※同一Rack内のみ接続可

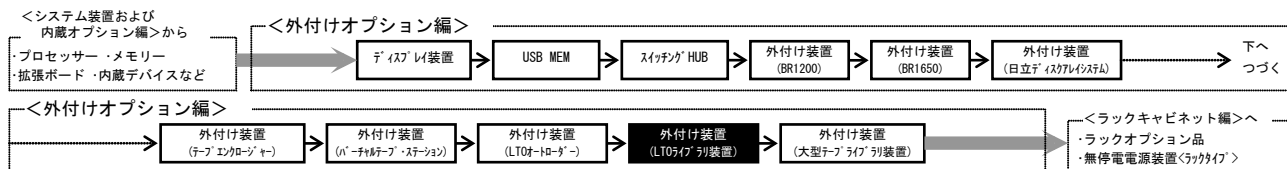
選択 — L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ24(5年)接続用]

バックアップデバイス		 LTOライブラリ装置 x30巻 [LTO (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・デイト(LTO Ultrium-トリッジ [LTO6/2500]) x30巻付き	
バックアップソフトウェア			
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (G0-SGVF5LL130R)	¥4,602,000(税別)
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (G0-SGVDSLL130R)	¥4,529,000(税別)
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (G0-SGVSSL130R)	¥4,458,000(税別)
 (DVD)  (CD)	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (G0-SGVB4LL130R)	¥4,476,000(税別)
	バックアップソフトウェアなし	LTOライブラリセット (G0-SGV00LL130R)	¥4,322,000(税別)

・CA ARCserve Backup[®]ソフトウェアのインストールは、ARCserve[®]サポートサービス(1年分)が付属します。

バックアップデバイス		 LTOライブラリ装置 x30巻 [LTO (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・対応 LTO Ultrium4+対応 [LTOU6/2500] x30巻付き	
バックアップソフトウェア			
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files		LTOライブラリセット (G0-SGVF5HL130R)	¥4,391,000 (税別)
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option		LTOライブラリセット (G0-SGV5HL130R)	¥4,318,000 (税別)
(DVD1枚) CA ARCserve Backup r16.5 for Windows		LTOライブラリセット (G0-SGV5SHL130R)	¥4,247,000 (税別)
(DVD) (CD) JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option		LTOライブラリセット (G0-SGV64HL130R)	¥4,265,000 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (G0-SGV00HL130R)	¥4,111,000 (税別)

・CA ARCserve Backup[®]ソフトのバックアップ・リカバリセットは、ARCserve[®]サポートサービス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

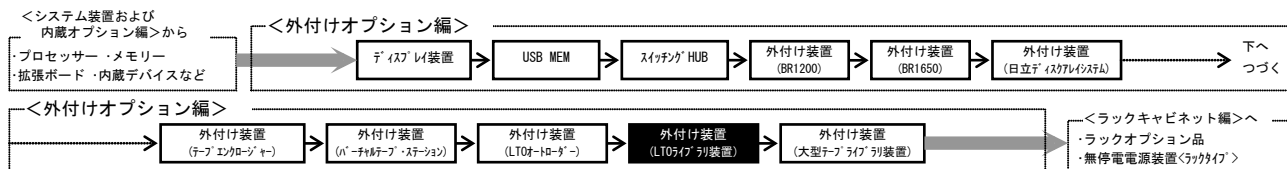
バックアップデバイス		x30巻	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置 [LT0 (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・メディア (LTO Ultrium-1) x30巻付き	LTOライブラリ装置 [LT0 (非圧縮: 2.5TB), 30連装]
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL130RQ) ¥3,780,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5L130RQ) ¥2,280,000 (税別)
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL130RQ) ¥3,707,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5L130RQ) ¥2,207,000 (税別)
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGVS5BL130RQ) ¥3,636,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVS5L130RQ) ¥2,136,000 (税別)
 (DVD)  (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL130RQ) ¥3,654,200 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4L130RQ) ¥2,154,200 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL130RQ) ¥3,500,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV00L130RQ) ¥2,000,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスセットは、ARCserveソフトウェア(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド等)での使用は非推奨となります。
- ・サポートOS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
- ・上記OSのバックアップアプリケーションプログラムセットについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体を別売品としてご購入ください。
尚、媒体セットの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001～000030：変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムズより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置のテープドライブの導入サービスについては、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium6ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium6ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5, LTO Ultrium6カートリッジを使用する必要があります。LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium6ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーじプリンタ、ライブラリなどの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーじプリンタから排出される粉じん排気やライブラリから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーじプリンタから排出される粉じん排気やライブラリから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がほつれてドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—FCポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【光ケーブル】での単体接続：FC直結接続】LT06ハーフハイトライブラリ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000 (税別) ※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000 (税別) ※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000 (税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000 (税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000 (税別)
※同一Rack内のみ接続可

選択 L1/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ 24 (5年) 接続用]

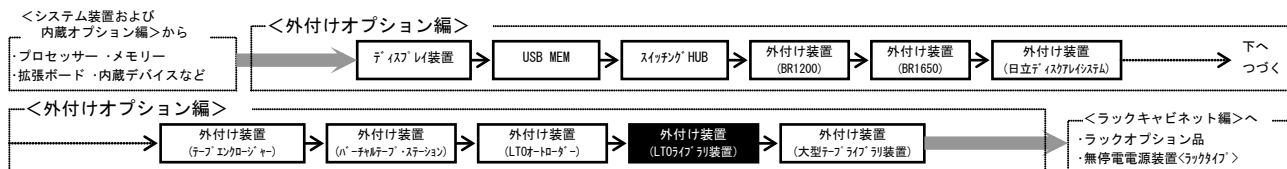
バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT06ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・対応 LT0 Ultrium6-トリッジ [LT0U6/2500]] x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5LL130EQ) ¥4,737,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5LL130EQ) ¥4,664,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV55LL130EQ) ¥4,593,000 (税別)
	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD) (CD)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4LL130EQ) ¥4,611,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00LL130EQ) ¥4,457,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveネットワークエディション(1年分)が付属します。

L1/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT06ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮: 2.5TB), 30連装] ・対応 LT0 Ultrium6-トリッジ [LT0U5/2500]] x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5HL130EQ) ¥4,517,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5HL130EQ) ¥4,444,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV55HL130EQ) ¥4,373,000 (税別)
	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD) (CD)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4HL130EQ) ¥4,391,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00HL130EQ) ¥4,237,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveネットワークエディション(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L1/30A LT0ライブラリ装置(Ultrium6) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

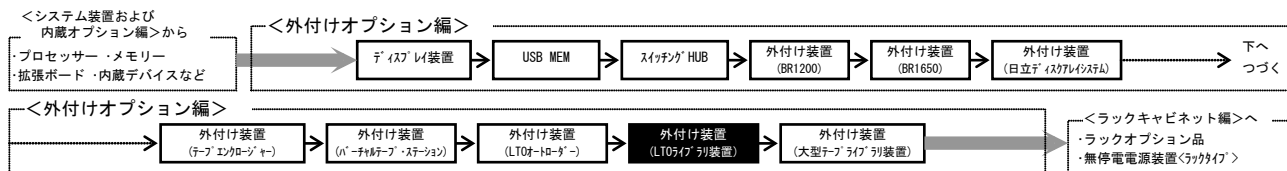
バックアップデバイス		
バックアップソフトウェア		
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)	LT0ライブラリ装置【冗長電源付き】 (LT0(非圧縮:2.5TB),30連装) ・メディア(LTO Ultriumカートリッジ [LT0U6/2500]) x30巻付き	LT0ライブラリ装置【冗長電源付き】 (LT0(非圧縮:2.5TB),30連装)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5BL130EQ) ¥3,880,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5L130EQ) ¥2,380,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5BL130EQ) ¥3,807,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5L130EQ) ¥2,307,000(税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD1枚)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVS5BL130EQ) ¥3,736,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVS5L130EQ) ¥2,236,000(税別)
バックアップソフトウェアなし	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00BL130EQ) ¥3,600,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00L130EQ) ¥2,100,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイスセットは、ARCserveソフト(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド等)での使用は非推奨となります。
- ・サポートOS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
- ・上記OSのバックアップアプリケーションプログラムセットについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LT0ライブラリ装置には、スロット数分のLT0カートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体をセットしたものを御購入ください。
尚、媒体セットの媒体には予めバーコードラベル(No.000001～000030：変更不可)が貼り付けられています。
- ・LT0カートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムズより御購入ください。
- ・LT0ライブラリ装置のテープドライブの導入サービスについては、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LT0 Ultrium6ドライブ暗号化機能について
LT0 Ultrium6ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLT0 Ultrium4, LT0 Ultrium5, LT0 Ultrium6カートリッジを使用する必要があり、LT0 Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLT0 Ultrium6ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LT0ライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ラインリットの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やラインリットから発生する紙粉がドライブヘッドに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やラインリットから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはみ出てドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【SASポート】での単体接続】LT05n-ファイトドライブ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

選択 L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ 24(5年)接続用]

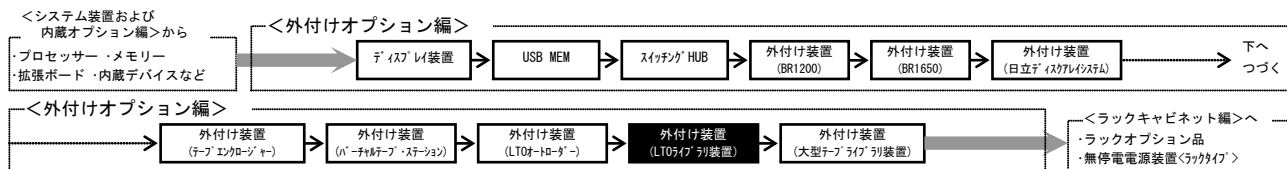
バックアップデバイス		バックアップソフトウェア	LT0ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0(非圧縮:1.5TB)x2ドライブ,30連装] ・SASポート(2.0m)x2本付き ・ドライブ(LTO Ultrium5-トリプル[LTOU5/1500])x30巻付き
(DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5LL230EP)	¥5,214,000(税別)
(DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5LL230EP)	¥5,141,000(税別)
(DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LT0ライブラリセット (GQ-SGV55LL230EP)	¥5,070,000(税別)
(DVD)(CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4LL230EP)	¥5,113,000(税別)
バックアップソフトウェアなし		LT0ライブラリセット (GQ-SGV00LL230EP)	¥4,814,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。

L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [おまかせ安心モデルⅡ (5年)接続用]

バックアップデバイス		バックアップソフトウェア	LT0ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0(非圧縮:1.5TB)x2ドライブ,30連装] ・SASポート(2.0m)x2本付き ・ドライブ(LTO Ultrium5-トリプル[LTOU5/1500])x30巻付き
(DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5HL230EP)	¥4,942,000(税別)
(DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5HL230EP)	¥4,869,000(税別)
(DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LT0ライブラリセット (GQ-SGV55HL230EP)	¥4,798,000(税別)
(DVD)(CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4HL230EP)	¥4,842,000(税別)
バックアップソフトウェアなし		LT0ライブラリセット (GQ-SGV00HL230EP)	¥4,542,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

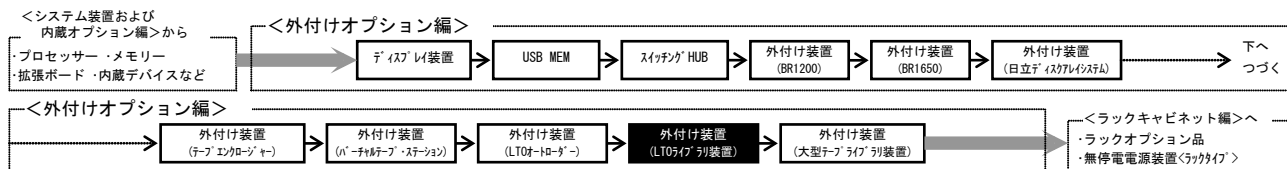
バックアップデバイス		LTOライブラリ装置 (Ultrium5) x2本 x30巻		LTOライブラリ装置 (Ultrium5) x2本 x30巻	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置 【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮: 1.5TB) x2ドライブ, 30巻装] ・SASケーブル (2.0m) x2本付き ・メディア (LTO Ultrium5-トリプル [LT05/1500]) x30巻付き		LTOライブラリ装置 【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮: 1.5TB) x2ドライブ, 30巻装] ・SASケーブル (2.0m) x2本付き	
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL230EP)	¥4,145,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL230EP)	¥3,140,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL230EP)	¥4,072,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL230EP)	¥3,067,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGV55BL230EP)	¥4,001,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV55BL230EP)	¥2,996,000 (税別)
JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD1枚)		LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL230EP)	¥4,044,500 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL230EP)	¥3,039,500 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL230EP)	¥3,745,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL230EP)	¥2,740,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスは、ARCserveバックアップサービス(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSマウント(Linuxコマンド: mt等)での使用は非推奨となります。
- ・推奨OS: 下記表にて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
上記OSのバックアップアプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカードリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カードリッジを使用願います。
- ・LT0ライブラリ装置には、スロット数分のLT0カードリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体を別売のものを御購入ください。
尚、媒体セットの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001~000030; 変更不可)が貼り付けられています。
- ・LT0カードリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LT0ライブラリ装置の「テープライブラリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のカードリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LT0 Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LT0 Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLT0 Ultrium4, LT0 Ultrium5カードリッジを使用する必要がありますが、LT0 Ultrium3のカードリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLT0 Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライブラリリットの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライブラリリットから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライブラリリットから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはみ出てドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—FCポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【「光ケーブル」での単体接続：FC直結接続】LT05ハイブリッドライブラリ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000 (税別) ※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000 (税別) ※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000 (税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000 (税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000 (税別)
※同一Rack内のみ接続可
・FCケーブルは2本必要です。

選択 L2/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium5) 【おまかせ安心モデルⅡ 24 (5年) 接続用】

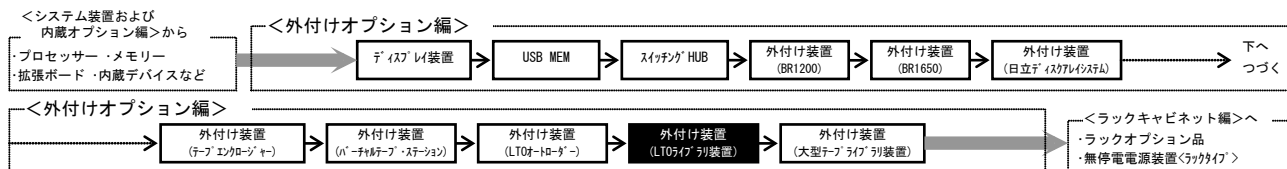
バックアップデバイス		x30巻
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:1.5TB) x2ドライブ、30連装] ・対応 LT0 Ultrium 5-トリプル [LT0U5/1500] x30巻付き
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5LL230EL) ¥6,254,000 (税別)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5LL230EL) ¥6,181,000 (税別)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55LL230EL) ¥6,110,000 (税別)
(DVD) (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGB4LL230EL) ¥6,154,000 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00LL230EL) ¥5,854,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイセットは、ARCserveネットワークエクスプレス(1年分)が付属します。

L2/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium5) 【おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用】

バックアップデバイス		x30巻
バックアップソフトウェア		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:1.5TB) x2ドライブ、30連装] ・対応 LT0 Ultrium 5-トリプル [LT0U5/1500] x30巻付き
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5HL230EL) ¥5,914,000 (税別)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5HL230EL) ¥5,841,000 (税別)
(DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55HL230EL) ¥5,770,000 (税別)
(DVD) (CD)	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGB4HL230EL) ¥5,814,000 (税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00HL230EL) ¥5,514,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイセットは、ARCserveネットワークエクスプレス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium5) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

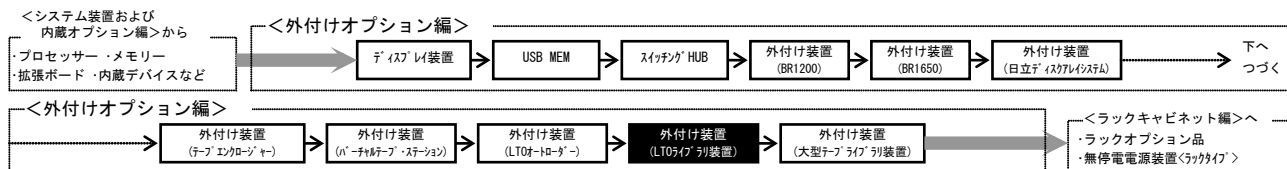
バックアップソフトウェア	バックアップデバイス	
	LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 【LT0 (非圧縮:1.5TB) x2ドライブ, 30連装】 ・ドライブ (LTO Ultriumカートリッジ [LT0U5/1500]) x30巻付き	LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 【LT0 (非圧縮:1.5TB) x2ドライブ, 30連装】
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL230EL) ¥4,905,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVF51L230EL) ¥3,900,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5BL230EL) ¥4,832,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVD51L230EL) ¥3,827,000 (税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGVS5BL230EL) ¥4,761,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVS51L230EL) ¥3,756,000 (税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4BL230EL) ¥4,804,500 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGVB41L230EL) ¥3,799,500 (税別)
バックアップソフトウェアなし	LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL230EL) ¥4,505,000 (税別)	LTOライブラリセット (GQ-SGV001L230EL) ¥3,500,000 (税別)

・CA ARCserve Backupのインストールのバックアップデバイスセットは、ARCserveのサポートサービス(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド:mt等)での使用は非推奨となります。
- ・オペレーティングシステム:下記にて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
上記OSのバックアップアプリケーションプログラムのインストールについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体を別売のものを御購入ください。
尚、媒体セットのラベルの媒体には予めバーコードラベル(No. 000001～000030; 変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置の「テープライブリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5カートリッジを使用する必要がありますが、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライティングの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライティングから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライティングから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはみ出てドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【【SASポート】での単体接続】LT06非圧縮ドライブ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

選択 L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ 24(5年)接続用]

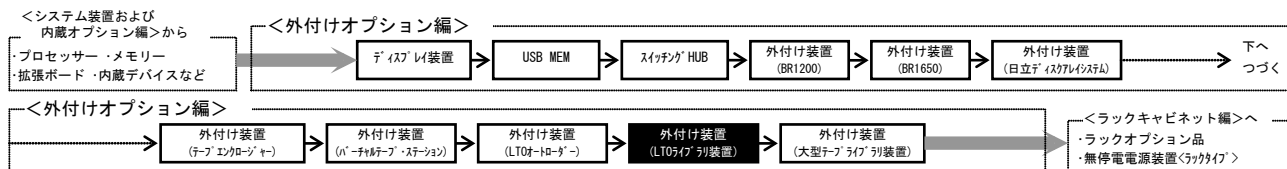
バックアップデバイス		
バックアップソフトウェア		 x2本  LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:2.5TB) x2ドライブ, 30連装] ・SASポート (2.0m) x2本付き ・メディア (LTO Ultriumカセット) [LT06/2500] x30巻付き
 (DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5LL230ER) ¥6,519,000(税別)
 (DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5LL230ER) ¥6,446,000(税別)
 (DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55LL230ER) ¥6,375,000(税別)
 (DVD) 枚	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4LL230ER) ¥6,419,000(税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00LL230ER) ¥6,119,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。

L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス		
バックアップソフトウェア		 x2本  LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0 (非圧縮:2.5TB) x2ドライブ, 30連装] ・SASポート (2.0m) x2本付き ・メディア (LTO Ultriumカセット) [LT06/2500] x30巻付き
 (DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LTOライブラリセット (GQ-SGVF5HL230ER) ¥6,196,000(税別)
 (DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVD5HL230ER) ¥6,123,000(税別)
 (DVD) 枚	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LTOライブラリセット (GQ-SGV55HL230ER) ¥6,052,000(税別)
 (DVD) 枚	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LTOライブラリセット (GQ-SGVB4HL230ER) ¥6,096,000(税別)
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00HL230ER) ¥5,796,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L2/30A LTOライブラリ装置(Ultrium6) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

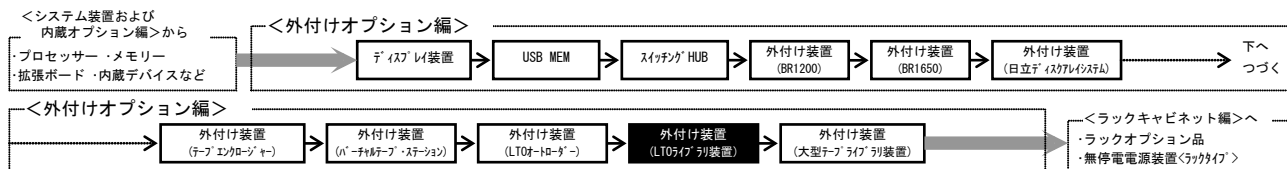
バックアップデバイス		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 【LTO (非圧縮: 2.5TB) x2ドライブ, 30連装】 ・SASケーブル(2.0m) x2本付き ・メディア(LTO Ultrium6-トリッジ [LT06/2500]) x30巻付き		LTOライブラリ装置【冗長電源付き】 【LTO (非圧縮: 2.5TB) x2ドライブ, 30連装】 ・SASケーブル(2.0m) x2本付き	
バックアップソフトウェア		LTOライブラリセット (GQ-SGVF5BL230ER)		LTOライブラリセット (GQ-SGVF5L230ER)	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	¥5,240,000 (税別)		¥3,740,000 (税別)	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	¥5,167,000 (税別)		¥3,667,000 (税別)	
 (DVD1枚)	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	¥5,096,000 (税別)		¥3,596,000 (税別)	
 (DVD)	JPI/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	¥5,139,500 (税別)		¥3,639,500 (税別)	
バックアップソフトウェアなし		LTOライブラリセット (GQ-SGV00BL230ER)		LTOライブラリセット (GQ-SGV00L230ER)	
		¥4,840,000 (税別)		¥3,340,000 (税別)	

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイスセットは、ARCserveバックアップサービス(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド等)での使用は非推奨となります。
- ・サポートOS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
- ・上記OSのバックアップアプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライブラリ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体をセットしたテープを購入してください。
尚、媒体セットのテープには予めバーコードラベル(No. 000001～000030：変更不可)が貼り付けられています。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライブラリ装置のテープライブラリ導入サービスについては、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium6ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium6ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5, LTO Ultrium6カートリッジを使用する必要があります。LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium6ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LTOライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライティングの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライティングから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉じん排気やライティングから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはみ出てドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止剤や芳香剤を使わないでください。静電防止剤や芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—FCポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【「光ケーブル」での単体接続：FC直結接続】LT06ハイブリッドライブラリ搭載モデル【冗長電源対応モデル】

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000 (税別) ※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000 (税別) ※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000 (税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000 (税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000 (税別)
※同一Rack内のみ接続可
・FCケーブルは2本必要です。

選択 L2/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ 24 (5年) 接続用]

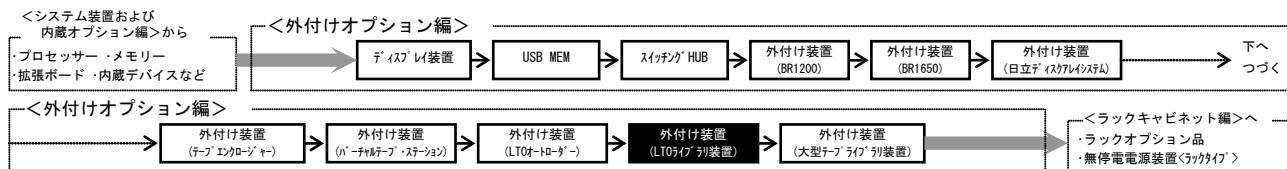
バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT06ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT06 (非圧縮: 2.5TB) x24 (ライブラリ: 30 連続)] ・対応 LT06 Ultrium6-トリプル [LT06/2500] x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1 枚)	LT06ライブラリセット (GQ-SGVF5LL230EQ) ¥7,289,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1 枚)	LT06ライブラリセット (GQ-SGVD5LL230EQ) ¥7,216,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1 枚)	LT06ライブラリセット (GQ-SGV55LL230EQ) ¥7,145,000 (税別)
	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD) (CD)	LT06ライブラリセット (GQ-SGB4LL230EQ) ¥7,189,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT06ライブラリセット (GQ-SGV00LL230EQ) ¥6,889,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。

L2/30A LTOライブラリ装置 (Ultrium6) [おまかせ安心モデルⅡ (5年) 接続用]

バックアップデバイス	バックアップソフトウェア	価格
LT06ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT06 (非圧縮: 2.5TB) x24 (ライブラリ: 30 連続)] ・対応 LT06 Ultrium6-トリプル [LT06/2500] x30巻付き	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files (DVD1 枚)	LT06ライブラリセット (GQ-SGVF5HL230EQ) ¥6,915,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option (DVD1 枚)	LT06ライブラリセット (GQ-SGVD5HL230EQ) ¥6,842,000 (税別)
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows (DVD1 枚)	LT06ライブラリセット (GQ-SGV55HL230EQ) ¥6,771,000 (税別)
	JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option (DVD) (CD)	LT06ライブラリセット (GQ-SGB4HL230EQ) ¥6,814,000 (税別)
	バックアップソフトウェアなし	LT06ライブラリセット (GQ-SGV00HL230EQ) ¥6,515,000 (税別)

・CA ARCserve Backupソフトウェアのバックアップデバイセットは、ARCserveサポートサービス(1年分)が付属します。



・表記の価格は、希望小売価格です。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

L2/30A LT0ライブラリ装置(Ultrium6) [標準モデル接続用]

＜無償保証サービス(1年目出張修理)＞

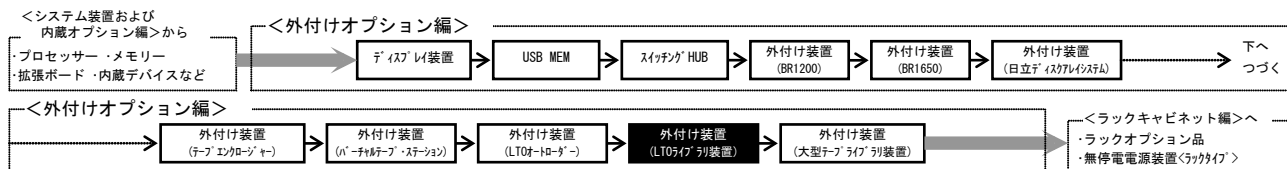
バックアップデバイス	x30巻	
	LT0ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0(非圧縮:2.5TB)x2ドライブ,30連装] ・ドライブ(LTO Ultriumカートリッジ [LT0U6/2500])x30巻付き	LT0ライブラリ装置【冗長電源付き】 [LT0(非圧縮:2.5TB)x2ドライブ,30連装]
バックアップソフトウェア		
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option + Agent for Open Files	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF5BL230EQ) ¥5,800,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVF51L230EQ) ¥4,300,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows + Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD5BL230EQ) ¥5,727,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVD51L230EQ) ¥4,227,000(税別)
CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	LT0ライブラリセット (GQ-SGVS5BL230EQ) ¥5,256,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVS51L230EQ) ¥4,156,000(税別)
JP1/VERITAS Backup Exec 2012 + Advanced Open File Option + Simplified Disaster Recovery Option	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB4BL230EQ) ¥5,699,500(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGVB41L230EQ) ¥4,199,500(税別)
バックアップソフトウェアなし	LT0ライブラリセット (GQ-SGV00BL230EQ) ¥5,400,000(税別)	LT0ライブラリセット (GQ-SGV001L230EQ) ¥3,900,000(税別)

・CA ARCserve Backupソフトのバックアップデバイスセットは、ARCserveソフトライセンス(1年分)が付属します。

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・本装置は搭載ドライブおよび拡張筐体の増設は出来ません。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド等)での使用は非推奨となります。
- ・サポートOS：下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l1_30a/index.html
- ・上記OSのバックアップアプリケーションプログラムセットについては、お問い合わせください。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LT0ドライブ装置には、スロット数分のLT0カートリッジを標準添付しておりません。必要に応じ媒体をセレクトしたモデルを御購入ください。
尚、媒体セットモデルの媒体には予めバーコードラベル(No.000001～000030：変更不可)が貼り付けられています。
- ・LT0カートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムズより御購入ください。
- ・LT0ドライブ装置のテープドライブリ導入サービスについては、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ドライブ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LT0 Ultrium6ドライブ暗号化機能について
LT0 Ultrium6ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLT0 Ultrium4, LT0 Ultrium5, LT0 Ultrium6カートリッジを使用する必要があります。LT0 Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLT0 Ultrium6ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。

LT0ライブラリ装置の設置環境について

- ・安定したバックアップ業務を行うためには、装置の設置場所を十分に考慮してください。特に、以下のような場所に装置を設置する場合は注意が必要です。
- ・空調機器の吹出口、他機器の排熱口、床通風孔のそばに装置を置かないでください。風の影響でホコリが装置内に混入、ドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・コピー機やペーシングリット、ライブラリリットの近くに装置を設置しないでください。コピー機やペーシングリットから排出される粉塵やライブラリリットから発生する紙粉がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、コピー機やペーシングリットから排出される粉塵やライブラリリットから発生する紙粉がテープに付着すると、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・設置場所の床表面には、カーペットを使わないでください。カーペットの繊維がはみ出てドライブ内に侵入しドライブヘッドに付着すると、ドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。
- ・超音波加湿器のある部屋には装置を設置しないでください。超音波加湿器から発生する塩素粉塵がドライブヘッドに付着するとドライブヘッドが故障し、バックアップがエラーになる場合があります。また、超音波加湿器から発生する塩素粉塵がテープに付着すると、テープに損傷をあたえバックアップがエラーになる場合があります。
- ・装置に近くでは静電防止スプレーや芳香剤を使わないでください。静電防止スプレーや芳香剤の薬剤がドライブやテープ表面に付着し、バックアップがエラーになる場合があります。



—SASポート経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【[SASケーブル]での単体接続】LT05テープライブラリ搭載モデル

SASケーブル [2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可
・SASケーブルはドライバ数分必要です。

テープライブラリ装置 L20 / 300



テープライブラリ装置
基本モジュール(ラックマウント:3U)
(GV-FT1L300BM30P) ¥5,950,000(税別)
最小構成(ラックマウント:3U)
・1~2ドライブまで搭載可
・30スロット
・非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium5:45TB
最大構成(ラックマウント:5U)
・1~4ドライブまで搭載可
・60スロット
・非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium5:90TB(60スロット時)

選択

オプション選択 (必須ではありません)

拡張モジュール【電源付き】(ラックマウント:2U):最大1モジュールまで
(搭載ドライバ1~2ドライブ, 搭載スロット→30スロット)
(GV-FT1L300EMPS) ¥1,200,000(税別)

ドライブ

※ドライブ1台につき1本必要

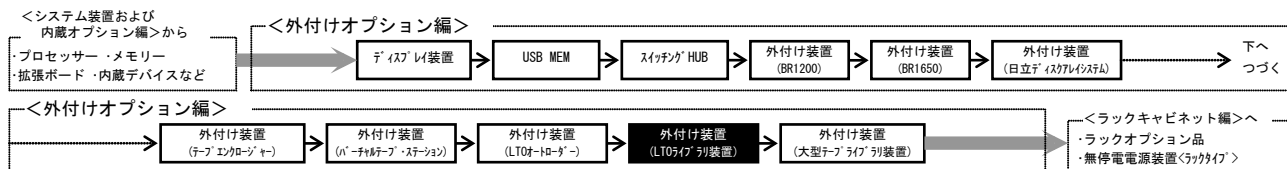
SASケーブル [2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可

LTO Ultrium5ドライブ (6Gbps SAS)
(1.5TB, 140MB/s)
(GV-FT1L300LT5P) ¥2,650,000(税別)
拡張モジュール(ラックマウント:2U):最大1モジュールまで
(搭載スロット→30スロット)
(GV-FT1L300EM) ¥1,000,000(税別)

【LTO5カートリッジ】

手配形名	価格	スロット数	ラベル表示文字(十進数)	備考
GV-FT1LT5TP30	¥1,200,000(税別)	30巻	000001 ~ 000030	LTO Ultrium5 非圧縮時:1.5TB
GV-FT1LT5TP50	¥2,000,000(税別)	50巻	000001 ~ 000050	
GV-FT1LT5TP100	¥4,000,000(税別)	100巻	000001 ~ 000100	

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・基本モジュールは必ず本装置の最上段に搭載してください。
- ・上から基本モジュール、拡張モジュール(電源付き)、拡張モジュール(電源なし)の順に搭載してください。入れ換え不可です。
- ・LT0ドライブを増設する場合は、上部から連続して搭載してください。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド:mt等)での使用は、非サポートとなります。
- ・サポートOS: 下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/lt20_300/index.html
上記OSのバックアップ・アプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・HA8000側に搭載するSASポートの必要なポート数は、テープライブラリ装置のドライブ1台あたり1ポートです。
- ・本装置は、複数サーバでのライブラリ共有はできません。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LT0ライブラリ装置には、スロット数分のLT0カートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体を御購入ください。
- ・LT0カートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LT0ライブラリ装置の「テープライブラリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライブラリ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4、LTO Ultrium5カートリッジを使用する必要があり、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。
バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。



—SASポート 経由接続構成—

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]

RS220 AN[長期保守対応モデル]

【[SASケーブル]での単体接続】LTO6ハーフライヴ搭載モデル

SASケーブル [2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可
・SASケーブルはドライブ数分必要です。

テープライブラリ装置 L20 / 300



テープライブラリ装置
基本モジュール(ラックマウント:3U)
(GV-FT1L300BM30R) ¥6,480,000(税別)

最小構成(ラックマウント:3U)
・1~2ドライブまで搭載可
・30スロット
非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium6:75TB

最大構成(ラックマウント:5U)
・1~4ドライブまで搭載可
・60スロット
非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium6:150TB(60スロット時)

選択

オプション選択 (必須ではありません)

拡張モジュール【電源付き】(ラックマウント:2U):最大1モジュールまで
(搭載ドライブベイト2ドライブ、搭載スロット→30スロット)
(GV-FT1L300EMPS) ¥1,200,000(税別)

ドライブ

※ドライブ1台につき1本必要

SASケーブル [2.0m]
(GV-LT1SSMM02) ¥20,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可

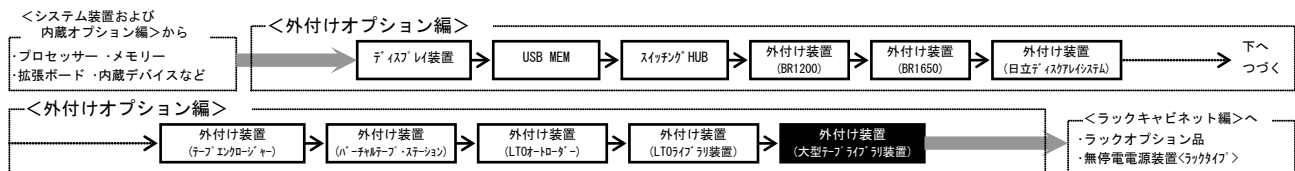
LTO Ultrium6ドライブ (6Gbps SAS)
(2.5TB, 160MB/s)
(GV-FT1L300LT6R) ¥3,180,000(税別)

拡張モジュール(ラックマウント:2U):最大1モジュールまで
(搭載スロット→30スロット)
(GV-FT1L300EM) ¥1,000,000(税別)

【LTO6カートリッジ】

手配形名	価格	スロット数	ラベル表示文字(十進数)	備考
GV-FT1LT6TP30	¥1,500,000(税別)	30巻	000001 ~ 000030	LTO Ultrium6 非圧縮時:2.5TB
GV-FT1LT6TP60	¥3,000,000(税別)	60巻	000001 ~ 000060	
GV-FT1LT6TP90	¥4,500,000(税別)	90巻	000001 ~ 000090	

- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・基本モジュールは必ず本装置の最上段に搭載してください。
- ・上から基本モジュール、拡張モジュール(電源付き)、拡張モジュール(電源なし)の順に搭載してください。入れ換え不可です。
- ・LTOドライブを増設する場合は、上部から連続して搭載してください。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド:mt等)での使用は、非サポートとなります。
- ・サポートOS:下記サイトにて確認願います。
http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/small/l20_300/index.html
上記OSのバックアップ・アプリケーションプログラムサポートについては、お問い合わせください。
- ・HA8000側に搭載するSASポートの必要なポート数は、テープライヴ装置のドライブ1台あたり1ポートです。
- ・本装置は、複数サーバでのライヴリ共有はできません。
- ・本装置に使用するカートリッジは、バーコードラベルが必須となります。必ずバーコード付カートリッジを使用願います。
- ・LTOライヴ装置には、スロット数分のLTOカートリッジを標準添付していません。必要に応じ媒体を御購入ください。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・LTOライヴ装置の「テープライヴリ導入サービス」については、<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/service/tape/index.html>を参照願います。
- ・同一ライヴ装置に異なる世代のテープカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましてはお問い合わせください。
- ・LTO Ultrium6ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium6ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5, LTO Ultrium6カートリッジを使用する必要があります。LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium6ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。



(8) 大型テープライブラリ装置 —Fibre Channelポート経由接続構成—

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]

・表記の価格は、希望小売価格です。

・Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

【光ケーブル】での単体接続：FC接続】LT05ドライブ (8GbpsFC) 搭載モデル

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000(税別)※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000(税別)※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000(税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000(税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可
・Fibreケーブルはドライブ 数分必要です。

大型テープライブラリ装置 L20/300



大型テープライブラリ装置
基本モジュール (ラックマウント:3U)
(GV-FT1L300BM30L)
¥6,500,000(税別)
最小構成 (ラックマウント:3U)
・1~20ドライブまで搭載可
・300スロット
・非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium5:45TB
最大構成 (ラックマウント:21U)
・1~20ドライブまで搭載可
・300スロット
・非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium5:450TB (300スロット時)

オプション選択 (必須ではありません)

拡張モジュール【電源付き】(ラックマウント:2U):最大9モジュールまで
(搭載ドライブ:ベクタードライブ, 搭載スロット:30スロット)
(GV-FT1L300EMPS) ¥1,200,000(税別)

ドライブ

※ドライブ1台につき1本必要

Fibreケーブル (LCコネクタ-LCコネクタ)
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000(税別)※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000(税別)※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000(税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000(税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可

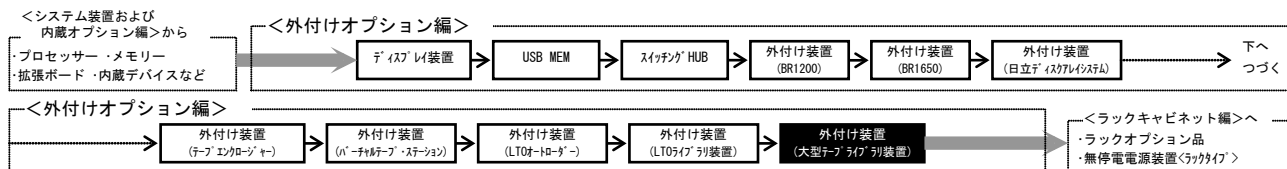
LTO Ultrium5ドライブ (8GbpsFC)
(1.5TB, 140MB/s)
(GV-FT1L300LT5L) ¥3,200,000(税別)

拡張モジュール (ラックマウント:2U):最大9モジュールまで
(搭載スロット:30スロット)
(GV-FT1L300EM) ¥1,000,000(税別)

【LTO5カートリッジ】

手配形名	価格	スロット数	ラベル表示文字(十進数)	備考
GV-FT1LT5TP30	¥1,200,000(税別)	30巻	000001 ~ 000030	LTO Ultrium5 非圧縮時: 1.5TB
GV-FT1LT5TP50	¥2,000,000(税別)	50巻	000001 ~ 000050	
GV-FT1LT5TP100	¥4,000,000(税別)	100巻	000001 ~ 000100	
GV-FT1LT5TP150	¥6,000,000(税別)	150巻	000001 ~ 000150	
GV-FT1LT5TP200	¥7,600,000(税別)	200巻	000001 ~ 000200	

- ・大型テープドライブ装置L20/300の価格、構成については、お問い合わせ下さい。
- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・基本モジュールは必ず本装置の最上段に搭載してください。
- ・上から基本モジュール、拡張モジュール(電源付き)、拡張モジュール(電源なし)の順に搭載してください。入れ換え不可です。
- ・LTOドライブを増設する場合は、上部から連続して搭載してください。
- ・HA8000側に搭載するFCポートの必要ポート数は、テープドライブ装置のドライブ1台あたり1ポートです。
- ・FCスイッチは、(情報IP開)製品のみサポートとなります。
- ・本装置のファビリティインタフェースに関する注意事項はお問い合わせください。
- ・FCスイッチ接続時、Fabricモードのみをサポートします。(Quick-Loopモード非サポート)
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド:mt等)での使用は、非サポートとなります。
- ・サポートOS:右記サイトにて確認願います。http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/others/l20_300/index.html
上記OSのバックアップアプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本構成においてVeritas社製バックアップアプリケーション(NetBackup)を使用の場合は、構成確認についてお問い合わせ下さい。
- ・大型テープドライブ装置は、カートリッジにバーコードラベルを貼っておく必要があります。バーコードラベル付きカートリッジを手配するか、バーコードラベルを別途購入してください。
- ・大型テープドライブ装置には、LTOカートリッジを標準添付していません。別途LTOカートリッジを購入ください。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・同一ドライブ装置に異なる世代のデータカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましては、お問い合わせください。
- ・LTO Ultrium5ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium5ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4, LTO Ultrium5カートリッジを使用する必要があり、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。
バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。



・表記の価格は、希望小売価格です。

・ Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012環境では、ARCserve16.5のみでのサポートとなります。

RS210 AN[長期保守対応モデル]
RS220 AN[長期保守対応モデル]

【光ケーブル】での単体接続：FC接続】LTO6ドライブ（8GbpsFC）搭載モデル

Fibreケーブル（LCコネクタ-LCコネクタ）
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000(税別)※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000(税別)※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000(税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000(税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可
・Fibreケーブルはドライブ数分必要です。

大型テープライブラリ装置 L20/300



大型テープライブラリ装置
基本モジュール(ラックマウント:3U)
(GV-FTIL300BM30Q)
¥7,140,000(税別)
最小構成(ラックマウント:3U)
・1~20ドライブまで搭載可
・30スロット
・非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium6:75TB
最大構成(ラックマウント:21U)
・1~20ドライブまで搭載可
・300スロット
・非圧縮時記憶容量:
LTO Ultrium6:750TB(300スロット時)

オプション選択（必須ではありません）

拡張モジュール【電源付き】(ラックマウント:2U):最大9モジュールまで
(搭載ドライブベイトドライブ, 搭載スロット→30スロット)
(GV-FTIL300EMPS) ¥1,200,000(税別)

ドライブ

※ドライブ1台につき1本必要

Fibreケーブル（LCコネクタ-LCコネクタ）
(GV-LT1LL02NA) [2m] ¥14,000(税別)※
(GV-LT1LL05NA) [5m] ¥15,000(税別)※
(GV-LT1LL15NA) [15m] ¥19,000(税別)
(GV-LT1LL50NA) [50m] ¥100,000(税別)
(GV-LT1LL100NA) [100m] ¥150,000(税別)
※同一Rack内のみ接続可

LTO Ultrium6ドライブ（8GbpsFC）
(2.5TB, 160MB/s)
(GV-FTIL300LT6Q) ¥3,840,000(税別)

拡張モジュール(ラックマウント:2U):最大9モジュールまで
(搭載スロット→30スロット)
(GV-FTIL300EM) ¥1,000,000(税別)

【LTO6カートリッジ】

手配形名	価格	スロット数	ラベル表示文字(十進数)	備考
GV-FTILT6TP30	¥1,500,000(税別)	30巻	000001 ~ 000030	LTO Ultrium6 非圧縮時: 2.5TB
GV-FTILT6TP60	¥3,000,000(税別)	60巻	000001 ~ 000060	
GV-FTILT6TP90	¥4,500,000(税別)	90巻	000001 ~ 000090	
GV-FTILT6TP120	¥6,000,000(税別)	120巻	000001 ~ 000120	
GV-FTILT6TP150	¥7,500,000(税別)	150巻	000001 ~ 000150	
GV-FTILT6TP180	¥9,000,000(税別)	180巻	000001 ~ 000180	
GV-FTILT6TP210	¥10,500,000(税別)	210巻	000001 ~ 000210	
GV-FTILT6TP240	¥12,000,000(税別)	240巻	000001 ~ 000240	
GV-FTILT6TP270	¥13,500,000(税別)	270巻	000001 ~ 000270	
GV-FTILT6TP300	¥15,000,000(税別)	300巻	000001 ~ 000300	

- ・大型テープライブラリ装置L20/300の価格、構成については、お問い合わせ下さい。
- ・ラックキャビネットへの搭載時、最下段(各1U)は搭載禁止。
- ・本装置にスタンドアロンタイプはありません。必ずラックに搭載してください。
- ・基本モジュールは必ず本装置の最上段に搭載してください。
- ・上から基本モジュール、拡張モジュール(電源付き)、拡張モジュール(電源なし)の順に搭載してください。入れ換え不可です。
- ・LTOドライブを増設する場合は、上部から連続して搭載してください。
- ・HA8000側に搭載するFCカードの必要ポート数は、テープライブラリ装置のドライブ1台あたり1ポートです。
- ・FCスイッチは、(情報IP開)製品のみサポートとなります。
- ・本装置のファイバチャネルインタフェースに関する注意事項はお問い合わせください。
- ・FCスイッチ接続時、Fabricモードのみをサポートします。(Quick-Loopモード非サポート)
- ・本装置をOSコマンド(Linuxコマンド:mt等)での使用は、非サポートとなります。
- ・サポートOS:右記サイトにて確認願います。http://www.hitachi.co.jp/products/it/server/peripherals/products_list/tape/others/l20_300/index.html
上記OSのバックアップ・アプリケーションプログラムについては、お問い合わせください。
- ・本装置でバックアップを行う際は、必ずバックアップアプリケーションプログラムをご使用ください。
- ・本構成においてVeritas社製バックアップアプリケーション(NetBackup)を使用の場合は、構成確認についてお問い合わせ下さい。
- ・大型テープライブラリ装置は、カートリッジにバーコードラベルを貼っておく必要があります。バーコードラベル付きカートリッジを手配するか、バーコードラベルを別途購入してください。
- ・大型テープライブラリ装置には、LTOカートリッジを標準添付していません。別途LTOカートリッジを購入ください。
- ・LTOカートリッジを追加手配する場合は、消耗品扱いで、日立システムより御購入ください。
- ・同一ドライブ装置に異なる世代のデータカートリッジを混在して搭載することはできません。バックアップアプリケーションプログラムが対応している必要があるため、対応の可否につきましては、お問い合わせください。
- ・LTO Ultrium6ドライブ暗号化機能について
LTO Ultrium6ドライブにはデータを暗号化して媒体に書き込む機能があります。暗号化機能を使うにはLTO Ultrium4,LTO Ultrium5,LTO Ultrium6カートリッジを使用する必要があり、LTO Ultrium3のカートリッジ使用時は暗号化できません。また、バックアップアプリケーションプログラムが暗号化機能に対応している必要があります。バックアップアプリケーションプログラムのLTO Ultrium5ドライブ暗号化対応につきましては、お問い合わせください。